

New Products Guide 2026

フォーラムエイト製品総合カタログ VOL.37-2

Intelligent Engineering Solutions
AIとシミュレーション
ソフトウェアでエンジニアを
強力サポート

Global Engineering Software Company
FORUM8
Japan made software

英語／中国語対応
統合型3DCGソフト

Shade3D Ver.26



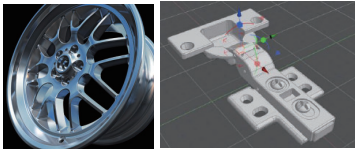
Basic Standard Professional
Professional Civil Professional Ultimate

Professional Ultimate ¥330,000 (税抜¥300,000)
Professional Civil ¥242,000 (税抜¥220,000)
Professional ¥132,000 (税抜¥120,000)
Standard ¥66,000 (税抜¥60,000)
Basic ¥27,500 (税抜¥25,000)

高精度のモデリング、レンダリング、アニメーション、3Dプリントなどがおこなえる統合型3DCGソフト。
建築パース、インテリアデザイン、プロダクトデザインにおいて必要な機能を搭載。
メタバース向けのモデリング、編集に最適。

モデリング／編集

自由曲面、NURBS、ポリゴンモデリング、スワイプ曲面に対応し、頂点・稜線・ポリゴンメッシュやアセンブリによる形状配置や編集、測定が可能。



アニメーション

ジョイント操作やモーファーターゲット、物理シーンに対応したアニメーション作成とリアルタイムプレビュー、レンダリングが可能。



レンダリング

レイトレーシングやパストレーシング、フォトンマッピングによる大域照明に対応し、物理ベースレンダリングにより空気感まで再現する高い表現力を実現。



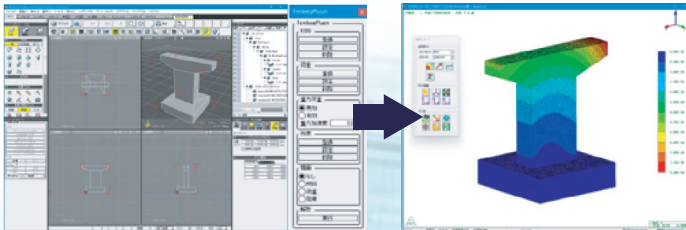
3Dプリント

多くの3DプリンターがサポートしているSTL・OBJファイルに対応



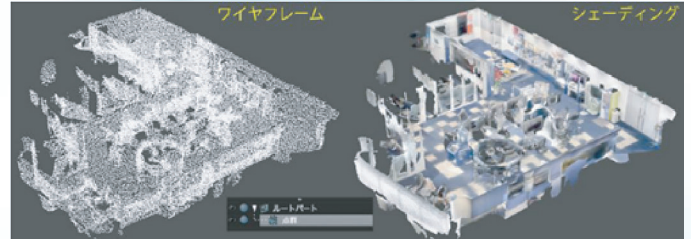
解析ソフトとの連携 **NEW**

FEMLEEG®Ver.15～Shade3Dで作成したモデルを解析実施可能



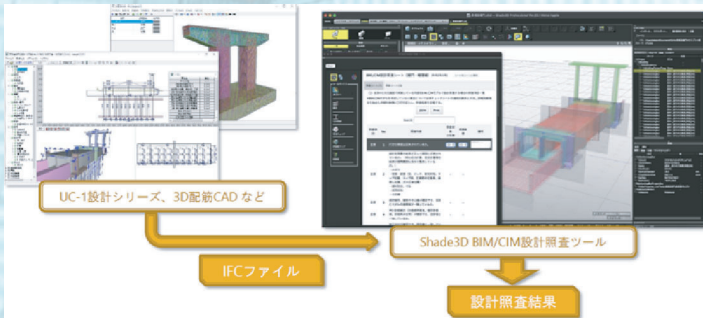
点群対応

表示、編集、入出力に対応、切断面による確認も可能！



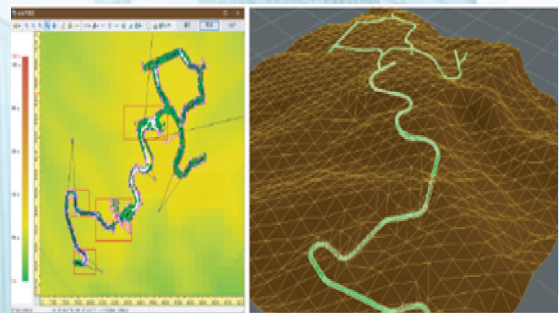
BIM/CIM設計照査

国土交通省「BIM/CIM設計照査シートの運用ガイドライン(案)」の照査対応



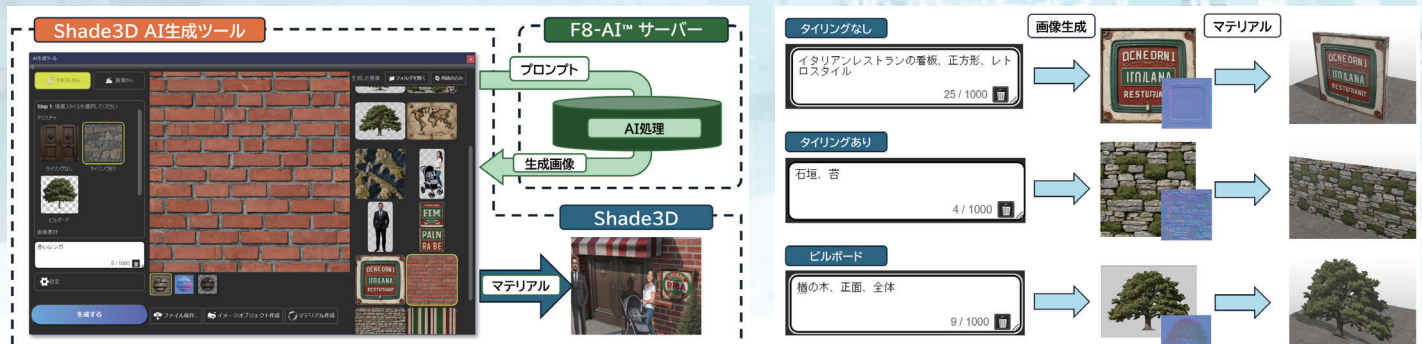
道路線形対応

LandXMLによる入出力が可能です



AI生成ツール **NEW**

新登場の「Shade3D AI生成ツール」は、3DCG・メタバースに特化したテクスチャ生成AIです。言葉からマテリアルを自動生成し、法線マップまで一括設定。クラウド生成により、お使いのPCスペックを問わず、プロフェッショナルな質感を最速で手に入られます。



プログラム・製品価格表

新規購入時に初年度サブスクリプションが含まれます

分類	プロダクト名	新規価格 (税込)	(税抜価格)	ページ
特集	「下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年度版-」 「道路橋示方書」(令和7年改訂版) 順次対応			4

FEM

分類	プロダクト名	新規価格 (税込)	(税抜価格)	ページ
	FEMLEEG® Ver.15	¥660,000~	(¥600,000~)	7

UC-1

分類	プロダクト名	新規価格 (税込)	(税抜価格)	ページ
構造解析と断面	UC-1 Cloud FRAMEマネージャ Complete	¥528,000	(¥480,000)	8
	RC断面計算・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.2	¥145,200	(¥132,000)	9
	RC断面計算・3D配筋 (旧基準) Ver.8	¥110,110	(¥100,100)	
	RC断面計算(旧基準) Complete	¥220,000	(¥200,000)	11
	鋼断面の計算(R7/ H29道示対応) Ver.3	¥242,000	(¥220,000)	12
	鋼断面の計算(旧基準) Ver.3	¥133,210	(¥121,100)	
橋梁上部工	UC-BRIDGE・3DCAD (R7/H29道 示対応) Ver.4	¥726,000~	(¥660,000~)	13
	UC-BRIDGE (旧基準) Ver.10	¥423,500~	(¥385,000~)	
橋梁下部工	橋台の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.10	¥399,300	(¥363,000)	15
	橋台の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.15	¥181,500	(¥165,000)	17
	震度算出(支承設計)筋 (R7/H29道示対応) Ver.9	¥281,930	(¥256,300)	17
	震度算出(支承設計) (旧基準) Ver.10	¥210,980	(¥191,800)	18
	橋脚の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.10	¥435,600	(¥396,000)	19
	橋脚の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.14	¥338,800	(¥308,000)	21
	ラーメン橋脚の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.5	¥641,300	(¥583,000)	22
	ラーメン橋脚の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.3	¥169,400	(¥154,000)	23
	箱式橋台の設計計算(R7/H29道 示対応) Ver.5	¥326,700~	(¥297,000~)	24
	箱式橋台の設計計算 (旧基準) Ver.8	¥218,680~	(¥198,800~)	
	ラーメン式橋台の設計計算 (R7/H29道示対応) Ver.5	¥326,700	(¥297,000)	25
	ラーメン式橋台の設計計算 (R7/H29道示対応) Ver.5	¥218,680	(¥198,800)	

基礎工	基礎の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.10	¥290,400~	(¥264,000~)	26
	基礎の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.2	¥87,472~	(¥79,520~)	28
	深礎フレームの設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.6	¥363,000~	(¥330,000~)	29
	深礎フレームの設計・ 3D配筋(旧基準)	¥308,000~	(¥280,000~)	
道路土工	擁壁の設計・3D配筋 Complete	¥695,200	(¥632,000)	30
	斜面の安定計算 Ver.15	¥312,400~	(¥284,000~)	31
港湾	防潮堤・護岸の設計計算 Ver.4	¥385,000	(¥350,000)	33
(河川)水工	柔構造樋門の設計・3D配筋 Ver.18	¥462,000	(¥420,000)	33
水工(下水道)	マンホールの設計・ 3D配筋 Ver.12	¥286,000	(¥260,000)	35
	BOXカルバートの設計・ 3D配筋(下水道耐震) Ver.15	¥330,000	(¥300,000)	36
	下水道管の耐震計算 Ver.4	¥253,000	(¥230,000)	37
	更生管の計算 Ver.3	¥190,300	(¥173,000)	38
維持管理・地 震リスク	橋梁点検 支援システム Ver.4	¥427,900	(¥389,000)	39
建築	コンクリート 打設管理システム	¥220,000	(¥200,000)	40
	Design Builder Ver.2025	¥301,400~	(¥274,000~)	41

スイートシリーズ

分類	プロダクト名	新規価格 (税込)	(税抜価格)	ページ
	スイートデータ消去® Ver.3	¥880~	(¥800~)	42
	ファイル転送サービス Ver.3	¥330,000	(¥300,000)	42

サブスクリプション料率変更に関する価格体系改訂のご案内

2025年7月1日より、F8-AI™ UCサポートを実装した対象製品につきまして、右の価格体系に改訂いたします。

対象製品	対象期間	価格
F8-AI™ UCサポート 機能実装製品	2025年7月1日以降	製品定価の50%

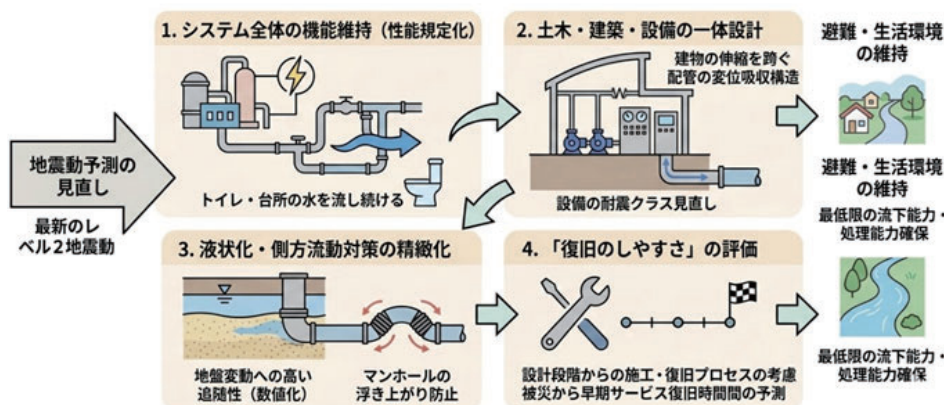
「下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年度版-」 「道路橋示方書・同解説」(令和7年改訂版) 対応



I. 下水道施設の耐震対策指針と解説 2025改訂

今回の改訂では最新の地震動予測に基づくレベル2地震動の見直しと、地震直後に確保すべき「最低限の流下能力」の具体化が盛り込まれ、土木構造物、管路、設備が連携して機能維持を図る「性能規定化」の考えが加速しており、単に「施設・設備の破壊を防ぐ」だけでなく、「いかに早く現状復旧できるか」という視点が、新基準での設計・工事の重要なポイントになります。

- 下水道施設の耐震対策指針と解説 2025対応
 - ・「BOXカルバートの設計・3D配筋(下水道耐震) Ver.15」(※11月リリース)
 - ・「下水道管の耐震計算 Ver.4」(12月リリース)
 - ・「マンホールの設計・3D配筋 Ver.12」(12月リリース)
 - ・「更生管の計算 Ver.4」(3月リリース)



新旧基準のポイント

改訂ポイント

- 「点」から「面」への守り方へ(機能維持の転換)
これまでではコンクリートの壁や建物が「倒壊しない」ことが目標とされてきましたが、これからは下水処理場や管路をひとつの「システム」と捉え、地震直後から「最低限、水を流し続ける能力」を確保することが目標とされます。
- 地形・地面の変化に負けない工夫(液状化・側方流動対策)
背景としては震災時、マンホールが浮き上がったり、土砂が流れ込んで管が外れたりして水が止まる被害が多発したことが背景となり、「液状化」への評価をより厳しくし、管のつなぎ目が地震の揺れに合わせてしなやかに動く(追随性)基準が数値で明確に定められました。
- 建物と機械の「つなぎ目」を強化(一体設計)
課題: 建物が無事でも、中の電気配管が切断されたり、ポンプが止まったりすれば下水道が使用できない状態になります、そのため対策として、土木構造物と、その中にある電気・機械設備をバラバラに設計するのではなく、一体として考えることとされました。特に、建物と配管の接続部に「ゆとり(変位吸収構造)」を持たせるなど、弱点になりやすい部分の設計が見直されました。

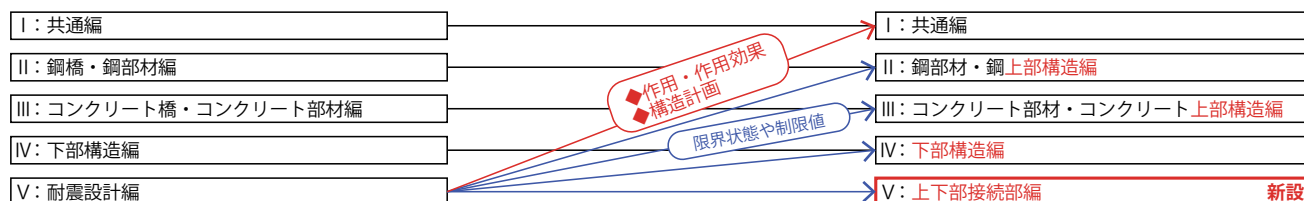
- 「すぐに復旧する」までが設計(復旧性の評価)
施設が損壊した場合、そこをどうやって掘り起こし、どう修理するのか、新基準では設計段階から「直しやすさ」までを評価に組み込みます。これにより、被災から生活復旧までのタイムラグを最短にすることを目指します。

II. 道路橋示方書・同解説(令和7年10月)改訂

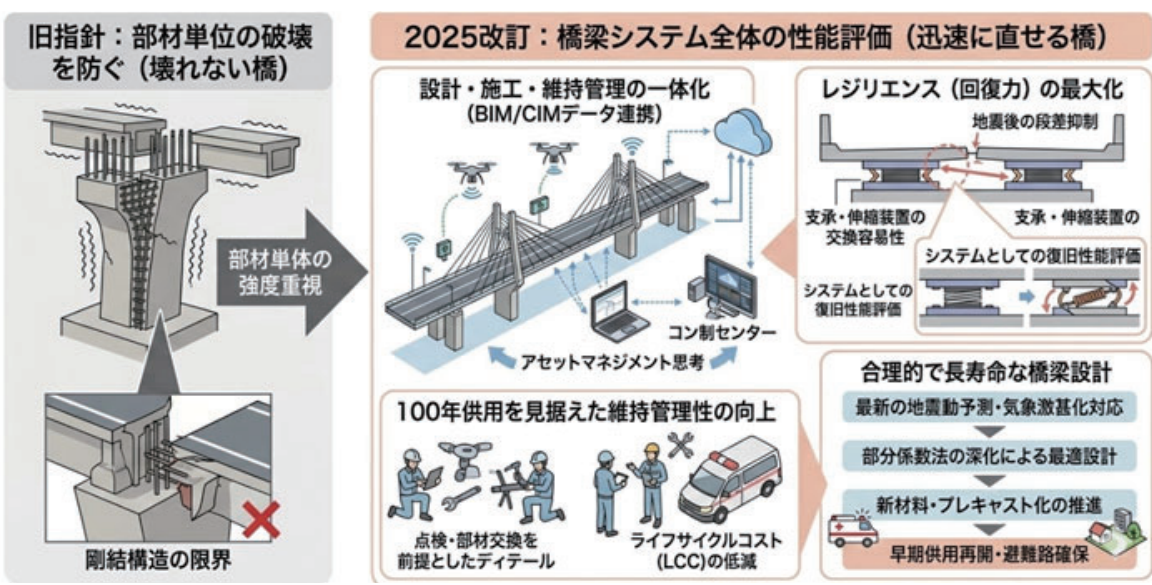
今回の改訂は、高度経済成長期に一齐に建設された橋梁の「老朽化対策」と、近年多発する「大規模地震への備え」を背景に、8年ぶりに実施されました。最大の特徴は、橋梁を単なる構造物として捉えるのではなく、設計から維持管理までを一貫して捉える「アセットマネジメント思考」が本格的に導入されました点になります。実務面では、BIM/CIM(3次元モデル)の原則適用を軸に、設計データを将来の点検や補修へ円滑に引き継ぐ体系へと整理されました。また、能登半島地震などの知見を踏まえ、これまでの「壊れない橋」という考え方に加え、「万が一の際も迅速に直せる橋(レジリエンスの強化)」へと大きく舵を切っています。橋梁の部材単体ではなく橋全体で性能を評価することで、維持管理にわたるコストを抑えつつ100年先まで使い続けられる、合理的で長寿命な橋梁設計を目指しています。

前回:平成29年(2017年)

今回:令和7年(2025年)



新旧道示比較



新旧道示のポイント

改訂ポイント

1. 「壊れない橋」のその先へ（レジリエンスの強化）

これまでは大地震で橋脚が折れない、落橋しないことを第一目標に設計されてきましたが、能登半島地震などの教訓を受け、これからは地震の直後に「救急車や支援物資トラックなどの緊急車両の通行が可能か」が重視されるようになります。具体的には、橋のつなぎ目の段差を極力おさえたり、壊れやすい部品（支承など）を素早く交換できる構造にするなど、「橋全体で早期復旧を目指す」設計になります。

2. 「数値」で最適なバランスを導き出す（部分係数法の定着、最適設計を目指す）

橋梁では橋の材料や置かれる環境は1橋1橋異なります。そのため今回の改訂では2017年に導入された「部分係数法（材料や荷重のパラつきを個別に数値化する手法）」をより現場で使いやすくする枠組みが拡充されました。これにより、特定の工法に縛られず、その場所にとって「最も合理的で安全な形」を自由に設計できる枠組みが整いました。

3. 「100年教養」を見据えたメンテナンス性（長寿命化への配慮）向上

新しい基準では設計当初から「部品を交換する」ことを前提に設計します。点検しやすい隙間を設けたり、塩害や金属疲労に強い最新の計算式を導入し、生涯コスト（ライフサイクルコスト）を抑え、次の世代に負担を残さない橋づくりを目指します。

4. デジタルと新材料で「スマートな橋」へ（DX・新材料対応）

3次元モデル（BIM/CIM）を活用し、設計データがそのまま将来の点検・補修に引き継がれる仕組みを加速させます。また、驚くほど強く軽い新材料（UFC）の活用や、現場の作業を減らす「工場の組み立て式（プレキャスト）」の採用なども積極的に後押しします。

5. 令和8年4月からの本格適用

新基準は原則として、令和8年度（2026年度）の新規案件から適用されます。現在進行中のプロジェクトについては、新旧の基準を照らし合わせながら、発注者との相談が必要とされています。

I 共通編	II 鋼橋・鋼部材編	III コンクリート橋・コンクリート部材編	IV 下部構造編	V 上下部接続部編
2章 橋の耐荷性能に関する基本事項 ・機能システム（全般）	3章 設計の基本 ・機能システム ・主桁・主構機能システム ・床版・床組機能システム ・立体機能保持システム	3章 設計の基本 ・機能システム ・主桁・主構機能システム ・床版・床組機能システム ・立体機能保持システム	3章 設計の基本 ・機能システム ・支点反力指示機能システム ・支点位置保持機能システム	機能システムの導入の基本システム ・変位追従機能システム ・荷重伝達機能システム
4章 橋の限界状態 ・整合条件	・限界状態 ・整合条件	・限界状態 ・整合条件	部材の状態を組み合わせる際の整合条件	
5章 橋の耐荷性能の評価 ・整合条件	ダンパー等による減衰の整合条件			
6章 橋の耐久に関する基本的事項と照査	耐久性能の評価方法や信頼性確保策の規定の充実			
8章 作用の特性値 8.19 地震の影響	地震動の続発（能登地震対応）			

- FEM解析
- エンジン・スライド
- 構造解析・断面
- 橋梁上部工
- 橋梁下部工
- 橋
- 仮設工
- 道路土工
- 港湾
- 水工
- 地盤解析・地盤改良
- CAD/CIM
- 維持管理・地震リスク
- プラント・建築
- 船舶・遊覧
- スイートシリーズ
- 3DCG
- 紹介プログラム
- 技術サービス・サポート

1. 機能システムの導入 (第2章・第3章)

橋梁の各部位を、その役割に応じて「機能系統」として分類・定義しました (各系統に求められる性能を明確化することで、設計ミスを防ぎ、維持管理まで一貫した思想で設計を行うため)

- ・主桁・主構機能系統: 荷重を支持し伝達する基幹機能
- ・床版・床組機能系統: 輪重を直接支持し、主桁へ伝える機能
- ・支点反力支持・位置保持機能系統: 下部構造への力伝達や、変位の制御

2. 部材の状態を組み合わせる際の整合条件 (第4章)

複数の部材や機能系統が組み合わさる際、それぞれの限界状態 (壊れ方や変形の許容範囲) が矛盾しないよう、整合性を図る規定が追加されました。

- ・特定の部材だけが強くても、接続部で性能が発揮できなければ意味がありません。システム全体としての挙動を考慮した「整合条件」の確認が必須となります

3. ダンパー等による減衰の整合条件 (第5章)

制震デバイス (ダンパー等) を組み込む際の計算モデルや評価方法が明確化されました

- ・ダンパーの減衰性能が、橋梁全体の耐荷性能評価において過大・過小に評価されないよう、部材の応答と減衰装置の特性を一致させるための「整合条件」が規定されました

4. 耐久性能の評価方法・信頼性確保策の充実 (第6章)

これまでの「仕様規定」から、より客観的な「評価方法」へとシフトしています

- ・評価の具体化: 環境条件に応じた劣化予測や、材料の信頼性をどう確保するかという規定が充実
- ・信頼性確保: 設計段階で将来の補修のしやすさ (点検性) や、施工誤差を考慮した信頼性設計の考え方が強化されました

5. 地震動の続発への対応 (第8章: 能登半島地震対応)

令和6年能登半島地震で顕在化した「短時間に繰り返される強い揺れ」への対策です。

- ・本震だけでなく、その後の大きな余震に対しても必要な性能を保持できるよう、地震動の特性値や評価の考え方が見直されました
- ・信頼性確保: 設計段階で将来の補修のしやすさ (点検性) や、施工誤差を考慮した信頼性設計の考え方が強化されました。

■ 道路橋示方書・同解説 (令和7年10月) 対応予定

2026年 4月
RC断面計算・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.2 新規価格 : ¥145,200 (税抜¥132,000)
ラーメン橋脚の設計・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.5 新規価格 : ¥641,300 (税抜¥583,000)
ラーメン橋脚の設計計算(R7/H29道示対応) Ver.5 新規価格 : ¥520,300 (税抜¥473,000)

2026年 5月
RC断面計算・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.2 新規価格 : ¥145,200 (税抜¥132,000)
ラーメン橋脚の設計・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.5 新規価格 : ¥641,300 (税抜¥583,000)
ラーメン橋脚の設計計算(R7/H29道示対応) Ver.5 新規価格 : ¥520,300 (税抜¥473,000)

2026年 6月
二柱式橋脚の設計・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.2 新規価格 : ¥484,000 (税抜¥440,000)
ラーメン式橋台の設計計算(R7/H29道示対応) Ver.5 新規価格 : ¥326,700 (税抜¥297,000)
フーチングの設計計算(R7/H29道示対応) Ver.3 新規価格 : ¥94,380 (税抜¥85,800)
3次元鋼管矢板基礎の設計計算(R7/H29道示対応) Ver.5 新規価格 : ¥883,300 (税抜¥803,000)
非合成鉄桁桁の概略設計計算(R7/H29道示対応) Ver.2 新規価格 : ¥423,500 (税抜¥385,000)

2026年 7月
RC下部工の設計・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.4 新規価格 : ¥919,600 (税抜¥836,000)
RC下部工の設計計算(R7/H29道示対応) Ver.4 新規価格 : ¥798,600 (税抜¥726,000)
任意形格子桁の計算(R7/H29道示対応) Ver.5 新規価格 : ¥580,800 (税抜¥528,000)
連続合成桁の概略設計計算(R7/H29道示対応) Ver.2 新規価格 : ¥508,200 (税抜¥462,000)
鋼床版桁の概略設計計算(R7/H29道示対応) Ver.2 新規価格 : ¥508,200 (税抜¥462,000)

FEMLEEG® Ver.15 UpGrade

総合有限要素法解析システム

Advanced ¥1,782,000
(税抜 ¥1,620,000)
Standard ¥1,386,000
(税抜 ¥1,260,000)
Lite ¥660,000
(税抜 ¥600,000)

LAPack オプション
¥330,000
(税抜 ¥300,000)

Windows 11 対応
有償セミナー

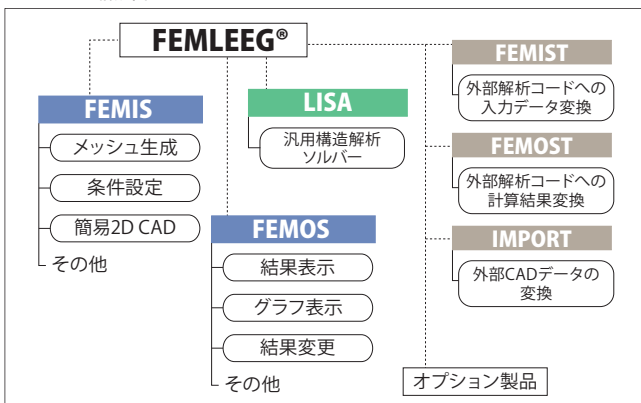
国産の本格的CAEシステムであるFEMLEEG®は、モデル作成から解析評価まで行えます。製品構成は、FEMIS (プリプロセッサ)、FEMOS (ポストプロセッサ)、LISA (ソルバー)、トランスレータ (外部インタフェース)、LAPack (オプション製品) です。

【対応要素】

- 1次元: トラス、埋込鉄筋、ビーム、スプリング、リンク
- 2次元: 平面応力、平面歪、軸対称、プレート・シェル、積層板
- 3次元: ソリッド

【FEMLEEG®の製品構成】

FEMLEEG® 構成図



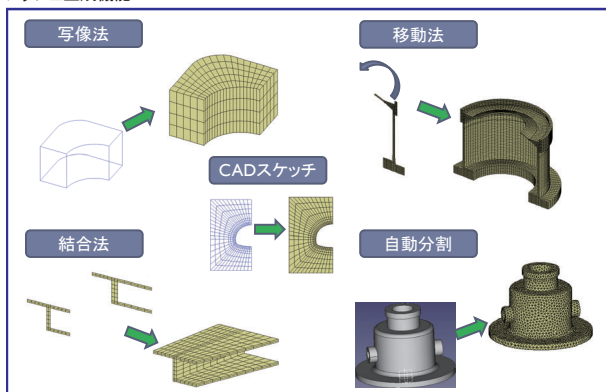
製品名	モジュール		LISA制限	節点数制限
	FEMIS, FEMOS LISA, IMPORT	FEMIST FEMOST		
Advanced	○	○	なし	なし
Standard	○	×	あり*	なし
Lite	○	×	あり*	あり(1万点)

※No Tension解析、CAP解析および施工解析が使用できません。
No Tension解析…異種構造物間の接触面に設置した接触バネに引張力が発生したら自動解放する機能
CAP解析…モデルを都合よく分割し、両パーツを独立にメッシュ分割した後、再結合して解析する機能
施工解析…何段階かの施工過程を経る構造物の、各段階での構造解析を行う機能

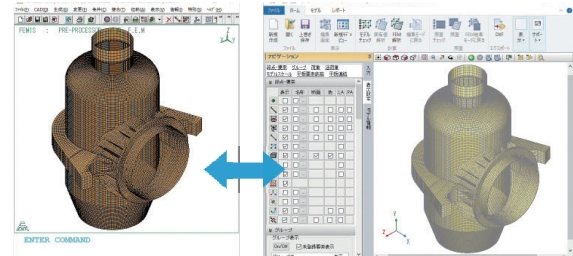
【FEMIS (プリプロセッサ)】

- 優れた操作性を備えたメッシュジェネレータ
- 解析用メッシュデータの作成、荷重・拘束・物性など解析条件を設定。要素と形状の同時作成やCADライク操作など、多彩なアプローチでメッシュ分割が可能

メッシュ生成機能

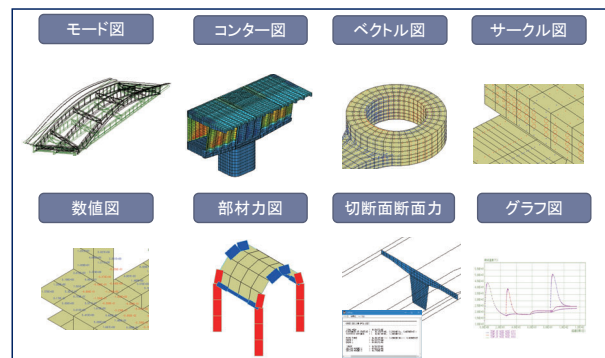


Engineer's Studio®とのインポート/エクスポート



【FEMOS (ポストプロセッサ)】

- 結果評価/出力結果を、コンター図、ベクトル図、数値図、グラフ図などで多彩に表示



【LISA (ソルバー)】

- 汎用構造解析ソルバー。静解析をはじめとし固有値、熱解析などが可能
- 操作性・軽快性に優れていると同時に、数十万メッシュ規模のモデルに対応
- 解析タイプ: 線形静弾性解析、固有振動解析 (フリーボディ解析機能含む)、時刻歴応答解析、座屈解析、定常/非定常/伝熱・熱応力連動解析、NO TENSION解析、CAP解析、輻射解析、施工解析、大変形解析

【トランスレータ (外部インタフェース)】

- FEMLEEG®と外部ソフトとのデータ交換が可能。FEMIS作成データを他ソルバーデータに変換、他ソルバー解析結果をFEMOS入力ファイルに変換
- CADデータ (ワイヤフレーム) をFEMISの入力ファイルに変換

【LAPack (オプション製品)】

- メッシュに依存しない載荷「LoadHelper」と解析結果重ね合わせ「AddCase」のオプション製品

Ver.15 改訂内容

2025年11月27日リリース

【共通】

1. Shade3D連携

【FEMIS】

1. パターンメッシュに小判型追加
2. 回転生成/回転移動に角度スクリーン指定の追加
3. 3次元要素構成節点回り修正機能の改善
4. CAD面番号毎色分け描画機能の追加

【FEMOS】

1. 板要素の自動表裏結果描画機能の追加
2. 局所座標系保存機能の追加

【LISA】

1. FEMOS自動起動機能の追加

特集・ソリューション

FEM解析

エンジニアスイート

構造解析・断面

橋梁上部工

橋梁下部工

鉄骨

仮設工

道路土工

港湾

水工

地盤解析・地盤改良

CAD/CIM

維持管理・地震リスク

プラント・建築

船舶・遊艇

スイートシリーズ

3DCG

紹介プログラム

技術サービス・サポート

UC-1 Cloud FRAMEマネージャ Complete

面内荷重・面外荷重・活荷重などに対して、平面骨組みモデル化された任意構造物の断面力、反力、変位を算出するための構造解析プログラム

プログラム価格
¥528,000
(税抜 ¥480,000)
Windows 11 対応
電子納品

平面骨組みモデル化された任意構造物の解析プログラムです。解析部分は微小変位理論に基づいており、格点変位を未知量とする多元連立方程式を解くことで変位・断面力・反力を算出します。この連立方程式は、構造データから決定される剛性マトリクスと荷重データから決定される荷重ベクトルから構成されます。

【FRAME (面内)との比較】

- FRAME (面内)の機能に加えて、面外解析、IL解析、結果集計機能に対応しています
- 面内解析: 面内荷重に対する解析
- 面外解析: 面外荷重に対する解析
- IL解析: 移動荷重、固定荷重を影響線処理
- 結果集計: 面内解析、面外解析、IL解析の結果を集計して出力

【面外解析】

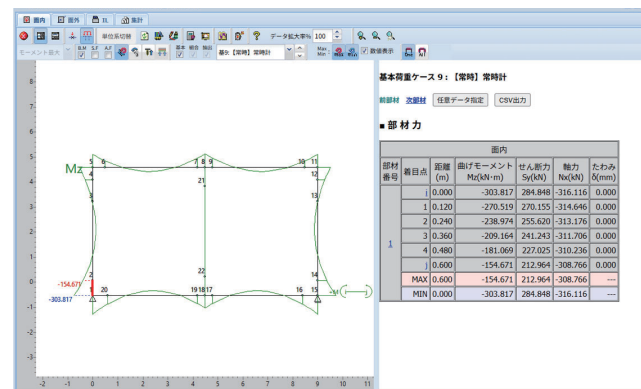
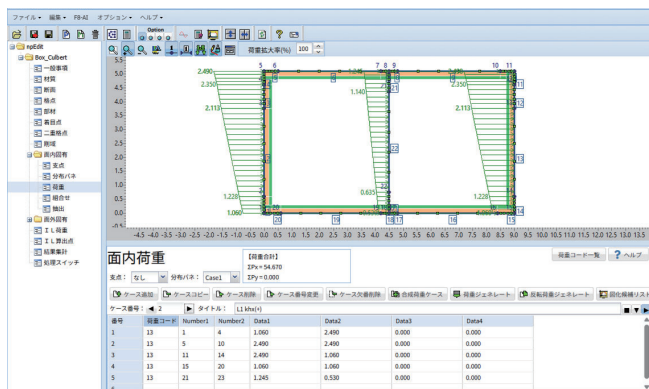
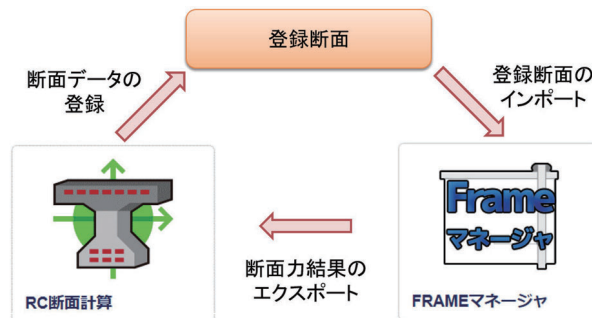
- 面外荷重として、分布荷重、集中荷重、格点集中荷重、支点強制変位、プレストレス荷重をサポート
- 基本荷重ケース、組合せ荷重ケースをサポート
- 部材間Mmaxの算出機能、最大・最小部材力の抽出機能をサポート

【IL解析】

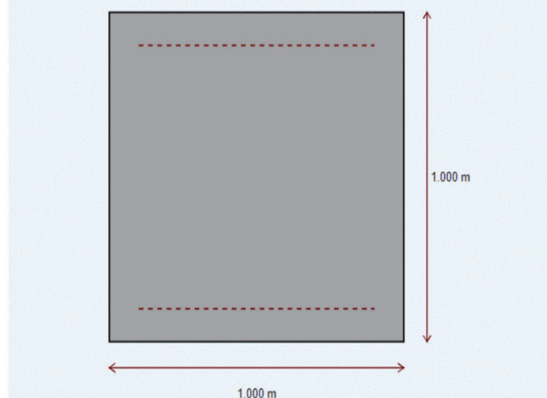
- IL荷重として、線荷重、L荷重、T荷重、連行荷重をサポート
- 結果集計を用いて面内解析結果との足し合わせが可能

FRAME (面内)との機能比較

製品名	面内解析	面外解析	IL解析	結果集計
FRAME (面内)	○	-	-	-
FRAMEマネージャ	○	○	○	○



No.	登録断面データ				表示
	矩形	Sample01 自動配筋 矩形(許容)			
1	A (m ²)	1.0000	Iz (m ⁴)	0.0833	<input checked="" type="checkbox"/>
	Iy (m ⁴)	0.0833	J (m ⁴)	0.1408	



▲断面データ登録

No.	登録断面データ				表示
	矩形	0Sample01 自動配筋 矩形(許容)			
1	A (m ²)	1.0000	Iz (m ⁴)	0.0833	<input type="checkbox"/>
	Iy (m ⁴)	0.0833	J (m ⁴)	0.1408	
2	A (m ²)	2.1600	Iz (m ⁴)	0.2592	<input type="checkbox"/>
	Iy (m ⁴)	0.5832	J (m ⁴)	0.6085	
3	A (m ²)	5.6700	Iz (m ⁴)	2.0837	<input type="checkbox"/>
	Iy (m ⁴)	3.4445	J (m ⁴)	4.3753	
4	A (m ²)	8.7000	Iz (m ⁴)	4.9131	<input type="checkbox"/>
	Iy (m ⁴)	72.4045	J (m ⁴)	1.3217	
5	A (m ²)	1.2700	Iz (m ⁴)	0.3173	<input type="checkbox"/>
	Iy (m ⁴)	0.4004	J (m ⁴)	0.0591	
6	A (m ²)	12.5664	Iz (m ⁴)	12.5664	<input type="checkbox"/>
	Iy (m ⁴)	12.5664	J (m ⁴)	25.1327	

▲複数断面データ読み込み可能

RC断面計算・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.2 ／ (旧基準) Ver.8

部分係数法／許容応力度法、限界状態設計法による
鉄筋コンクリート断面計算プログラム

R7/H29道示
対応
¥145,200
(税抜 ¥132,000)
カスタマイズ版
¥157,300
(税抜 ¥143,000)
旧基準
¥110,110
(税抜 ¥100,100)

- Windows 11 対応
- 計算・CAD統合
 - 3D配筋対応
 - 電子納品
 - 3D PDF
 - IFC

様々な断面形状を持つ鉄筋コンクリート断面の応力度計算、必要鉄筋量、最小鉄筋量、抵抗モーメント、終局モーメント、初降伏モーメントの計算と、部分係数法および限界状態設計法による断面照査を行うプログラムです。H29道示対応版では3D配筋生成、図面作成に対応

■RC断面計算・3D配筋(R7/H29 道示対応) Ver.2』では、令和7年10月に発刊された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。主な対応項目は以下の通りとなります。

- ・R7年道示、H29道示選択可能
- ・目次、式解、図表番号等変更
- ・改訂内容に対応したF8-AIサポート対応

【基本機能】

- 断面形状は9種類の定形パターン、ブロック入力、任意形状に対応 (任意形状は曲げ応力度計算のみ)
- 中空部がある矩形、円形、小判形の応力度計算に対応
- 断面諸量 (全パターン対象): 断面積、断面二次モーメント、図心位置、ねじり定数 (任意形断面、ブロックを除く)、型枠面積 (断面周長、ブロックを除く)
- 異なる断面パターンを取り混ぜて同時に処理
- サークルハンチを持つ断面形をサポート
- 鋼材種類: 鉄筋、PC鋼材、鋼板を混在使用可能、外ケーブルも対応
- 無筋コンクリート、二軸系の断面タイプの応力度計算
- 面内マイナスの計算 (終局、初降伏、ひびわれ)をサポート
- 登録断面、FRAMEデータの利用が可能

【計算内容】

断面形状	曲げ 応力度	必要 鉄筋量	終局 モーメント	同N-M図	降伏 モーメント	同N-M図	最小 鉄筋量
矩形	○	○	○	○	○	○	○
円形	○	○	○	○	○	○	○
小判横	○	○	○	○	○	○	○
小判縦	○	○	○	○	○	○	○
I桁	○	○	○	○	○	○	○
T桁	○	○	○	○	○	○	○
ダブルT桁	○	○	○	○	○	○	○
箱桁	○	○	○	○	○	○	○
円孔ホロー	○	○	○	○	○	○	○
ブロック	○	○	○	○	○	○	○
任意二軸	○	-	-	-	-	-	-
小判二軸	○	-	-	-	-	-	-
矩形二軸	○	-	○	-	-	-	-

R7/H29道示対応

令和7年、平成29年道路橋示方書に準拠し、部分係数法による照査を行います。

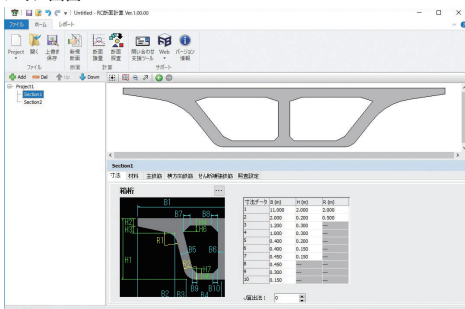
【部分係数法】

- 令和7年、平成29年道路橋示方書に準拠した部分係数法による照査に対応
- 耐荷性能: 限界状態に応じた曲げ、軸力、せん断、ねじりに対する照査に対応
- 耐久性性能: 内部鋼材の防食、コンクリート部材の疲労に対する照査に対応
- 橋梁防護柵に作用する衝突荷重に対する照査に対応

【限界状態設計法】

- 2022年コンクリート標準示方書に準拠した耐久性、安全性 (断面破壊、疲労破壊)、使用性に関する照査に対応
- 矩形 (ハンチなし・中空部なし)、円形・円環、I形、T形、箱形 (1室、ハンチなし)をサポート

メイン画面

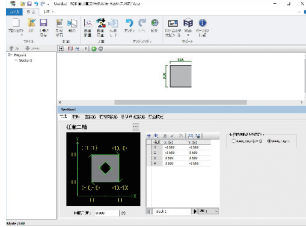


断面形状	耐久性、使用性			安全性				
	曲げ ひび割れ	せん断 ひび割れ	ねじり ひび割れ	断面破壊			疲労破壊	
	曲げ 耐力	せん断 耐力	ねじり 耐力	曲げ 耐力	せん断 耐力	ねじり 耐力	曲げ 疲労	せん断 疲労
矩形	○	○	○	○	○	○	○	○
円形	○	○	○	○	○	○	○	○
小判型(横)	○	-	-	○	-	-	-	-
小判型(縦)	○	-	-	○	-	-	-	-
BLOCK入力	○	-	-	○	-	-	-	-
I桁	○	○	○	○	○	○	○	○
T桁	○	○	○	○	○	○	○	○
WT桁	○	-	-	○	-	-	-	-
箱桁*	○	○	○	○	○	○	○	○
円孔ホロー桁	○	-	-	○	-	-	-	-

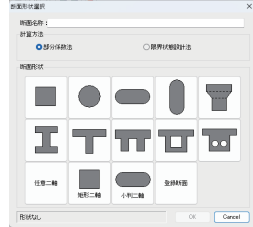
※箱桁断面において2室以上及びハンチを指定した場合は、曲げに対する照査のみとなります。

- 特集・ソリューション
- FEM解析
- エンジン・スライド
- 構造解析・断面
- 橋梁上部工
- 橋梁下部工
- 橋梁
- 橋脚
- 橋梁
- 道路土工
- 港湾
- 水工
- 地盤解析・地盤改良
- CAD/CIM
- 維持管理・地震リスク
- プラント・建築
- 船舶・遊覧
- スイートシリーズ
- 3DCG
- 紹介プログラム
- 技術サービスサポート

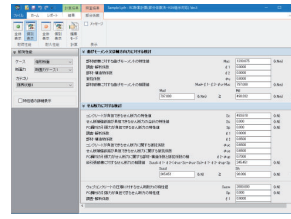
任意二軸断面の入力画面



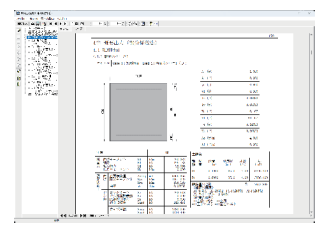
断面選択画面



断面計算結果



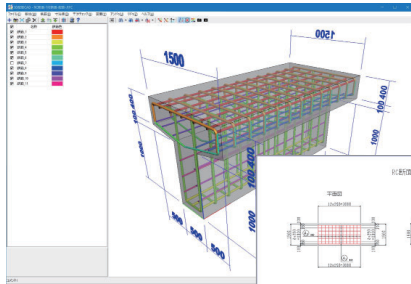
出力例



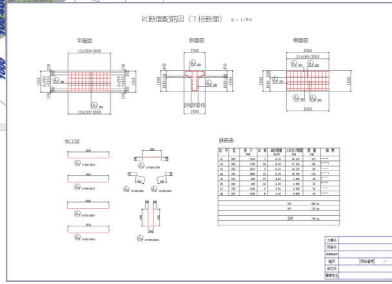
【3D配筋生成、図面作成】

- 入力した断面に部材長（奥行き幅）を与えることで部材の配筋状況を3Dで表示
- 3Dモデルの配筋状況は対象部材の選択と断面ケースの入力情報に応じて決定され、任意に編集することも可能
- 生成した3D配筋モデルはIFC形式等でのエクスポートに対応
- 3D配筋モデルの一般図、加工図、鉄筋表などの図面作成にも対応
- 断面ケースが複数ある場合には、それぞれのケースから生成した3D配筋モデルの図面を一括で生成することが可能

3D配筋生成



図面作成



3D配筋対応形状

断面形状	対象部材
矩形	橋脚：梁、柱、底版 橋台：胸壁、堅壁、底版、床版
円形	基礎：杭 橋脚：柱
小判型	橋脚：柱
I桁、T桁、ダブルT桁、箱桁、円孔ホロー桁	主桁

Ver.2 改訂内容

2026年4月リリース予定

1. 製品名及び準拠基準の選択
2. 編構成、語句、目次、式解、図表番号等の変更
3. 改訂内容に対応したF8-AIサポート対応

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年7月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年7月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年7月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年7月
------------	--

参考文献

(公社)土木学会	2017年制定 コンクリート標準示方書 設計編 平成30年3月 2022年制定 コンクリート標準示方書 設計編 令和4年3月
----------	---

旧基準

平成24年道路橋示方書に準拠し、許容応力度法による照査を行います。

【許容応力度法】

- 平成24年道路橋示方書に準拠した許容応力度法による照査に対応
- 炭素繊維シートを考慮した計算に対応

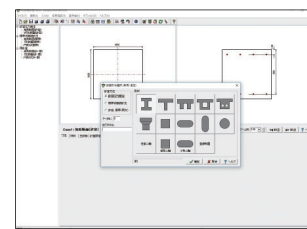
【限界状態設計法】

- 2012年までのコンクリート標準示方書に準拠した限界状態設計法による照査に対応
- 矩形（ハンチなし・中空部なし）、円形・円環、I形、T形、箱形（1室、ハンチなし）をサポート

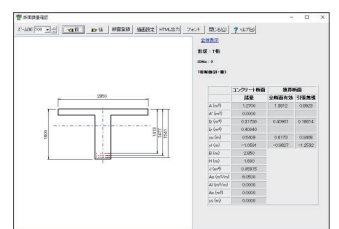
適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月
(公社)土木学会	平成8年制定 コンクリート標準示方書 設計編 平成8年3月 2002年制定 コンクリート標準示方書 構造性能照査編 平成14年3月 2007年制定 コンクリート標準示方書 設計編 平成20年3月 2012年制定 コンクリート標準示方書 設計編 平成25年3月 コンクリートライブラリー101 連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針 平成13年7月
(公社)全日本建設技術協会	土木構造物標準設計
(公財)鉄道総合技術研究所	鉄道構造物等設計標準・同解説 コンクリート構造物 平成16年4月 鉄道構造物等設計標準・同解説 コンクリート構造物 SI単位版 平成11年10月
建設省土木研究所	コンクリート部材の補修・補強に関する共同研究報告書(III) - 炭素繊維シート接着工法による道路橋コンクリート部材の補修・補強に関する設計・施工指針(案) 平成11年12月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 橋梁保全編 5章耐震補強 平成9年11月 設計要領 第二集 橋梁保全編 6章耐震設計 平成18年4月

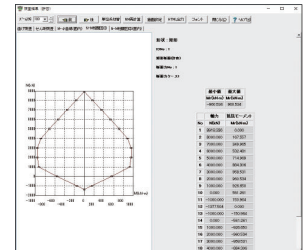
断面選択画面



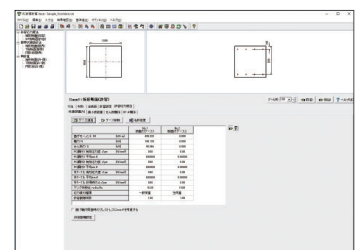
断面諸量確認



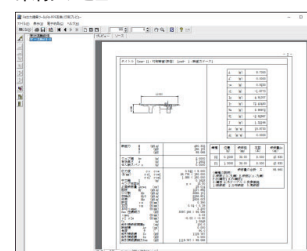
N-M相關図



断面入力画面（許容応力度法）



印刷プレビュー



プログラム価格
¥220,000
(税抜 ¥200,000)

RC断面計算 (旧基準) Complete NEW

R7道示
対応予定

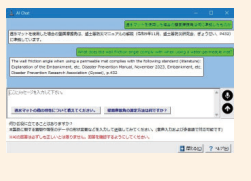
UC-1サポートAI

許容応力度法、限界状態設計法による鉄筋コンクリート断面計算プログラムのクラウド版

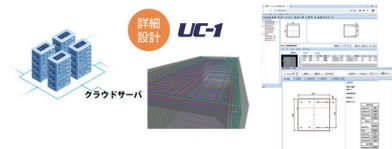
「RC断面計算 (旧基準)」の全ての詳細設計機能をクラウドベースのWebアプリケーションとして提供します。
インストール作業を必要とせず、インターネット環境があれば場所を問わず利用でき、常に最新の機能で設計を行うことが可能です。
インターフェースは従来のWindows版を踏襲し、これまでの「UC-1シリーズ」と同様の感覚でご利用いただけます。

F8-AI UCサポート

- 設計支援を目的としたAI機能を搭載。
- 入力操作や計算理論の解説など、サポート窓口へお問合せいただくことなく製品内で解決可能な手段をご提供します。
- 多言語、音声入力に対応しており、外国人技術者でも母国語での入力が可能です。



「UC-1シリーズ」の全ての詳細設計機能が
Webアプリで利用可能に!



【基本機能】

	UC-1 Cloud RC断面計算 (旧基準) Complete	RC断面計算 (旧基準)
計算機能	「RC断面計算 (旧基準)」に準じる	前ページ参照
計算書、設計調書出力	PDF, PPF, HTML, TXT ※プレビュー対応 ※出力のみ	
電子納品	対応	
自動バックアップ	-	対応

【適用範囲】

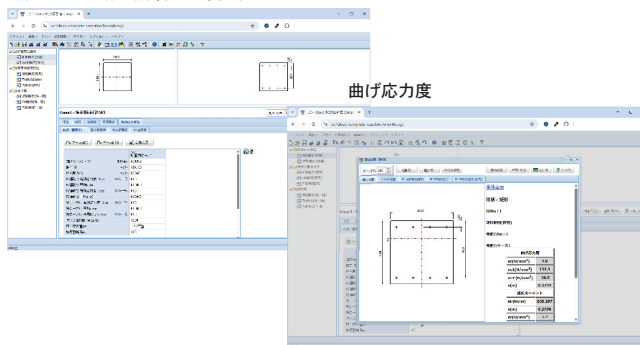
計算方法	許容応力度法	限界状態設計法
適用基準	道路橋示方書 (平成24年)	コンクリート標準示方書 (平成8年) コンクリート標準示方書 (2002年) コンクリート標準示方書 (2007年) コンクリート標準示方書 (2012年) 鉄道橋造物等設計標準 (平成11年) 鉄道橋造物等設計標準 (平成16年)
形状タイプ	矩形、 円形、 小判横、小判縦、 I桁、T桁、ダブルT桁、 箱桁、 円孔ホロー桁、二軸※	矩形 (ハンチなし・中空部なし) 円形・円環、 I桁、T桁、 箱桁 (1室、ハンチなし)
計算内容	断面諸量、 曲げ照査、 せん断照査、 抵抗モーメント、 終局モーメント、 初降伏モーメント	断面諸量、 耐久性 (使用限界)、 断面破壊 (終局限界)、 疲労破壊 (疲労限界)、 使用性

※箱桁断面において2室以上及びハンチを指定した場合は、曲げに対する照査のみとなります。

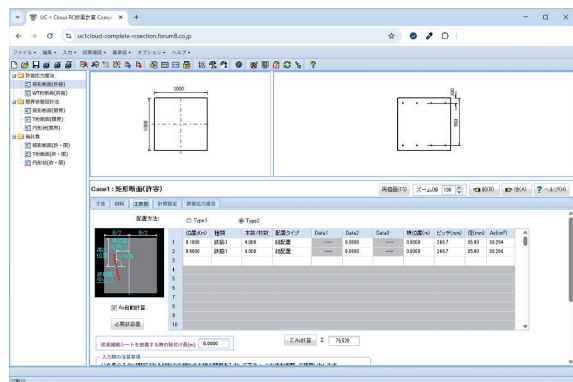
適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月
(公社)土木学会	平成8年制定 コンクリート標準示方書 設計編 平成8年3月 2002年制定 コンクリート標準示方書 構造性能照査編 平成14年3月 2007年制定 コンクリート標準示方書 設計編 平成20年3月 2012年制定 コンクリート標準示方書 設計編 平成25年3月 コンクリートライブラリー101 連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針 平成13年7月
(公社)全日本建設技術協会	土木構造物標準設計
(公財)鉄道総合技術研究所	鉄道橋造物等設計標準・同解説 コンクリート構造物 平成16年4月 鉄道橋造物等設計標準・同解説 コンクリート構造物 SI単位版 平成11年10月
建設省土木研究所	コンクリート部材の補修・補強に関する共同研究報告書 (III) - 炭素繊維シート接着工法による道路橋コンクリート部材の補修・補強に関する設計・施工指針 (案) 平成11年12月
東・中・西日本高速道路 (株)	設計要領 第二集 橋梁保全編 5章耐震補強 平成9年11月 設計要領 第二集 橋梁保全編 6章耐震設計 平成18年4月

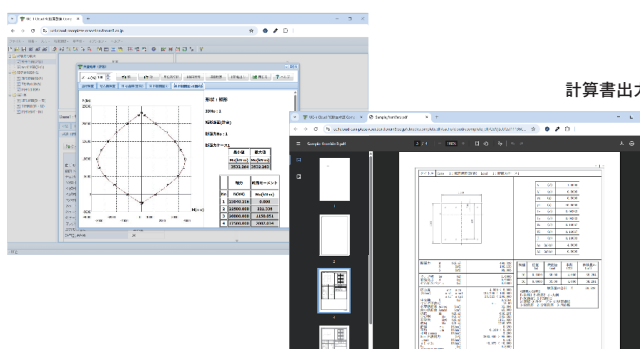
断面力入力画面 (許容応力度法)



主鉄筋入力画面



N-M相関図



計算書出力

UC-BRIDGE・3DCAD (R7/H29道示 対応) Ver.4 Upgrade ／ (旧基準) Ver.10

R7道示
対応

R7/H29道示対応
一括施工版
¥726,000
(税抜 ¥660,000)
分割施工対応版
¥847,000
(税抜 ¥770,000)

旧基準
一括施工版
¥423,500
(税抜 ¥385,000)
分割施工対応版
¥500,500
(税抜 ¥455,000)

Windows 11 対応
UC-1サポートAI
計算・CAD統合
電子納品 3D PDF
IFC

コンクリート道路橋の上部工設計計算、図面作成プログラム

一括施工または分割施工によるPC橋・RC橋・PRC橋の上部工設計計算プログラム。断面力算出から道路橋示方書に準じた各種照査、概算数量算出まで一連の計算に対応し、設計総括表の出力が可能。分割施工では、1径間ごとのステージング施工、張出架設などのモデルが作成でき、構造系の順次変化を考慮したクリープ解析が可能。格子モデル・床版設計モデル（横方向解析）・横桁設計モデルに対応。Engineer's Studio®、RC断面計算へのデータファイルエクスポート（構造、断面、荷重）に対応。H29道示対応版では図面作成、3Dモデル生成に対応。

■「UC-BRIDGE・3DCAD(R7/H29 道示対応) Ver.2」では、令和7年10月に発刊された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。主な対応項目は以下の通りとなります

・製品名変更および準拠基準の選択 ・限界状態2の評価追加 ・ウェブ温度差の影響考慮

【主な機能】

- 平面骨組みモデルによる構造解析が可能
- 道示準拠の各種照査（合成応力度、M-φ曲線、必要鉄筋量など）に対応
- 付属設計として、固有周期の計算、張出部の設計もサポート

【分割施工対応】※分割施工対応のライセンスが必要です

- 施工方法を考慮したクリープカ、クリープ解析による断面力

- 施工方法:1 径間ごとのステージング施工
- 張り出し架設などでの構造系変化:架設部材数の増加、支点条件の変化、部材結合条件の変化、仮設材・仮設支点の有無、内・外ケーブルの緊張を考慮
- 変位量を計算し、上げ越し量の計画や架設中の施工管理にも使用可能
- 着目ステップでの弾性変形、過去の全ステップの弾性変形に起因するステップでのクリープ変形計算

R7/H29道示対応

令和7年/平成29年道路橋示方書に準拠し、部分係数法による照査に対応しています。

F8-AI UCサポート

- 設計支援を目的としたAI機能を搭載
- 入力操作や計算理論の解説など、サポート窓口へお問合せいただくことなく製品内で解決可能な手段をご提供します
- 多言語、音声入力に対応しており、外国人技術者でも母国語での入力が可能です



【計算機能】

- 部分係数の組み合わせ、耐荷性能に関する照査に対応
- 作用組合せ（永続作用・変動作用・偶発作用）、荷重係数に基づく設計断面力集計
- 耐久性照査:結果表示で、内部鋼材の防食とコンクリート部材の疲労の表示切替
- 施工時の応力度の制限値の低減に対応
- 橋梁防護柵に作用する衝突荷重に対する照査に対応
- H29道示に準拠した固有周期の計算に対応

- プレストレス荷重及び温度差荷重によるせん断1次力の考慮に対応
- プレキャストセグメントを連結したコンクリート部材の照査に対応

【図面作成、3Dモデル生成】

- CADデータ交換標準SXF Ver3.1形式、DWG形式のファイル出力に対応
- IFC形式などの3Dモデル出力に対応

Ver.4 改訂内容

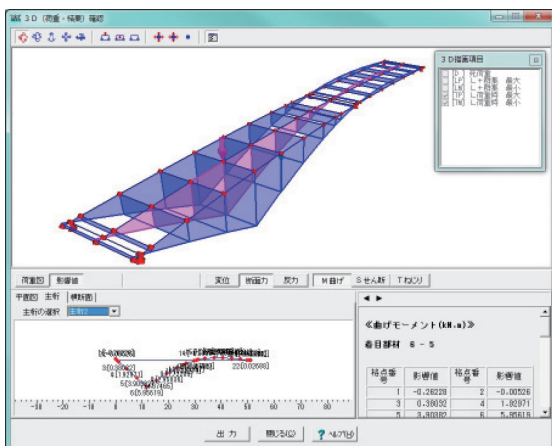
2026年2月リリース

1. 製品名変更および準拠基準の選択
2. 限界状態2の評価追加
3. ウェブ温度差の影響考慮

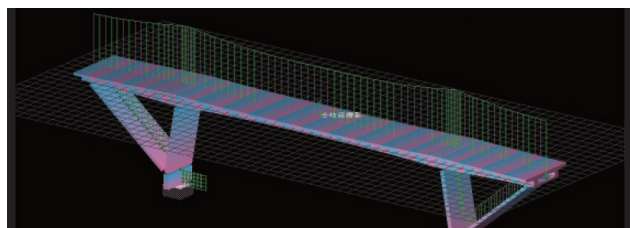
適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年11月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 橋梁建設編 平成18年4月 設計要領 第二集 擁壁編・カルバート編 平成10年7月 設計要領 第二集 擁壁編・カルバート編 平成2年7月
その他	CEB-FIP Model Code 90 パイプレステリング工法 設計・施工マニュアル 平成16年3月 パイプレステリング工法協会

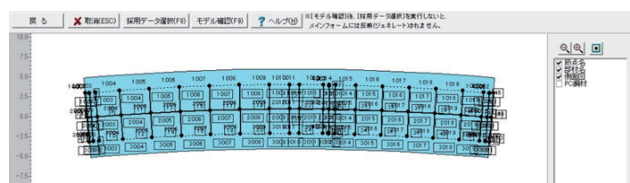
3D影響線図



ESデータ連携



格子モデルジェネレータ



対象範囲		
橋種	PC橋/PRC橋/RC橋	
対象断面	箱桁/中空床版/WT及び多主版桁/波形鋼板桁/合成T桁/ブロック入力(台形と円形の組合せ)/数値入力断面	
構造形式	主方向	連続ラーメン橋/連続桁橋/単純桁橋/斜π橋
	横方向	床版設計モデル/横桁設計モデル
材料	コンクリート/鉄筋/PC鋼材(内ケーブル・外ケーブル)/鋼板/炭素繊維シート/任意材料	
解析	フレーム解析(面内・面外)/格子解析/横方向解析	
荷重	死荷重/活荷重(L荷重・T荷重・線荷重・連行荷重)/雪荷重/温度荷重/乾燥収縮/クリープロス/プレストレス/鉄筋拘束力/地震時慣性力	
入力制限	部材数	3000
	節点数	3000
	架設ステップ数	制限なし(ハードの性能に依存)
ジェネレータ	格子モデル/横方向/横桁/斜π橋/連続桁	
データ連携	任意形格子桁の計算(エクスポート・断面力の取り込み) RC断面計算/FRAMEマネージャ/Engineer's Studio®	

参考文献

(公社)土木学会	コンクリート標準示方書 設計編 平成8年制定 コンクリート標準示方書 構造性能照査編 2002年制定 コンクリートライブラリ-44号
(公社)日本道路協会	コンクリート道路橋設計便覧 平成6年2月
(一社)PC建設業協会	JIS橋げたによるPC道路橋 設計・製造便覧 平成7年4月 JIS橋げたによる軽荷重PCスラブ橋 設計・製造便覧 平成8年3月
(公社)日本コンクリート工学会	マスコンクリートのひび割れ制御指針2016 2016年11月
その他	プレストレストコンクリート上部構造の設計計算例 平成4年9月(株)山海堂 新しいPC橋の設計「新しいPC橋の設計」編集委員会 編 2003年5月(株)山海堂 PRC橋の設計 平成5年6月(株)技報堂出版 コンクリート構造物の応力度と変形 川上尚他訳 1995年(株)技報堂出版 コンクリート構造物のクリープと乾燥収縮 百島祐信訳 1976年(株)鹿島出版会 変位法によるコンクリート構造物のクリープ・乾燥収縮解析の基礎理論 佐藤他 プレストレスコンクリート vol.22, No.2, Apr.1980 波形鋼板ウェブPC橋 計画マニュアル(案) 波形鋼板ウェブ合成構造研究会

旧基準

平成24年道路橋示方書に準拠した照査に対応しています。

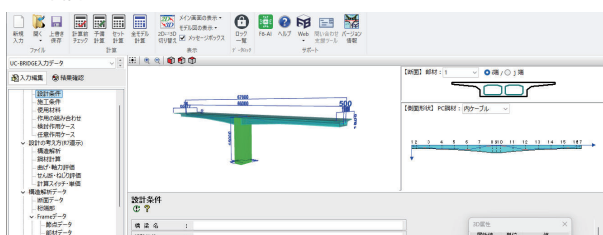
【計算機能】

- 許容応力度法による断面照査に対応
- 照査:破壊抵抗曲げモーメント、破壊安全度、平均せん断応力度、斜引張・軸方向鉄筋量、PC・PRC部材の斜引張応力度、PRC部材の変動応力度・疲労強度、RC部材の曲げ応力度、橋脚のM-φ曲線
- コンクリートの概算数量

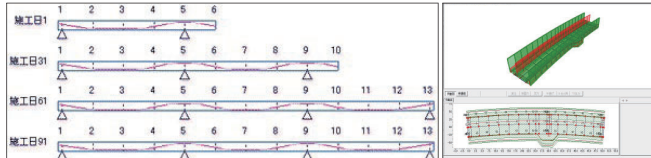
適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成24年3月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 橋梁建設編 平成18年4月 設計要領 第二集 擁壁編・カルバート編 平成10年7月 設計要領 第二集 擁壁編・カルバート編 平成2年7月
その他	CEB-FIP Model Code 90 バイプレストレスング工法 設計・施工マニュアル 平成16年3月 バイプレストレスング工法協会

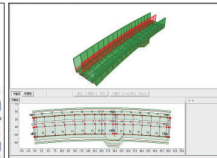
メイン画面



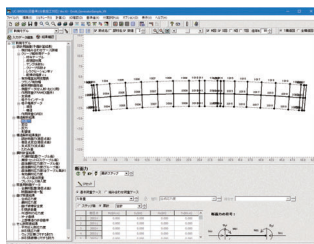
施工ステップのイメージ



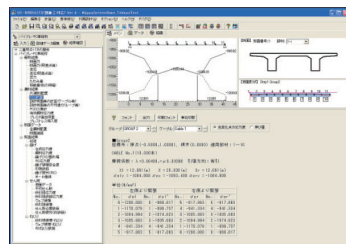
格子モデルの3D表示



UC-BRIDGEにおける格子計算結果図



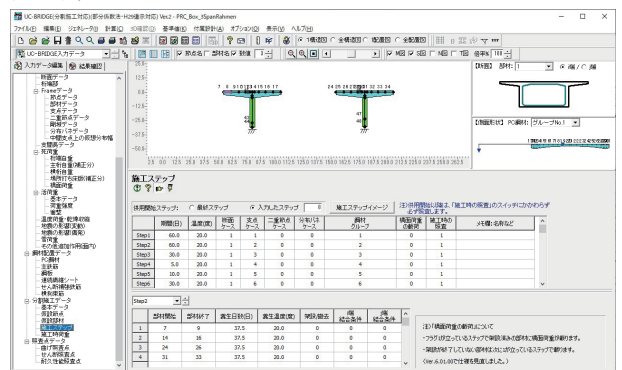
圧縮鋼棒の摩擦ロスとセットロス



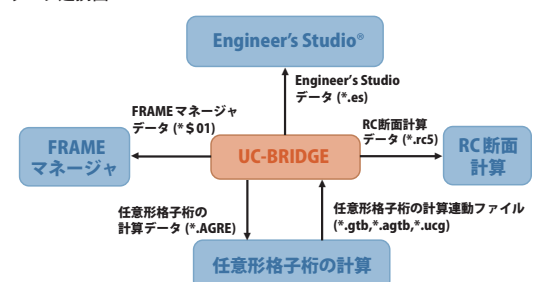
参考文献

(公社)土木学会	コンクリート標準示方書 設計編 平成8年制定 コンクリート標準示方書 構造性能照査編 2002年制定 コンクリートライブラリ-44号
(公社)日本道路協会	コンクリート道路橋設計便覧 平成6年2月
(一社)PC建設業協会	JIS橋げたによるPC道路橋 設計・製造便覧 平成7年4月 JIS橋げたによる軽荷重PCスラブ橋 設計・製造便覧 平成8年3月
その他	プレストレストコンクリート上部構造の設計計算例 平成4年9月(株)山海堂 新しいPC橋の設計「新しいPC橋の設計」編集委員会 編 2003年5月(株)山海堂 PRC橋の設計 平成5年6月(株)技報堂出版 コンクリート構造物の応力度と変形 川上尚他訳 1995年(株)技報堂出版 変位法によるコンクリート構造物のクリープ・乾燥収縮解析の基礎理論 佐藤他 プレストレスコンクリート vol.22, No.2, Apr.1980 波形鋼板ウェブPC橋 計画マニュアル(案) 波形鋼板ウェブ合成構造研究会

施工ステップの入力



データ連携図



橋台の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.10

UpGrade

プログラム価格
¥399,300
(税抜 ¥363,000)

サブスクリプション価格
p.163~164参照
UC-1エンジニアスイート
p.18~19参照

翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥33,000
(税抜 ¥30,000)

カスタマイズ版
¥394,900
(税抜 ¥359,000)

英語出力版
¥583,000
(税抜 ¥530,000)

Windows 11 対応

UC-1サポートAI

計算・CAD統合

3D配筋対応

電子納品 3D PDF

IFC

有償セミナー

逆T式橋台、重力式橋台の設計計算、図面作成プログラム

逆T式橋台、重力式橋台の設計計算から図面作成までを一貫して行うプログラムです。落橋防止構造、橋座の設計、踏掛版、突起の考慮、翼壁、杭本体の設計など広く橋台の設計をサポートしています。任意形状では簡単な操作で側面形状を自由に設定、段差フーチングでは橋軸・直角段差の検討が行えます。図面作成では、逆T式、半重力式、重力式橋台の配筋図、一般図の図面作成およびSXF、DWG等のファイル出力、3D配筋シミュレーションに対応しています。

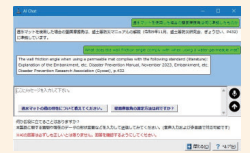
■「橋台の設計・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.2」では、令和7年10月に発刊された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。主な対応項目は以下の通りとなります

・製品名変更および準拠基準の選択・編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更・改定内容に対応したF8-AI UCサポート

- 「初期入力」画面の設計条件を入力するだけで一般的な形状の設計が可能
- 設計方法として、寸法入力または任意形状から選択可能で、安定計算、部材設計が可能
- 「基準値」データの活用により、あらかじめ基準類等で定められた値の入力や基本的設計の考え方を毎回の入力が不要。コンクリートにおいては、任意に材料を追加することが可能
- 照査結果にエラーがある時は、確認が必要な項目をガイド表示し、項目を選択することにより入力値を修正
- 作用力の集計や杭体の断面力等をグラフィック表示
- 計算書においては、項目をツリー形式で表示し編集することができ、設計調書も簡単に作成。また、危険ケースを選択できるクリティカルケース出力が可能
- 図面作成では、配筋図の他に一般図を作成、図面レイアウトも自動で決定
- 落橋防止作用時の検討に対応
- 杭基礎の制限緩和(100列対応)
- A1橋台、A2橋台の簡易入力機能(震度連携ファイル作成)のサポート
- 岩盤における直接基礎の支持力照査対応
- 「形状・荷重の自動生成/結果確認」の機能を追加
- 無筋コンクリート部材の許容応力度法による計算に対応
- IFCデータ出力時に位置情報の出力に対応
- 震度算出ファイルのサポート機能を追加

F8-AI UCサポート

- 設計支援を目的としたAI機能を搭載
- 入力操作や計算理論の解説など、サポート窓口へお問合せいただくことなく製品内で解決可能な手段をご提供します
- 多言語、音声入力に対応しており、外国人技術者でも母国語での入力が可能です

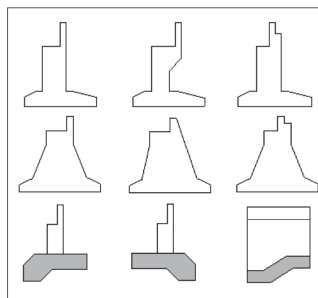


【対応形状】

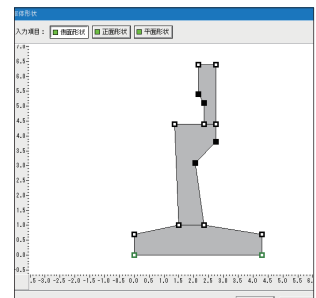
項目	対象範囲
橋台種類	逆T式、重力式、半重力式
胸壁形状	受台なし/あり、省力形状、前面突起なし/あり
フーチング	直角方向張出、段差フーチング(橋軸/直角)
基礎形式	直接基礎、置換基礎、杭基礎(※1)、深礎基礎(※2)
翼壁	フル、パラレル、立ち上げ
検討ケース	H29版:40ケース、旧基準:20ケース ケース毎に地表面荷重載荷位置(a,b,c)の検討が可能

※1 レベル2地震時、地層傾斜、2.5次元解析等の照査には基礎製品との連動が必要
※2 深礎フレームとの連動が必要

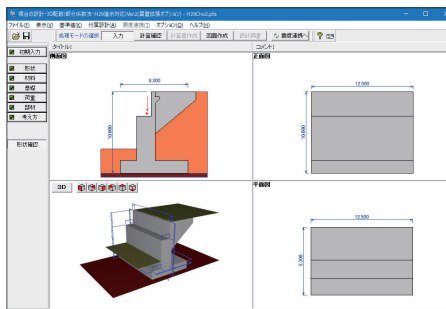
対応形状一覧(寸法入力)



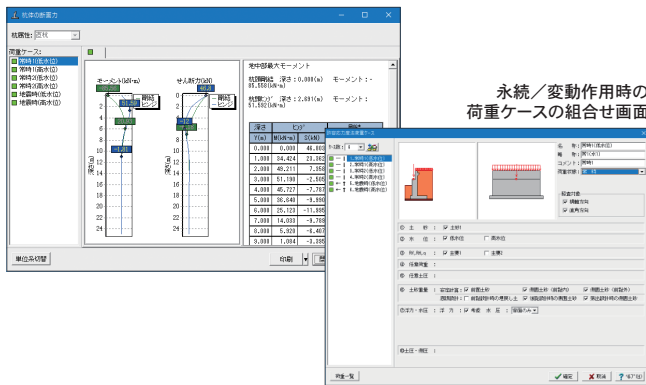
任意形状入力画面



メイン画面



杭体断面力確認



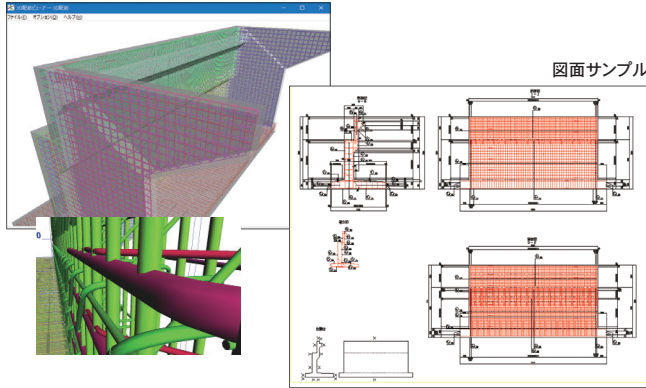
【照査】

- 橋軸方向、橋軸直角方向の安定照査が可能
- 各部材の鉄筋/無筋の指定が可能
- 落橋防止構造・橋座・踏掛版・翼壁の設計、側方移動の判定
- レベル2地震時の安全性の判定、底版の照査(杭基礎、深礎杭の場合、別途連動製品が必要)、堅壁の保有水平耐力法に対応
- 軽量盛土、多層地盤を考慮した安定計算、部材設計(胸壁、堅壁)
- 直角方向の照査(安定計算、堅壁、直角方向張出部)が可能
- 任意荷重:集中荷重、分布荷重、モーメント荷重より考慮
- EPS、FCB等の軽量盛土工法に対応、側圧の考慮が可能
- 任意土圧の指定が可能
- 橋軸方向および橋軸直角方向の段差フーチングの検討が可能
- 上部工反力の作用位置による偏心モーメントの考慮が可能
- 底版中心の作用力の直接指定が可能
- 付属設計として、橋座・踏掛版・翼壁の検討が可能。側方移動の判定機能をサポート
- 翼壁のFEM解析による照査が可能(翼壁拡張オプション)

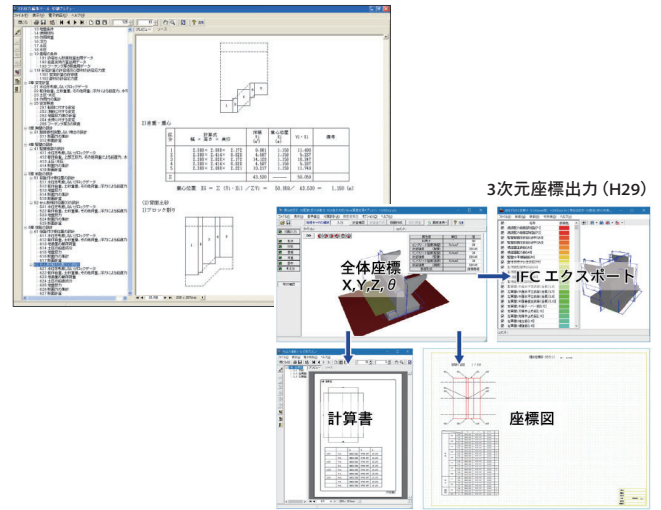
【図面生成】

- 逆T式、半重力式、重力式橋台の配筋図、一般図の図面作成が可能
- 逆T式橋台では、「橋座前面張出し(水管橋)」、「胸壁前面張出し(NEXCO)」「底版補強」の配筋図作成に対応
- 胸壁に開口部・落橋防止装置用穴を設け、胸壁鉄筋の穴よけ処理が可能
- 橋面工鉄筋、支承アンカーボルト穴、底版鉄筋の杭よけ処理が可能
- CADデータ交換標準SXF Ver3.1形式、DWG形式のファイル出力に対応
- 3D配筋シミュレーション機能、3DS、IFCのファイル出力に対応
- 鉄筋の干渉チェックが可能
- 橋軸段差/直角段差時の図面生成が可能

3D配筋シミュレーション



ブロック割 印刷プレビュー



【データ連携】

- 「基礎の設計・3D配筋」「深礎フレームの設計・3D配筋」とのリアルタイム連動が可能
- 杭基礎連動により、杭基礎レベル2地震時の照査、地層傾斜、杭長変化等の検討が可能
- 「震度算出(支承設計)」とファイルを介したデータ連携が可能
- 縦壁を橋脚として照査する場合、「Engineer's Studio®」へのエクスポート(非線形動的解析モデル)が可能

R7/H29道示対応

【H24道示対応製品との違い】

- H24道示対応製品の旧データ読み込みに対応。作用組合せを以下のように変換

H24年道示		H29年道示		H24年道示		H29年道示	
常時(死荷重)	永続作用	D		常時(死荷重+活荷重)	変動作用	D+L	
地震時荷重	変動作用	D+EQ		常時(温度荷重)	変動作用	D+TH, D+L+TH	
衝突時	偶発作用	D+CO		常時(風荷重)	変動作用	D+WS, D+L+WS	

- 上部工反力は、作用の種類毎(死荷重D、活荷重L、地震の影響EQ等)に設計に反映
- 永続/変動作用時の作用組合せは、40ケースまで検討可能
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応
- 耐久性照査、耐荷性能の部材照査が可能。耐久性において部材種別に応じて腐食及び疲労の照査が可能
- 胸壁、翼壁の設計において、地震時温度変化荷重(D+TH+EQ)ケースの照査に対応
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法、H29道示対応)」連動に対応
- 「震度算出(支承設計)(部分係数法、H29道示対応)」とのファイル連携が可能

各製品の機能一覧

項目	H29道示版	H24道示版	カスタマイズ版	項目	H29道示版	H24道示版	カスタマイズ版
適用示方書	H29	H24	H14	フーチングの補強設計	-	○	○
逆T橋台	○	○	○	落橋防止作動時の検討	○	○	-
重力式橋台	○	○	○	設計調書	○	○	○
任意側面形状橋台	○	○	○	図面作成	○	○	○
配筋自動決定	○	○	○	3D配筋	○	○	○
安定計算	○	○	○	基礎連動	○	○	○
フーチング中心の作用力直接指定による安定計算	○	○	○	震度連携	○	○	○
部材の設計	○	○	○	積算連携	○	○	-
橋脚柱としての設計	○	○	○	翼壁FEM	別オプション	別オプション	別オプション
新設設計	○	○	○	ESエクスポート	○	○	-

Ver.10 改訂内容 2026年3月リリース

1. 製品名変更および準拠基準の選択
2. 編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更
3. 改定内容に対応したF8-AI UC サポート

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年7月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 令和7年10月 杭基礎設計便覧 令和2年9月
国土交通省	3次元モデル成果物作成要領(案) 令和3年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	平成29年道路橋示方書に基づく道路橋の設計計算例 平成30年6月
------------	----------------------------------

橋台の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.15

旧基準 プログラム価格
¥299,530
(税抜 ¥272,300)

翼壁拡張オプション
(旧基準)
¥23,100
(税抜 ¥21,000)

保耐法拡張オプション
(旧基準)
¥55,000
(税抜 ¥50,000)

【基礎形式】

- 直接基礎:荷重の偏心考慮、斜面上の支持力検討、突起を考慮した滑动照査
- 杭基礎:許容支持力、杭本体設計、杭頭・底版結合部照査、底版剛体照査
- 杭種:鋼管杭、RC杭、PC杭、PHC杭、場所打杭、鋼管ソイルセメント杭、SC杭、SC+PHC杭、回転杭、その他杭
- 杭基礎連動:2.5次元連動設計、盛りこぼし、側方移動の連動設計
- 底版を増厚・増幅する直接基礎、杭基礎の補強設計、置き換え基礎の照査
- 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出(支承設計)」との連動対応

【照査】

- 胸壁・縦壁・底版は、鉄筋コンクリート、無筋コンクリートの設計機能
- 胸壁前面突起部、桁かかり部(縦壁前面突起部)をコーベルとして設計可能
- 胸壁の断面力集計に舗装自重、踏掛版自重の算出過程を表示
- 底版前趾を増厚する直接基礎、杭基礎(別途連動製品が必要)の補強設計、底版剛体照査が可能
- 前面・背面・前面動水圧・水位の考慮、試行くさび式による土圧算出
- 安定計算・断面計算を満足する形状・杭配置・配筋の自動決定が可能

【Engineer's Studio® エクスポート】

- 非線形動的解析データ対応モデルとして、Fibre、M-φ、M-θ モデルとして単独でエクスポート可能

【翼壁拡張オプション】

- 翼壁の設計において、平板解析に対応

【保耐法拡張オプション】

- 下部構造による慣性力が大きいモデルや断面変化モデルにおいて

密に躯体の慣性力を考慮した設計が望ましい構造物に適用

- 縦壁保耐設計時に、道路橋示方書 V による照査 ($Pa \geq Khc \cdot W$)、設計震度による照査 ($kha \geq khc$) が選択可能
- 「土木研究所資料 地震時保有水平耐力法に基づく水門・堰の耐震性能照査に関する計算例 独立行政法人土木研究所」を参考とした設計方法で、道路橋の橋台以外に設計用途を拡張することができます

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集-橋梁建設編- 平成28年8月
(社)農業土木学会	土地改良事業計画設計基準 設計「農道」 平成17年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	既設道路橋基礎の補強に関する参考資料 平成12年2月 既設道路橋の耐震補強に関する参考資料 平成9年8月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 カルバート 建設編 令和元年7月
その他	土地改良事業標準設計図面集 利用の手引き「橋梁下部工(橋台)」平成11年3月(社)農業農村情報総合センター EPS工法 発泡スチロール(EPS)を用いた超軽量盛土工法 平成10年8月(社)理工図書 構造物標準設計図集・下部構造編 昭和59年3月 日本道路公団 森林土木構造物標準設計 橋台編 平成16年3月(財)林業土木コンサルタンツ 林業必携(技術編) 平成23年8月(社)日本林道協会

震度算出(支承設計) (R7/H29道示対応) Ver.9

静的フレーム法による固有周期(水平震度)、
上部構造部分の重量(分担重量)を算出

プログラム価格
¥281,930
(税抜 ¥256,300)

立体骨組解析オプション
(H29道示対応)
¥55,000
(税抜 ¥50,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜 ¥254,000)

Windows 11 対応

電子納品 3D PDF
有償セミナー

静的フレーム法により固有周期(水平震度)と当該下部構造が支持している上部構造部分の重量(分担重量)を求めるプログラムです。複数振動単位系を有する橋梁でも、自動で設計振動単位を分割し、設計振動単位に応じた計算を行います。単体機能として、一基下部構造の計算、固有値解析、任意形状の固有周期算定機能をサポートしています。UC-1 下部工製品とのデータ連携により、効率的な下部工の設計を支援します。

■「震度算出(支承設計)(R7/H29道示対応)Ver.9」では、令和7年10月に発刊された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。主な対応項目は以下の通りとなります

- ・製品名変更および準拠基準の選択
- ・下部構造プロダクト連携

【プログラムの機能と特長】

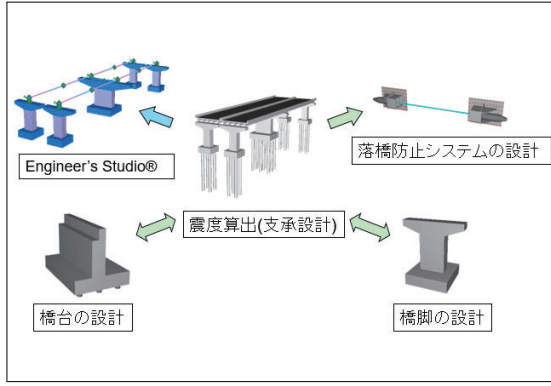
- 橋梁モデル解析:上部構造と下部構造の組み合わせにより、橋梁モデルの解析(固有周期、設計水平震度、分担重量、下部構造に作用する慣性力)に対応
- 1基下部構造:下部構造データと解析に必要な最小限の入力で、1基下部構造としての計算が可能(上部構造データの作成は不要)
- 下部構造の水平方向の剛性算出:弾性荷重法を用いて、下部構造の水平方向の剛性、躯体の水平剛性、基礎の水平バネ、基礎の回転バネを算出

- 任意骨組解析:任意骨組入力モデルのFRAME 解析をサポート
- 桁かかり長の計算に対応
- 永続・変動作用時の解析
- Engineer's Studio®データのエクスポートに対応
- 設計調書の出力に対応
- 下部構造プロダクトと連動している場合に各下部構造の設計計算書の統合出力に対応

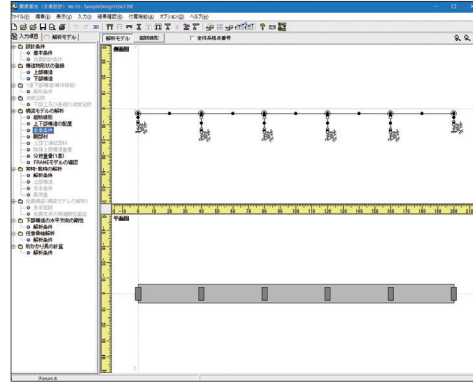
【震度算出(支承設計)立体骨組解析オプション】

- ラーメン橋脚の門形骨組への対応

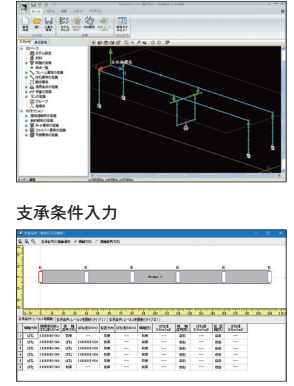
連携のイメージ



メイン画面



ESエクスポートイメージ



震度算出 (支承設計) (旧基準) Ver.10

旧基準 プログラム価格
¥210,980
(税抜 ¥191,800)

立体骨組解析オプション
(旧基準)
¥38,500
(税抜 ¥35,000)

- 常時・風時の解析: 常時の支承移動量 (静的フレーム解析を用いる場合は、水平反力も算定)、風時の支承移動量および支点反力に対応
- 地盤種別の判定及び基礎バネの算出に対応
- 1基下部構造の場合、下部構造躯体の曲げ変形、基礎の変位、上部構造慣性力作用位置における変位、下部構造間の固有周期比、設計水平震度 k_h を算出

- 複数下部構造の場合は、面内・面外共、骨組データを自動作成
- 下部構造の震度を算出し、地震時の各下部構造に作用する作用力を算出
- 躯体の剛性、基礎のばね定数を考慮した水平方向剛性算定をサポート
- 杭基礎の断面積・断面2次モーメントの自動算定機能対応
- 応答スペクトル法による動的解析に対応

【各製品の機能一覧】

項目	H29年道示	H24道示版	カスタマイズ版
適用示方書	H29	H24	H14
固有値解析	○	○	○
支承の設計	○	○	○
立体骨組解析	○	○	○
計算書統合出力	○	-	-
設計調書	○	○	○
下部工連動	○	○	○
ESエクスポート	○	○	-

参考文献

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成14年3月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月 道路橋示方書・同解説 SI単位系移行に関する参考資料 平成10年7月 道路橋支承便覧 平成16年4月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編に関する参考資料 平成27年3月
(一財)土木研究センター	建設省 道路橋の免震設計法マニュアル(案)
その他	高減衰ゴム支承共通設計式 平成15年3月 HDR研究会 高減衰ゴム支承共通設計式 平成12年5月 HDR研究会

橋脚の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応)

Ver.10 Upgrade

プログラム価格
¥435,600
(税抜 ¥396,000)

カスタマイズ版
¥427,900
(税抜 ¥389,000)

サブスクリプション価格
p.163~164参照
UC-1エンジニアスイート
p.18~19参照

Windows 11 対応

UC-1サポートAI

計算・CAD統合

3D配筋対応

電子納品 3D PDF

IFC

有償セミナー

各種形状・形式に対応した単柱式RC橋脚の耐震設計、図面作成プログラム

橋脚の設計計算から、図面作成までを一貫して行うプログラムです。鉄筋コンクリート橋脚の耐震性の判定を行います。図面作成では、一般図から配筋図、組立図、加工図、鉄筋表などの図面を一括生成し、DXF、SXF、IFCなどの各ファイル出力に対応しており、Engineer's Studio®データファイル出力にも対応しています。

■「ラーメン橋脚の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.10」では、令和7年10月に発行された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。主な対応項目は以下の通りとなります

・製品名変更および準拠基準の選択 ・編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更 ・改定内容に対応したF8-AI UCサポート

【形式・形状】

- 橋脚の形式: 単柱式の張り出し式橋脚、壁式橋脚(橋軸、直角方向偏心)
- 断面形状: 矩形、矩形面取り(R/直線)、小判形、円形の中実断面・中空断面(逆テーパ、矩形面取りを除く)
柱の順テーパ(下広がり)、逆テーパ(上広がり)をサポート(矩形面取り時の順テーパ除く)

【形式・形状】

- 橋脚の形式: 単柱式の張り出し式橋脚、壁式橋脚(橋軸、直角方向偏心)
- 断面形状: 矩形、矩形面取り(R/直線)、小判形、円形の中実断面・中空断面(逆テーパ、矩形面取りを除く)
柱の順テーパ(下広がり)、逆テーパ(上広がり)をサポート(矩形面取り時の順テーパ除く)
- はり形状: 矩形、小判形、張り出し式、コーベルの設計も可能
- フーチング形状: テーパーなしから全方向テーパまで対応
深礎基礎の場合は段差フーチングも可能
- 基礎形式: 直接基礎、杭基礎、ケーソン基礎、鋼管矢板基礎、深礎基礎(別途、対応する基礎製品が必要)

【照査内容】

- はり鉛直方向の照査、水平方向の照査(形状がコーベルの条件を満たす場合は、コーベルとしての設計が可能)
- 柱の照査、安定計算(直接基礎)、フーチングの照査、橋座の設計

永続/変動/偶発(衝突)作用が支配的な状況に対する照査

- 限界状態に応じた曲げモーメント、軸力、せん断力に対する照査に対応
- 柱に作用する集中荷重、橋脚天端に作用する集中・分布荷重、風荷重、流水圧、動水圧、過載荷重を考慮可能
- 水位は荷重ケースごとに最大2ケース指定可能

偶発(レベル2地震動)作用が支配的な状況に対する照査

- 限界状態に応じた曲げモーメント、軸力、せん断力に対する照査に対応
- 柱に作用する集中荷重、橋脚天端に作用する集中・分布荷重を考慮可能

その他の特殊条件

- レベル2地震時動水圧に対応
- 地表面に傾斜を設けることが可能

付属設計

- 橋座の設計(橋座部の耐力照査、支圧応力度の照査)が可能

特殊工法への対応

- REED工法による橋脚の設計計算に対応

- はり形状: 矩形、小判形、張り出し式、コーベルの設計も可能
- フーチング形状: テーパーなしから全方向テーパまで対応
深礎基礎の場合は段差フーチングも可能
- 基礎形式: 直接基礎、杭基礎、ケーソン基礎、鋼管矢板基礎、深礎基礎(別途、対応する基礎製品が必要)

【データ連携】

基礎製品とのリアルタイム連動

- 「基礎の設計・3D配筋」「深礎フレームの設計・3D配筋」との連動が可能(杭基礎、深礎基礎、ケーソン基礎、鋼管矢板基礎)
- 杭基礎の場合は、2.5次元解析が可能
- ファイルを介したデータ連携が可能

「震度算出(支承設計)」との連携

- 「震度算出(支承設計)」とファイルを介したデータ連携が可能

「落橋防止システムの設計」との連携

- 落橋防止装置の3Dモデル、死荷重の取り込み、計算書の統合が可能

非線形動的解析モデルのエクスポート

- 非線形動的解析プログラム「Engineer's Studio®」へのデータエクスポートに対応

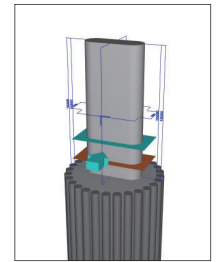
【図面作成】

- 支承アンカーボルト穴作図・自動よけ配筋、支承補筋筋、架違部鉄筋
- CADデータ交換標準SXF Ver.3.1形式の(レベル2)出力に対応

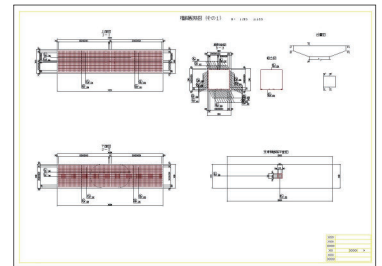
【3D配筋】

- 3D配筋シミュレーション(3D配筋自動生成、表示)
- 3Dアノテーション(3D躯体寸法線、躯体・鉄筋属性の表示)に対応
- 「3D配筋CAD」と連動することで、配筋の干渉チェックが可能
- 3Dモデル出力(IFC、ALLPLAN、DWG、DXF、3DS)

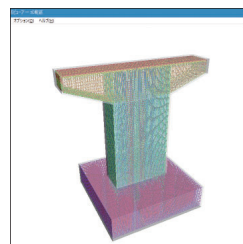
鋼管矢板基礎連動



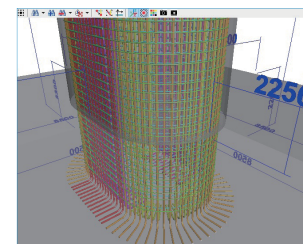
図面生成



3D配筋図画面

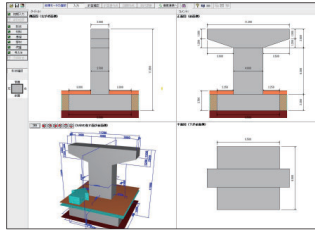


3D配筋表示

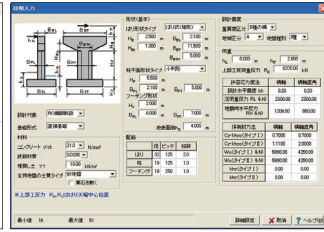


- 特集・ソリューション
- FEM解析
- エンジニアスイート
- 構造解析・断面
- 橋梁上部工
- 橋梁下部工
- 基礎工
- 仮設工
- 道路土工
- 港湾
- 水工
- 地盤解析・地盤改良
- CAD/CIM
- 維持管理・地震リスク
- プラント・建築
- 船舶・遊覧
- スイートシリーズ
- 3DCG
- 紹介プログラム
- 技術サービス・サポート

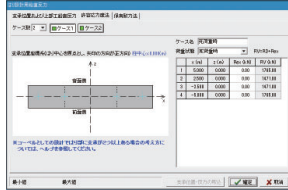
メイン画面



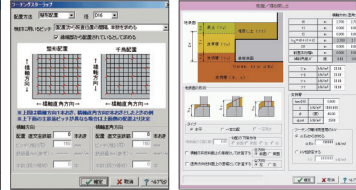
初期設定画面



はり主鉄筋入力

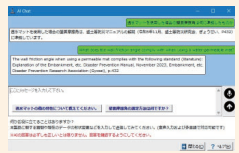


スターラップ入力画面 地盤入力



F8-AI UCサポート

- 設計支援を目的としたAI機能を搭載
- 入力操作や計算理論の解説など、サポート窓口へお問合せいただくことなく製品内で解決可能な手段をご提供します
- 多言語、音声入力に対応しており、外国人技術者でも母国語での入力が可能です



【設計調書出力】

- テンプレートを用いて、設計条件や計算結果等を反映した設計調書を出力

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 IIIコンクリート橋・コンクリート部材編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 橋梁建設編 平成28年8月 CADによる図面作成要領(案) 平成29年9月
国土交通省	3次元モデル表記標準(案) 令和2年3月 CIM導入ガイドライン(案) 令和2年3月 3次元モデル成果物作成要領(案) 令和3年3月 CAD製図基準 平成29年3月
土木学会	土木製図基準 平成15年5月

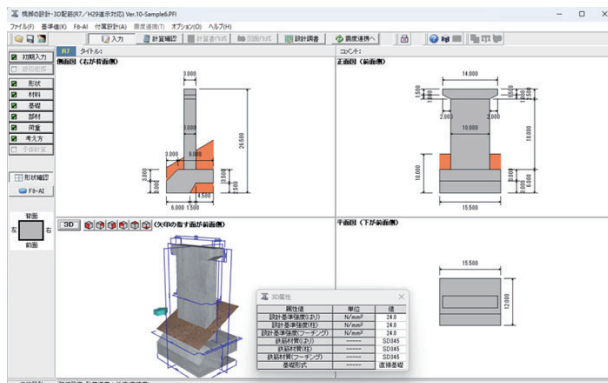
Ver.10 改訂内容

2026年2月リリース

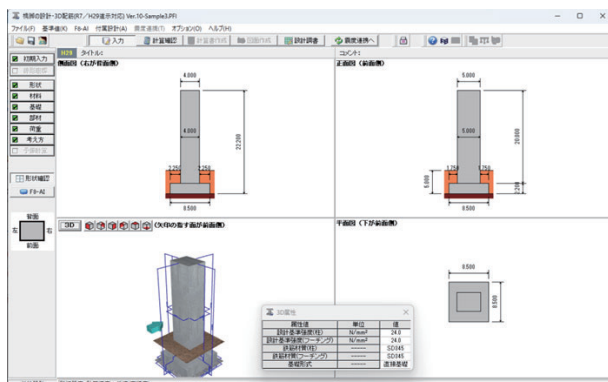
1. 製品名変更および準拠基準の選択
2. 編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更
3. 改定内容に対応したF8-AI UCサポート

参考文献

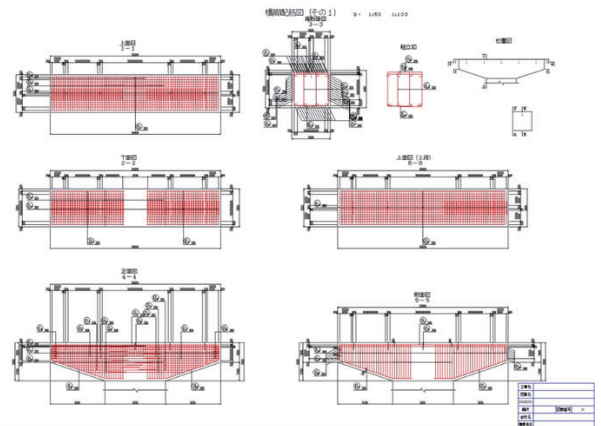
(公社)日本道路協会	平成29年道路橋示方書に基づく道路橋の設計計算例 平成30年6月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月
その他	橋梁下部構造の配筋に関する参考資料(案) 平成15年 国土交通省 九州地方整備局 土木構造物設計ガイドライン 平成11年11月(社)全日本建設技術協会 よくわかる直接基礎・深礎基礎の設計 平成13年6月(株)山海堂



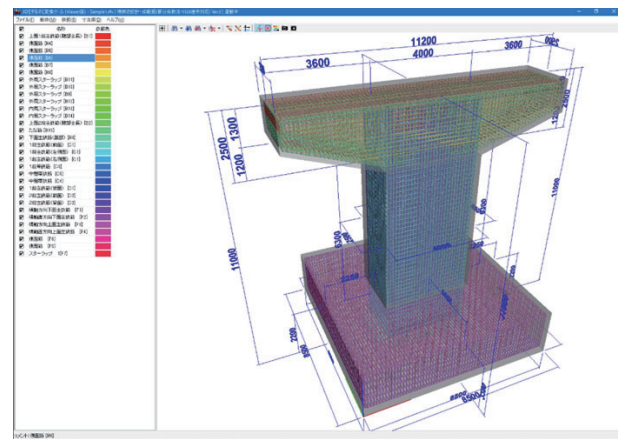
▲段差フーチング対応



▲REED工法対応



▲配筋図作成対応



▲3D配筋図作成、BIM/CIMモデル作成対応

橋脚の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.14

プログラム価格
¥338,800
(税抜 ¥308,000)

保耐法拡張オプション
(旧基準)
¥55,000
(税抜 ¥50,000)

REED工法オプション
(旧基準)
¥330,000
(税抜 ¥300,000)

【主な機能】

- 単柱式及び壁式RC橋脚の新設設計、既設検討、補強設計
- 安定計算、はり、柱、フーチングの部材設計
- 許容応力度法、保有水平耐力法による部材照査
- 段差フーチング、斜面上の基礎としての照査
- 鋼管・コンクリート複合構造橋脚、インターロッキング式橋脚
- 橋座の設計、鉄筋コンクリートによる縁端拡幅設計

【常時、暴風時及びレベル1地震時の照査】

- 風荷重、流水圧、地震時動水圧、土圧等を考慮可能
- 柱鉄筋の段落し部、任意の中間位置における断面照査
- 荷重ケースごとに最大2つの水位を指定可能

【レベル2地震時の照査】

- 地震時保有水平耐力の照査
- 固有周期算定に用いる降伏剛性の算定
- 新設柱の段落し位置照査
- 既設検討・補強設計時の損傷断面の判定

【落橋防止作動時の荷重状態に対する照査】

- 安定計算(直接基礎以外は運動製品で照査)
- 柱部材の地震時保有水平耐力法による照査
- フーチング部材の耐力照査(直接基礎以外は運動製品で照査)

【自動設定】

- はり下側絞り高さ、主鉄筋配置、スターラップ径及び内周組数を自動設定
- 柱の主鉄筋配置、帯鉄筋径を自動設定
- フーチング形状、主鉄筋配置、スターラップ径を自動設定

【補強工法】

はり	RC増厚(橋軸方向)
柱	RC巻立て
	鋼板併用RC巻立て
	鋼板巻立てアンカー筋あり
	鋼板巻立てアンカー筋なし
	連続繊維巻立て(じん性、曲げ、せん断)
	PCコンファインド
フーチング	ピア・リフレ(曲げ補強仕様)
	上面増厚 拡幅(橋軸方向・直角方向)

※全て同時補強可能

【図面作成部】

- 杭箱抜き、杭よけ斜め鉄筋の作図、段差フーチング対応
- かぶり詳細図の作図、フーチング補強の作図

【各製品の機能一覧】

項目	H29 道示版	H24 道示版	カスタマイズ版	復元設計 計算	項目	H29 道示版	H24 道示版	カスタマイズ版	復元設計 計算
適用示方書	H29	H24	H14	S55~H14	設計調書	○	○	○	○
安定計算	○	○	○	-	図面作成	○	○	○	-
はりの設計	○	○	○	-	基礎連動	○	○	○	-
柱の設計	○	○	○	○	震度連携	○	○	○	○
フーチングの設計	○	○	○	-	積算連携	○	○	-	-
新設設計	○	○	○	○	ESエクスポート	○	○	-	-
既設検討・補強設計	-	○	○	○					

【保耐法拡張オプション】

- 下部構造の慣性力を厳密に考慮した保有水平耐力法の照査に対応
- 「 $kha \geq khc$ 」による照査が可能

【REED工法オプション】

- 橋脚の外殻にSEEDフォームを使用、主鋼材としてストライプHを配置した鉄骨コンクリート構造橋脚の構築工法、構造形式に対応
- 震度連携、動的非線形解析モデルエクスポートに対応

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成14年3月
------------	--

参考文献

(公社)日本道路協会	道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月 既設道路橋の耐震補強に関する参考資料 平成9年8月 道路橋示方書・同解説 SI単位系移行に関する資料 平成10年7月 杭基礎設計便覧 平成19年1月 道路橋震災対策便覧(震災復旧編)平成18年度改訂版 「兵庫県南部地震により被災した道路橋の復旧に係る仕様」の準用に関する参考資料(案)平成7年6月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 橋梁建設編 平成18年4月 設計要領 第二集 橋梁保全編 平成18年4月 設計要領 第二集 橋梁建設編 平成24年7月 設計要領 第二集 橋梁保全編 平成24年7月 設計要領 第二集 橋梁建設編 平成26年7月 設計要領 第二集 橋梁保全編 平成26年7月 設計要領 第二集 橋梁建設編 平成27年7月 設計要領 第二集 橋梁保全編 平成27年7月 設計要領 第二集 橋梁建設編 平成28年8月 設計要領 第二集 橋梁保全編 平成28年8月 設計要領 第二集 橋梁建設編 令和元年7月 設計要領 第二集 橋梁保全編 令和5年10月
日本道路公団	設計要領 第二集 -橋梁・擁壁・カルバート- 平成12年1月 鋼管・コンクリート複合構造橋脚設計マニュアル 改訂版 平成12年1月 インターロッキング式構造束筋を有する鉄筋コンクリート橋脚の設計要領(案)平成15年6月
その他	3次元モデル成果物作成要領(案)令和3年3月 国土交通省 高速道路の橋梁技術基準に関する講習会 平成15年7月 日本道路公団(監修)、(財)高速道路技術センター(編集) アラミド繊維シートによる鉄筋コンクリート橋脚補強工法設計・施工要領(案)平成10年1月 アラミド補強研究会 既設橋梁の耐震補強工法事例集 平成17年4月(財)海洋架橋・橋梁調査会 よくわかる直接基礎・深基礎の設計 平成13年6月(株)山海堂 国総研資料第700号 既設橋の耐震補強設計に関する技術資料 平成24年11月 国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路橋示方書・同解説(平成24年3月)に関する質問・回答集 (I) V 耐震設計編 平成24年11月 耐震設計小委員会 REED工法設計施工マニュアル(案)平成24年3月 道路橋示方書対応版 前田建設工業(株)

ラーメン橋脚の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.5

1層門形ラーメン(2~4柱式)橋脚の設計計算、耐震設計・補強設計、図面作成プログラム

R7/H29道示対応
プログラム価格
¥641,300
(税抜 ¥583,000)

サブスクリプション価格
p.163~164参照
UC-1エンジニアスイート
p.18~19参照

ラーメン橋脚の設計計算
(部分係数法・H29道示対応)
(作図機能無)
¥473,000
(税抜 ¥430,000)

カスタマイズ版
¥427,900
(税抜 ¥389,000)

Windows 11 対応

3D配筋対応

電子納品

3D PDF

IFC

有償セミナー

ラーメン橋脚の設計計算に対応した「RC下部工の設計・3D配筋」の機能限定バージョン。2柱~4柱式ラーメン橋脚の設計および直接基礎、杭基礎の設計および配筋図・一般図の作成に対応しています。

■「ラーメン橋脚の設計・3D配筋 (R7/H29 道示対応) Ver.10」では、令和7年10月に発刊された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。主な対応項目は以下の通りとなります。

- ・製品名変更および準拠基準の選択
- ・編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更
- ・改定内容に対応したF8-AI UCサポート

【対応形状】

- はり形状: 両側・左側・右側張り出し、張り出し無し、ハンチ無し
- 柱高変化による梁天端の直角方向勾配設定、コーベルとしての照査
- 柱形状: 矩形、矩形面取り、円形、正八角形

【図面作成】

- ラーメン橋脚(2柱~4柱)の配筋図/一般図の図面作成
- CADデータ交換標準SXF Ver3.1形式のファイル出力に対応
- 3D配筋シミュレーション機能、3DS、IFC、Allplan形式のファイル出力に対応

【設計計算】

- はり、柱との同時補強計算、任意の死荷重を考慮した計算が可能

R7/H29道示対応

- 荷重組合せ係数 γ_p 、荷重係数 γ_q を考慮
- はり、柱、フーチングの永続/変動作用が支配的な状況に対する照査が可能
- はり、柱の偶発(レベル2地震動)作用が支配的な状況に対する照査の検討が可能
- はりのコーベルとしての照査に対応
- 杭とフーチングの接合部の照査
- 負の周面摩擦力に対する照査
- レベル2地震動時の杭基礎フーチングの水平方向押抜きせん断力の照査
- 押し込み支持力の周面摩擦力の控除範囲を自動設定
- レベル2地震動照査: 橋の重要度区分と破壊形態に応じて、満たすべき限界状態を判断し、照査
- 「Engineer's Studio®」へのデータエクスポート
- D+TH+EQ組合せ時の雪荷重の地震時慣性力対応

Ver.5 改訂内容

2026年4月リリース予定

1. 製品名変更および準拠基準の選択
2. 編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更
3. 改定内容に対応したF8-AI UCサポート

適用基準

(公社)日本道路協会

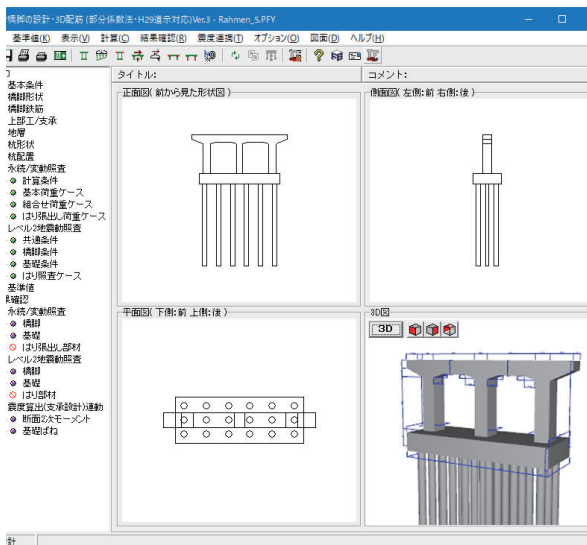
道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年11月
道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年11月
道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月
道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月
杭基礎設計便覧 令和2年9月

参考文献

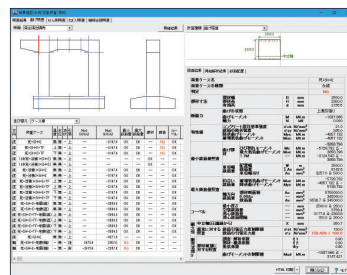
(公社)日本道路協会

道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月

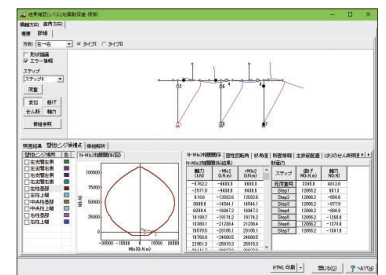
メイン画面



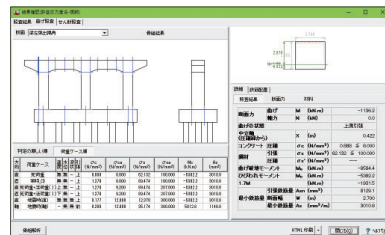
永続/変動作用支配状況の照査結果画面 (H29)



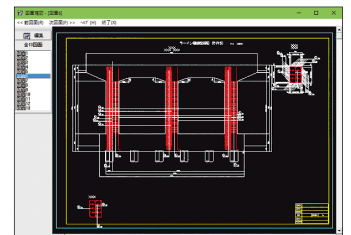
レベル2地震動照査結果画面



許容応力度法結果画面



図面編集



ラーメン橋脚の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.3

旧基準 プログラム価格
¥423,500
 (税抜 ¥385,000)

ラーメン橋脚の設計計算
 (旧基準) (作図機能無)
¥338,800
 (税抜 ¥308,000)

【対応形状】

- フーチング形状:テーパなし、あり(橋軸方向)、張り出し無し
- 基礎形式:直接基礎、杭基礎(鋼管杭、RC杭、PHC杭、場所打ち杭、SC杭、鋼管ソイルセメント杭、回転杭、SC杭+PHC杭、マイクロパイル)

【設計計算】

- 常時、暴風時、レベル1地震時の計算、レベル2地震時照査
- 補強工法:曲げ耐力制御式鋼板巻立て(柱)、鉄筋コンクリート巻立て(柱)、鋼板巻立てはり(柱)、鉄筋コンクリート増厚(はり・柱:矩形のみ)
- 杭基礎(増し杭工法)のフーチング補強、許容応力度法、地震時保有水平耐力法による照査、水平変位の制限を緩和する杭基礎の設計に対応
- 杭基礎で回転杭工法、レベル1地震時の液化化無視/考慮の一括計算、負の周面摩擦力の照査、作用力直接指定での杭基礎レベル2地震時照査
- 橋座の設計に対応、上部工反力入力で機能分離型支承に対応
- 面内地震時保有水平耐力では、塑性ヒンジ位置を仮定し、形成と位置における終局塑性回転角等の計算、損傷のタイプ・安全性の判定
- フーチング許容応力度法、レベル2地震動照査で、柱間中間点せん断照査引張判定時の柱選択対応
- FRAME連動ファイル出力、UC-win/Road 3Dモデル出力、Engineer's Studio®、UC-win/FRAMe (3D)へのエクスポート
- 震度算出(支承設計)との連動(固有周期および設計水平震度を算出、免震簡便法、基礎の減衰効果)

【図面作成】

- ラーメン橋脚(2柱~4柱)の配筋図/一般図の図面作成
- 対象形状:梁(張出、張出し)、柱(矩形、矩形面取、円、小判)、フーチング(矩形、上面テーパ有無)、支承アンカーボルト、補強(支承、柱、底板)

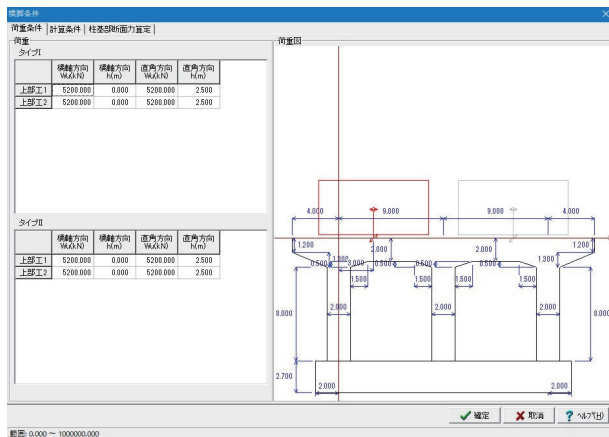
適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成14年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 橋梁保全編 平成24年7月

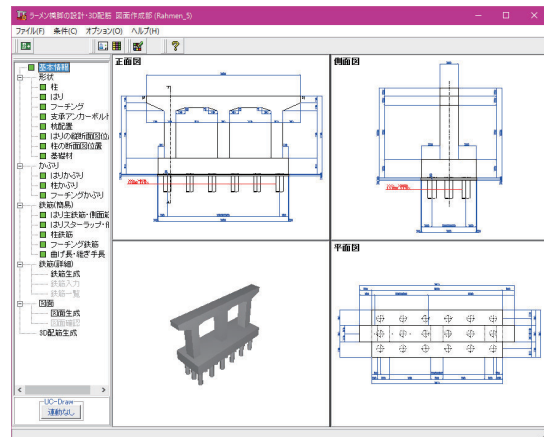
参考文献

(公社)日本道路協会	既設道路橋の耐震補強に関する資料 平成9年8月 既設道路橋基礎の補強に関する参考資料 平成12年2月 道路橋示方書・同解説 SI単位系移行に関する参考資料 平成10年7月 道路橋示方書・同解説(平成24年3月)に関する質問・回答集(1) V 耐震設計編 平成24年11月 耐震設計小委員会
(独)土木研究所	既設基礎の耐震補強技術の開発に関する共同研究報告書(その3)高耐力マイクロパイル工法 設計・施工マニュアル(6分冊の2) 平成14年9月 既設基礎の耐震補強技術の開発に関する共同研究報告書(その3)STマイクロパイル工法 設計・施工マニュアル(6分冊の3) 平成14年9月 既設基礎の耐震補強技術の開発に関する共同研究報告書(その3)ねじ込み式マイクロパイル工法 設計・施工マニュアル(6分冊の4) 平成14年9月
その他	アラミド繊維シートによる鉄筋コンクリート橋脚補強工法設計・施工要領(案)平成10年1月(一財)アラミド補強研究会 既設橋梁の耐震補強工法事例集 平成17年4月(財)海洋架橋・橋梁調査会 STマイクロパイル工法 設計・施工マニュアル(案)2002年5月 NIJ研究会 設計要領 第二集 橋梁建設編 平成24年7月 東・中・西日本高速道路(株) 国総研資料第700号 既設橋の耐震補強設計に関する技術資料 平成24年11月 国土交通省 国土技術政策総合研究所

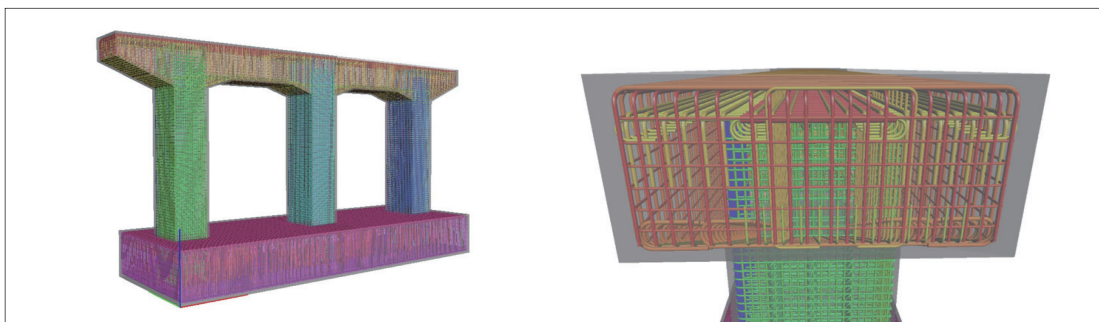
メイン画面(設計計算部)



メイン画面(図面作成部)



3D配筋図作成



箱式橋台の設計計算 (R7/H29道示対応)

Ver.5 Upgrade R7道示
対応予定
/ (旧基準) Ver.8

箱式橋台の設計計算、耐震・補強設計プログラム

R7/H29道示対応
プログラム価格
¥326,700
(税抜 ¥297,000)
底版、翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥55,000
(税抜 ¥50,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜 ¥254,000)
旧基準
プログラム価格
¥218,680
(税抜 ¥198,800)

底版、翼壁拡張オプション
(旧基準)
¥38,500
(税抜 ¥35,000)
Windows 11 対応
電子納品 3D PDF

箱式橋台の設計計算を行うプログラムです。落橋防止構造、突起の考慮、橋座・踏掛版・翼壁・杭本体・フーチング補強 (増し杭工法)・地覆などの設計をサポートしています。

- 躯体形状:受け台付き、受け台一体型 (堅壁しぼり指定に対応)
- 堅壁:三辺固定版、T形梁による照査、底版部:四辺固定版による照査
- 置き換え基礎の安定照査、段差フーチングの設計、直角方向の安定計算が可能
- 直接基礎では地盤支持力検討、突起を考慮した滑动照査が可能
- 杭基礎では杭本体の設計、許容支持力、杭頭結合部照査、杭基礎時の安定計算における杭頭カットオフ、せん断照査、杭体断面変化に対応
- 軽量盛土、多層地盤を考慮した安定計算、部材設計 (胸壁、堅壁、翼壁)に対応
- 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出 (支承設計)」との連動設計が可能

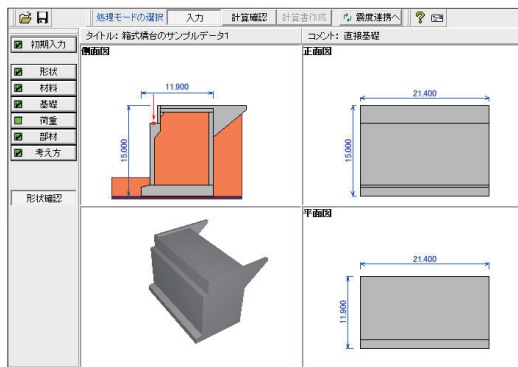
【底版、翼壁拡張オプション】

- 杭基礎時の底版中央部照査、直接基礎・杭基礎時の底版中央部のレベル2照査
- 翼壁の設計において、平板解析に対応

R7/H29道示対応

- H24道示対応製品の「箱式橋台の設計計算 (旧基準)」のデータ読み込みに対応
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応
- 胸壁、翼壁、堅壁 (前壁、後壁、側壁、隔壁)部材の地震時温度変化荷重 (D+TH+EQ)ケースの照査対応
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 「基礎の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応)」、「深礎フレームの設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応)」、「震度算出 (支承設計) (部分係数法・H29道示対応)」と連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能

メイン画面



Ver.5改訂内容

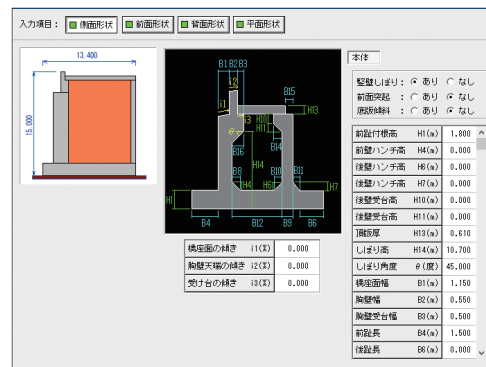
2026年5月リリース予定

1. 製品名変更および準拠基準の選択
2. 編構成、語句、目次、式解の変更
3. 改訂内容に対応したF8-AI UCサポート

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年7月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 杭基礎設計便覧 令和2年9月
------------	---

形状入力



旧基準

道示IV (H24.3)、設計要領 (H18.4) に基づいて、箱式橋台の設計計算を行うプログラムです。

- 底版剛体照査、底版のせん断補強鉄筋比の照査、底版の補強設計 (直接基礎、杭基礎)、レベル2底版設計時、任意荷重を考慮が可能
- レベル2地震時の安全性判定が可能、杭基礎連動では2.5次元の設計が可能

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月
東・中・西日本高速道路 (株)	設計要領 第二集・橋梁建設編・平成28年8月
(社)農業土木学会	土地改良事業計画設計基準 設計「農道」平成17年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	既設道路橋基礎の補強に関する参考資料 平成12年2月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月
その他	土地改良事業標準設計図面集 利用の手引き「橋梁下部工 (橋台)」平成11年3月 (社)農業農村情報総合センター EPS工法 発泡スチロール (EPS)を用いた超軽量盛土工法 平成10年8月 (社)理工図書 構造物標準設計図集・下部構造編 昭和59年3月 日本道路公団

ラーメン式橋台の設計計算 (R7/H29道示 対応) Ver.5 UpGrade R7道示 対応予定 ／ (旧基準) Ver.8

静定構造物であるラーメン式橋台の設計計算、
耐震・補強設計プログラム

R7/H29道示対応
プログラム価格
¥326,700
(税抜 ¥297,000)

底版、翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥33,000
(税抜 ¥30,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜 ¥254,000)

旧基準
プログラム価格
¥218,680
(税抜 ¥198,800)

底版、翼壁拡張オプション
(旧基準)
¥23,100
(税抜 ¥21,000)

Windows 11 対応

電子納品 3D PDF

形状から自動的に骨組解析を行います。橋座の設計、踏掛版、突起の考慮、翼壁の設計、杭本体の設計などをサポートしています。

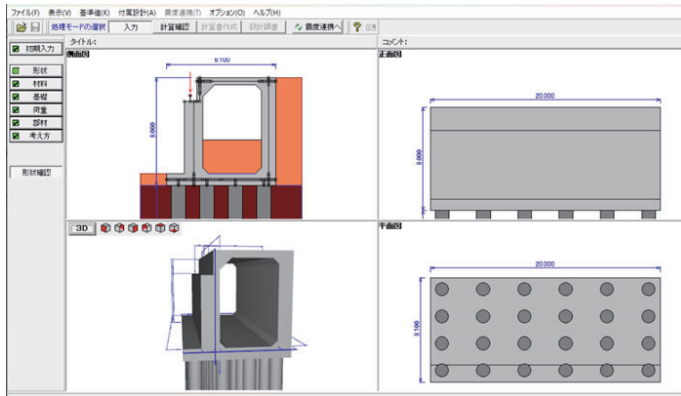
- 各部材毎に温度変化、乾燥収縮を考慮した設計検討可能
- 橋座の設計、踏掛版の設計、翼壁の設計
- 直接基礎：荷重の偏心を考慮した地盤の支持力検討、突起を考慮した滑動照査
- 置換基礎を設置し、滑動・地盤反力度を考慮可能

- 杭基礎：許容支持力算出、杭本体の設計、杭頭と底版の結合部の照査
- 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出(支承設計)」との連動可能

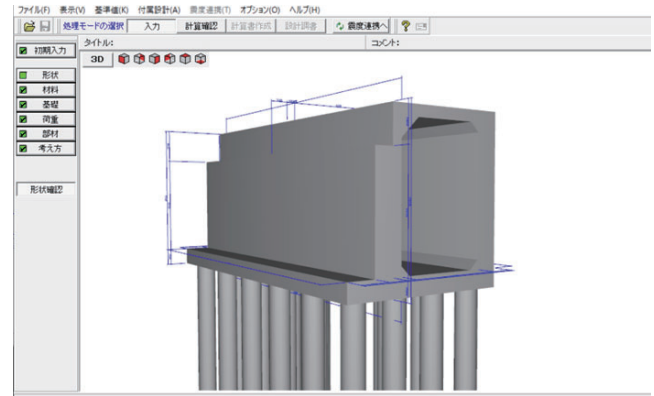
【翼壁拡張オプション】

- 翼壁の設計において、平板解析に対応

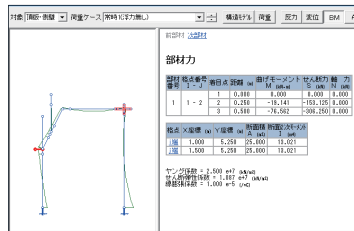
メイン画面



CIMモデル生成



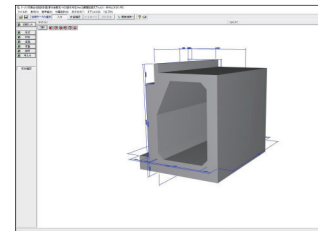
結果確認画面 (構造解析)



調査・解析係数、部材・構造係数、抵抗係数 入力画面 (H29)

調査・解析係数	部材・構造係数	抵抗係数
基礎係数	部材係数	抵抗係数
基礎係数	部材係数	抵抗係数
基礎係数	部材係数	抵抗係数

3D表示



R7/H29道示対応

- H24道示対応「ラーメン式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み込みに対応
- ラーメン部材(前壁、後壁、頂版、桁受台、底版中央部)のほか、前後趾、胸壁、翼壁等の部材照査が可能
- ラーメン部材の隅角部では、端接合部の照査が可能
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応

Ver.5 改訂内容

2026年6月リリース予定

1. 製品名変更および準拠基準の選択
2. 編構成、語句、目次、式解の変更
3. 改訂内容に対応したF8-AI UCサポート

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年7月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 杭基礎設計便覧 令和2年9月
------------	---

旧基準

- 保有水平耐力法によるレベル2地震時の前趾・後趾・底版中央部照査
- 底版下面の段差フーチング・前後趾、底版中央部の厚さが違う形状サポート
- 底版を増厚・増幅する補強設計、底版剛体照査の検討可能

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月
東・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集-橋梁建設編- 平成28年8月
(社)農業土木学会	土地改良事業計画設計基準 設計「農道」平成17年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	既設道路橋基礎の補強に関する参考資料 平成12年2月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月
東・西日本高速道路(株)	設計要領第二集 カルバート編 平成17年4月
その他	土地改良事業標準設計図面集 利用の手引き「橋梁下部工(橋台)」平成11年3月(社)農業農村情報総合センター EPS工法 発泡スチロール(EPS)を用いた超軽量盛土工法 平成10年8月(社)理工図書 構造物標準設計図集-下部構造編 昭和59年3月 日本道路協会

基礎の設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.10 Upgrade

杭／鋼管矢板／ケーソン／地中連続壁／直接基礎
及び液状化に対応した耐震設計、図面作成

Advanced
¥568,700
(税抜 ¥517,000)

Standard
¥448,910
(税抜 ¥408,100)

Lite
¥290,400
(税抜 ¥264,000)

Windows 11 対応

UC-1サポートAI

計算・CAD統合

3D配筋対応

電子納品 3D PDF

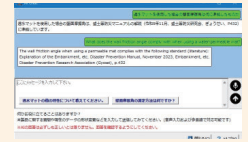
IFC

有償セミナー

杭／鋼管矢板／ケーソン／地中連続壁／直接基礎、液状化に対応した耐震設計、図面作成プログラムです。永続変動作用、偶発作用(レベル2地震動)による計算、部材の設計をサポートし、詳細設計レベルで様々な基礎形式・工法の検討が行えます。3面図表示によるデータ確認、図をまじえた結果表示、基準値機能をサポートし、設計調書の出力が可能です。杭基礎は、場所打ち杭を含む8種の杭種に対応、各種工法をサポートしています。

F8-AI UCサポート

- 設計支援を目的としたAI機能を搭載
- 入力操作や計算理論の解説など、サポート窓口へお問合せいただくことなく製品内で解決可能な手段をご提供します
- 多言語、音声入力に対応しており、外国人技術者でも母国語での入力が可能です



■「基礎の設計・3D配筋(R7/H29道示対応) Ver.10」では、令和7年10月に発刊された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。

主な対応項目は以下の通りとなります

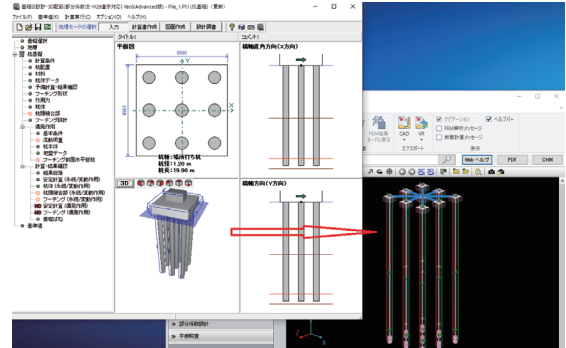
- 準拠基準の選択
- 下部工製品と基礎連動
- 編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更
- 改定内容に対応したF8-AI UCサポート

【杭基礎】

- 杭基礎設計便覧(令和2年9月)対応
- 永続変動作用及び偶発作用時の2次元解析/2.5次元解析安定計算に対応
- 偶発作用時の立体解析による計算に対応(Advancedのみ)
- 地層傾斜対応
- 杭径・杭長変化対応
- 場所打ち杭／鋼管杭／SC+PHC杭／鋼管ソイルセメント杭／PHC杭／SC杭／マイクロパイル(ハイスペックマイクロパイル)に対応
- 打込み／中掘り(最終打撃)／プレポーリング／セメントミルク／コンクリート打設の施工工法に対応
- 杭頭接合部照査、PHC杭の杭頭カットオフ区間の照査に対応
- 落橋防止作動時照査における橋脚杭基礎／橋台杭基礎ごとの専用入力画面を用意
- 群杭効果を考慮した計算に対応
- 地盤ばね算出対応(固有周期、EQ無し、EQ有り)
- 杭突出部の水平荷重、杭体水平荷重(杭部材)対応
- 任意荷重(フーチング部材)対応
- フーチング形状、柱下端作用力からフーチング下面中心の作用力自動計算に対応
- 杭体の複数断面の照査に対応
- フーチングの張出部および連続フーチング柱間の照査に対応
- 鉄筋かご無溶接工法対応

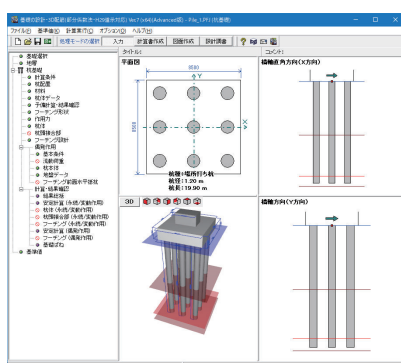
- 斜面の傾斜を考慮した地盤ばね低減の安定計算対応(橋台のみ)
- 薄層支持の先端支持力の自動算定対応
- 偶発作用時の水平押し抜きせん断照査対応
- 杭モデルのEngineer's Studio®エクスポート(Advancedのみ)

杭モデルのEngineer's Studio®エクスポート

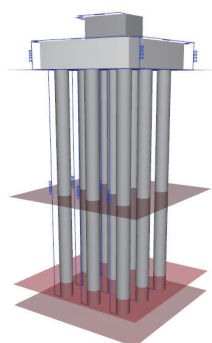


- 設計調書対応
- 3Dアトリビュート対応
- 「橋脚の設計・3D配筋(R7/H29道示対応)」「橋台の設計・3D配筋(R7/H29道示対応)」「ラーメン式橋台の設計計算(R7/H29道示対応)」「箱式橋台の設計計算(R7/H29道示対応)」「二柱式橋脚の設計・3D配筋(R7/H29道示対応)」の連動に対応

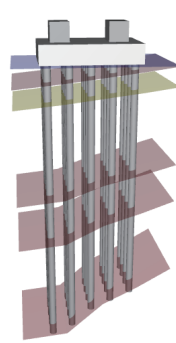
杭基礎メイン画面



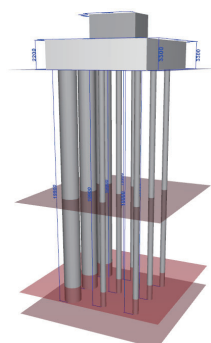
杭径変化なし、水平地盤の場合



地層傾斜、杭長変化ありの場合

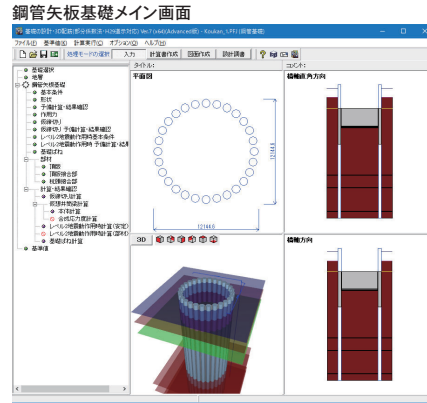


杭径変化ありの場合

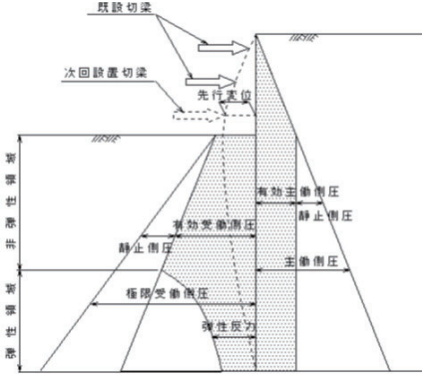


【鋼管矢板基礎】

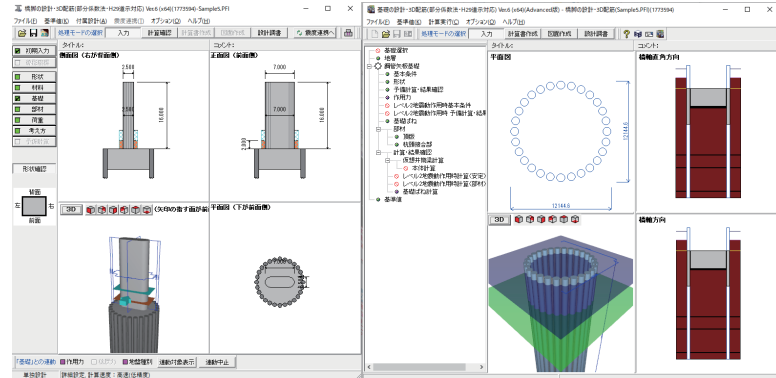
- 鋼管矢板基礎設計施工便覧（令和5年）に対応
- 井筒型鋼管矢板に対応
- 仮締切兼用方式に対応
- 円形、小判形、矩形の平面形状に対応
- 打込み、中掘り（最終打撃）、セメントミルク、コンクリート打設の施工工法に対応
- 「橋脚の設計・3D配筋（R7/H29道示対応）」との連動に対応
- 3Dアトリビュート対応



仮締切りの設計モデル



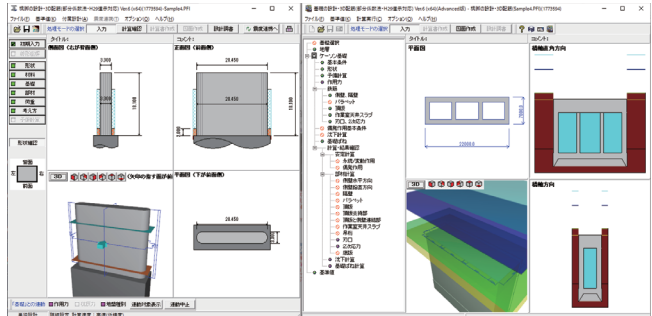
橋脚_鋼管矢板基礎リアルタイム連動



【ケーソン基礎】

- 設計例（日本圧気技術協会）に対応
- ニューマチック（止水壁方式／ピアケーソン）・オープン・充実断面の施工方式対応
- 円形、小判形、矩形の平面形状に対応
- 「橋脚の設計・3D配筋（部分係数法・H29道示対応）」との連動に対応
- 3Dアトリビュート対応

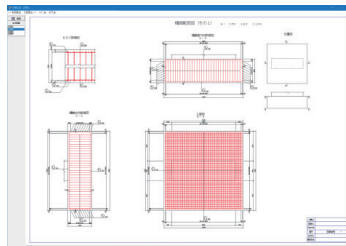
橋脚_ケーソン基礎リアルタイム連動



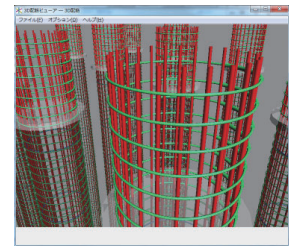
【図面作成:杭基礎(Lite以上)、直接基礎(Advanced)】

- 杭基礎:場所打ち杭、鋼管杭、鋼管ソイルセメント杭、PHC杭、SC杭、SC+PHC杭
- 直接基礎:脚柱形状:矩形、円形、小判形
- 3D配筋:3DS、IFC形式のファイル出力対応
- 場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法

図面例(直接基礎)



3D配筋(杭基礎)



Ver.10 改訂内容

2026年3月リリース

1. 準拠基準の選択
2. 下部工製品と基礎連動
3. 編構成、語句、目次、式解、図表番号の変更
4. 改定内容に対応したF8-AI UCサポート

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 令和7年10月 杭基礎設計便覧 令和2年9月 杭基礎設計便覧 平成27年3月 鋼管矢板基礎設計施工便覧 令和5年2月
国土交通省	3次元モデル成果物作成要領(案) 令和3年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	平成29年道路橋示方書に基づく道路橋の設計計算例 平成30年6月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月
(一社)日本基礎建設協会	場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドライン 平成27年6月
(一財)先端建設技術センター	先端建設技術・技術審査証明報告書 ハイスペックマイクロパイル工法 令和2年9月

- 特集・ソリューション
- FEM 解析
- エンジニア スイート
- 構造解析・断面
- 橋梁上部工
- 橋梁下部工
- 基礎工
- 仮設工
- 道路土工
- 港湾
- 水工
- 地盤解析・地盤改良
- CAD/CIM
- 維持管理・地震リスク
- プラント・建築
- 船舶・遊覧
- スイートシリーズ
- 3DCG
- 紹介プログラム
- 技術サービスサポート

基礎の設計・3D配筋 (旧基準) Ver.2

Advanced
¥408,100
(税抜 ¥371,000)

Standard
¥324,170
(税抜 ¥294,700)

Lite
¥218,680
(税抜 ¥198,800)

震度法、保有耐力法による計算、部材の設計をサポートし、詳細設計レベルで様々な基礎形式・工法の検討が行えます。地層・作用力データを共有し、3面図表示によるデータ確認、図をまじえた結果表示、基準値機能をサポートし、各基礎工の設計調書、異種基礎の比較表の出力が可能です。杭基礎では、鋼管ソイルセメント杭を含む13種の杭種に対応、各種工法をサポートし、補強設計(増し杭)にも対応しています。

【杭基礎】

- 安定計算(常時、レベル1・レベル2地震時)で、2次元解析、2.5次元解析が可能
- 地層の傾斜を考慮。傾斜方向はX方向(橋軸直角方向)、Y方向(橋軸方向)のうち1方向、地層線の3D表示も可能
- 杭種: 鋼管杭、RC杭、PC杭、PHC杭、SC杭、場所打ち杭、任意杭、鋼管ソイルセメント杭、SC杭+PHC杭、マイクロパイル、H形鋼杭、回転杭、内面リブ付鋼管巻き場所打ち杭を用意、増し杭工法による補強設計
- 杭軸方向の断面変化に対応、杭径・杭長が異なる杭が混在した計算
- レベル2地震時照査: 橋脚、橋台、水門(中央堰柱/端堰柱)の検討
- 橋脚の底版許容応力度法、橋脚、逆T式橋台のレベル2地震時照査
- 連続フーチング(2、3柱式橋脚)の照査
- 橋台特殊設計として、側方移動/盛りこぼし橋台に対応(設計要領)
- 杭突出部に流水圧、動水圧、慣性力の水平荷重を考慮可能
- 杭体に作用する任意荷重(水平方向の分布荷重、集中荷重)を考慮可能
- 杭頭と底版の接合部の計算、負の周面摩擦力に対する検討
- 固有周期算定に用いる地盤ばね定数の算出
- 水平変位の制限を緩和する杭基礎の設計(杭基礎便覧)
- 斜杭を考慮可能、圧密沈下時の斜杭の検討

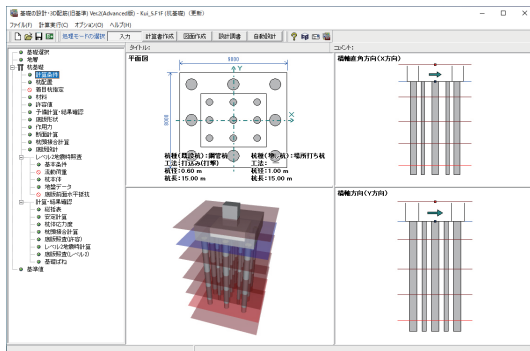
【直接基礎】

- 「道路橋示方書 IV」、「設計要領第二集」に準拠した直接基礎の支持力計算
- フーチング前面の抵抗を考慮した作用力の算定(設計要領)
- 荷重の偏心傾斜を考慮した許容鉛直支持力の算出(荷重の方向が1方向(道示IV・設計要領)、荷重の方向が2方向(道示IV))
- 安定計算 滑動、転倒、地盤反力度の照査(道示IV・設計要領)
- フーチングの補強設計に対応
- 橋脚底版の許容応力度法およびレベル2地震時照査対応
- 斜面の影響、荷重の偏心を考慮した許容鉛直支持力の算出・段差がある基礎の安定計算 滑動、転倒、地盤反力度の照査(設計要領)

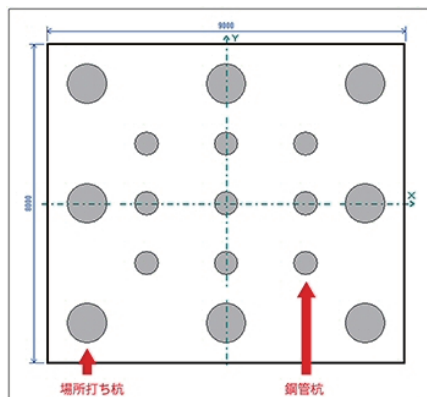
【鋼管矢板基礎】

- 平面形状: 円形、小判形、矩形、矩形面取り

メイン画面



新設・既設フーチング内に、場所打ち杭と鋼管杭を混在した場合



- 施工方法: 仮締切り兼用方式、立上り方式、締切り方式
- 基礎本体、頂版/頂版と鋼管矢板との接合部の地震時保有水平耐力法による照査、支保工の検討、根入れ長の検討も可能
- 鋼管矢板、鋼管杭: 外周矢板、隔壁矢板、中打ち単独杭ごとに鋼管径、断面変化(板厚、材質)を指定。断面ごとの杭径変化対応
- 鋼管矢板の施工方法: 打込み工法、中掘り工法(最終打撃、セメントミルク噴出攪拌、コンクリート打設)、負の周面摩擦力に対する検討可能

【地中連続壁基礎】

- 平面形状は矩形に対応。常時、レベル1地震時、暴風時許容応力度法
- 地震時保有水平耐力法によるレベル2地震時の耐震設計、耐力照査
- 付属設計: 頂版の計算、頂版と鋼管矢板との接合部の計算
- 杭頭接合部の計算(本体データの連動も可能)

【ケーソン基礎】

- 施工法はニューマチックケーソン(止水壁ケーソン方式、ピアケーソン方式)オープンケーソン(止水壁方式)に対応。根入れの浅いケーソン基礎の設計も可能
- 充実断面: オープン、ニューマチック、平面形状は円形、小判形、矩形
- 常時、レベル1地震時、暴風時許容応力度法、沈下計算に対応
- 地震時保有水平耐力法によるレベル2地震時の耐震設計、耐力照査

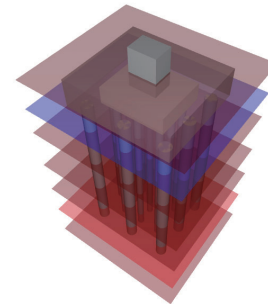
【液状化の判定】

- 土質定数の低減係数の計算、流動化が生じる場合の流動力の計算

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 杭基礎設計便覧 平成27年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月 杭基礎設計便覧 平成4年10月 鋼管矢板基礎設計施工便覧 平成9年12月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第2集 1章 計画、4章 基礎構造、5章 下部構造 平成18年4月

増し杭工法の拡張



各方向ごとの計算指定



深礎フレームの設計・3D配筋 (R7/H29道示対応) Ver.6 / (旧基準)

斜面上の深礎基礎の設計計算、
図面作成プログラム

R7/H29道示対応	旧基準
Advanced ¥605,000 (税抜 ¥550,000)	Advanced ¥438,900 (税抜 ¥399,000)
Standard ¥484,000 (税抜 ¥440,000)	Standard ¥361,900 (税抜 ¥329,000)
Lite ¥363,000 (税抜 ¥330,000)	Lite ¥308,000 (税抜 ¥280,000)

Windows 11 対応
計算・CAD統合
3D配筋対応
電子納品
IFC 3D PDF
有償セミナー

斜面上の組杭深礎基礎、柱状体深礎基礎及びフーチングの設計計算、図面作成までを一貫して行うプログラムです。基礎の安定照査、杭本体・フーチング部材の耐荷性能の照査及び耐久性能の照査を行うことができます。橋台、橋脚などの下部工製品とリアルタイム連動することにより、荷重や柱・フーチング形状を連動することが可能です。荷重分担率の算定機能では、平面骨組み解析及び立体骨組み解析による手法に対応し、立体骨組み解析ではEngineer'sStudio®データファイル出力に対応しています。図面作成では、一般図から配筋図、加工図、鉄筋表などの図面を一括生成し、DXF、SXF、DWGなどの各ファイル出力に対応しています。

■「深礎フレームの設計・3D配筋 (R7/H29 道示対応) Ver.6」では、令和7年10月に発刊された道路橋示方書・同解説(以下、道示)への対応を行っています。主な対応項目は以下の通りとなります

- ・製品名変更および準拠基準の選択
- ・改訂内容に対応したF8-AI UCサポート
- ・編構成、語句、目次、式解の変更

R7/H29道示対応

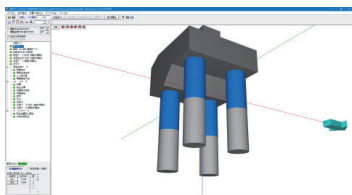
【基本機能】

- 杭本体及び底版のCAD機能 (3D配筋表示含む) に対応
- 組杭深礎基礎、柱状体 (大口径) 深礎基礎の設計が可能
- 深礎基礎に接合する柱・梁を含めた下部工全体の骨組み (フレーム) 構造解析が可能
- 永続作用支配状況、変動作用支配状況、偶発作用支配状況 (レベル2地震時) の設計が可能
- 杭本体及びフーチング部材の耐荷性能照査及び耐久性能照査が可能
- 杭頭接合部照査に対応 (永続・変動作用時)
- フーチングありタイプ、フーチングなしタイプに対応

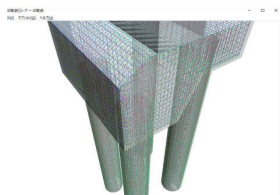
【Lite版】

- 杭本体及び底版のCAD機能 (3D配筋表示含む) に対応
- 組杭深礎基礎、柱状体 (大口径) 深礎基礎の設計が可能
- 深礎基礎に接合する柱・梁を含めた下部工全体の骨組み (フレーム) 構造解析が可能
- 永続作用支配状況、変動作用支配状況、偶発作用支配状況 (レベル2地震時) の設計が可能
- 杭本体及びフーチング部材の耐荷性能照査及び耐久性能照査が可能
- 杭頭接合部照査に対応 (永続・変動作用時)
- フーチングありタイプ、フーチングなしタイプに対応
- 段差フーチングが可能 (段数は5段まで)
- 柱形状は、矩形、円形、小判 (横長)、小判 (縦長) に対応
- 剛域を考慮した骨組みを自動生成機能に対応
- フーチング荷重の骨組み部材への自動設定機能に対応
- 地層線は杭ごとに10層まで設定可能
- 地層線入力は、直線地層線又は折れ線地層線で設定が可能
- 対数グラフによる変位急増点 (基礎降伏点) 検索機能に対応
- レベル2地震時の計算後に、水平震度・水平変位曲線の変位急増点を確認後、降伏点の修正が可能

混合土留め



3D配筋



Ver.6 改訂内容

2026年3月リリース

1. 製品名変更および準拠基準の選択
2. 編構成、語句、目次、式解の変更
3. 改訂内容に対応したF8-AI UCサポート

- 面内解析又は面外解析が可能
- 基礎ばね算定機能に対応
- 片持ち梁としたフーチング照査及び骨組み解析結果を用いたフーチング照査に対応
- 杭体突出部及び杭体地中部への任意荷重載荷が可能
- 下部工製品 橋台の設計・3D配筋、橋脚の設計・3D配筋、箱式橋台の設計計算、ラーメン式橋台の設計計算 とのデータ連動に対応
- 複数の杭列の同時計算、設計方向1・設計方向2の同時計算に対応
- 柱状体基礎、組杭深礎基礎およびフーチングの配筋図、一般図、3D配筋生成に対応
- 配筋図:SXF (SFC/P21)、DXF/DWG、JWW/JWC形式のファイル出力に対応
- 3D配筋:3DS、IFC形式のファイル出力に対応

【Standard版】

- 小判形状の杭に対応
- 杭の土留め工で、上部がライナープレート、下部がモルタルライニングの混合土留め工に対応
- 立体モデルによる荷重分担率算出 (面外解析版) に対応
- 荷重拡張によるlogP-logS法グラフ作成に対応

【Advanced版】

- 立体モデルによる荷重分担率算出 (面外解析版) に対応
- 平面骨組みモデルによる荷重分担率算出に対応
- 荷重拡張によるlogP-logS法グラフ作成に対応

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月 令和7年10月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 斜面上の深礎基礎設計施工便覧 令和3年10月 杭基礎設計便覧 令和2年9月
東・中・西日本高速道路 (株)	CADによる図面作成要領 (案) 平成29年9月
国土交通省	3次元モデル表記標準 (案) 令和2年3月 CIM導入ガイドライン (案) 令和2年3月 3次元モデル成果物作成要領 (案) 令和3年3月 CAD製図基準 平成29年3月
土木学会	土木製図基準 平成15年5月

参考文献

東・中・西日本高速道路 (株)	設計要領 第二集 橋梁建設編 平成29年7月
(公社)日本道路協会	平成29年道路橋示方書に基づく道路橋の設計計算例 平成30年6月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成10年1月 杭基礎設計便覧 平成19年1月

擁壁の設計・3D配筋 Complete New

片持梁式、U型、もたれ式、重力式、ブロック積、任意形状擁壁の設計計算・図面作成プログラムのクラウド版

「擁壁の設計・3D配筋」の全ての詳細設計機能をクラウドベースのWebアプリケーションとして提供します。
インストール作業を必要とせず、インターネット環境があれば場所を問わず利用でき、常に最新の機能と基準に基づいた設計を行うことが可能です。
インターフェースは従来のWindows版を踏襲しており、これまでの「UC-1シリーズ」と同様の感覚でご利用いただけます。



【基本機能】

	UC-1 Cloud 擁壁の設計・3D配筋 Complete	擁壁の設計・3D配筋
計算機能	「擁壁の設計・3D配筋」に準じる	前ページ参照
計算書、設計調書出力	PDF, PPF, HTM, TXT ※プレビュー対応 ※出力のみ	PDF, PPF, HTM, TXT, DOCX, XLSX, JTD, JTDC ※プレビュー対応 ※出力・編集が可能
電子納品	対応	
図面、3D配筋出力	SXF, DWG, DXF, JWW, JWC, 3DS, Allplanファイル, IFC ※Viewer搭載 ※出力のみ	SXF, DWG, DXF, JWW, JWC, 3DS, Allplanファイル, IFC ※Viewer搭載 ※出力・編集が可能
自動バックアップ	-	対応

**「UC-1シリーズ」の
全ての詳細設計機能が
Webアプリで利用可能に!**

クラウドサーバ

詳細設計 UC-1

必要最小限の入力項目

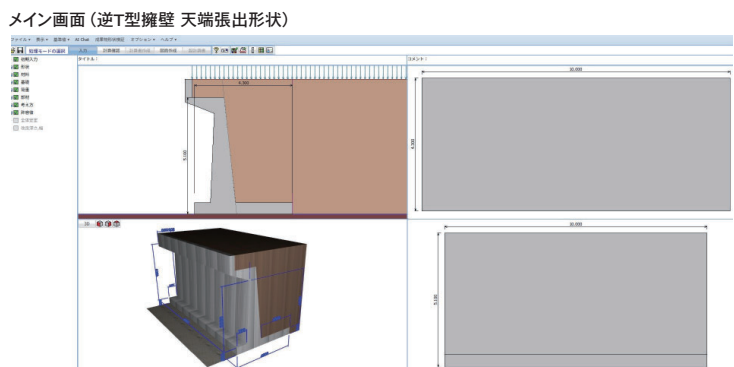
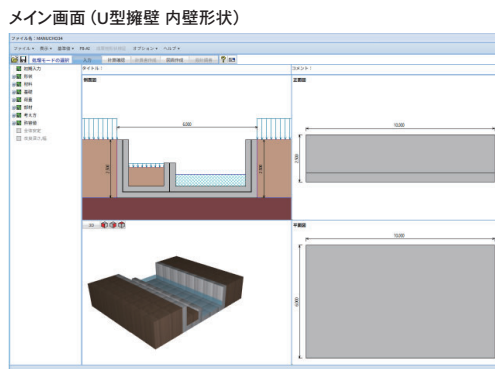
計算結果

全ての照査結果がOKとなる
配筋状態を自動的に計算

照査項目	偏心量 (m)	滑动安全率	大地震反力 (kN/m ²)
計算値	0.196	2.291	114.967
許容値	0.600	1.500	600.000

設計位置 (許容)		壁踵	つま先版	かかと版
鉄筋径	(mm)	19	13	19
鉄筋間隔	(mm)	125	125	125
鉄筋かぶり	(mm)	100	110	110
設計鉄筋量	(cm ²)	22.920	10.136	22.920

計算実行



斜面の安定計算 Ver.15

耐震性能照査に対応した
斜面安定解析・対策工設計プログラム

Advanced
¥435,600
(税抜 ¥396,000)

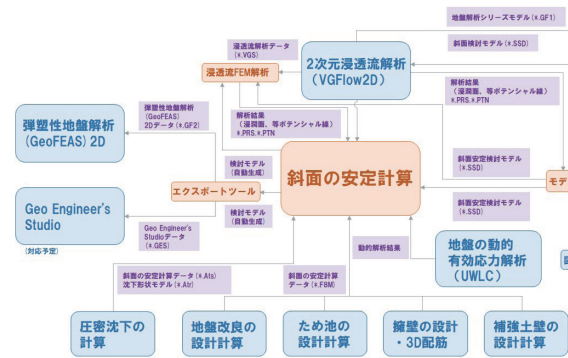
Lite
¥312,400
(税抜 ¥284,000)

Windows 11 対応
電子納品 3D PDF
有償セミナー

Standard
¥394,900
(税抜 ¥359,000)

各種設計基準類の選択により対象とする土構造物における設定された湛水条件での土中水の状態を自動設定する斜面安定解析プログラム。斜面安定解析／逆解析（逆算法）の基本解析、法面工の景観設計を行う基本機能と各種対策工の設計計算を付加した製品に区分されます。土構造物に対する性能設計への対応として、「ニューマーク法」及び「浸透流FEM解析」の機能を標準実装しています。

	Lite	Standard	Advanced
安定計算 ニューマーク法 浸透流FEM解析	○	○	○
対策工 (ジオテキスタイル工、アンカー工、 切土補強土工、杭工、のり砕工)	×	○	○
対策工 (アンカー付き抑え杭工、混合法)	×	×	○
LandXMLによる 計算対象範囲の自動生成	×	×	○



- 各種すべり面形状に対応し、常時・地震時・液化化時での解析が可能
- 臨界面には最小安全率と最大抑止力とをサポート
- 逆算法・間隙水圧変更、二次処理、圧密による地盤強度増加、サンドコンパクションパイル工法、逆算法における鉛直層圧の計算、残留浸潤面の自動計算等
- 安定計算機能として、仕様設計として安全率による照査と信頼性設計レベル1として部分係数法による耐力作用比による照査が可能
- 画像ファイル、CADファイル、浸透流解析データ等の様々な媒体のインポートで簡易に地層モデル形状を作成可能

【検討ケース】

- 計算種別: 常時、地震時、液化化時
- 臨界面種別: 最小安全率臨界面、最大抑止力臨界面

【破壊基準】

- 有効応力法、全応力法、全応力法 ($\phi = 0$ 法) の3通りから設定

【対応すべり面】

すべり面	円弧すべり	複合すべり			任意すべり
		円弧-円弧	円弧-円弧 -円弧	円弧-直線 -円弧	
形状図					

【計算法】

- Fellenius法、修正Fellenius法、簡易Bishop法、簡便法に対応し、貯水池周辺地山における斜面安定計算手法に対し、基準水面法をサポート

【二次処理機能】

- 必要抑止力の計算: 各種すべり面形状に対する必要抑止力の計算可能
- 押え盛土の計算: のり尻への押え盛土形状の概略検討可能
- c- ϕ 変更・逆算法: 臨界面に対するc- ϕ の処理により、地すべり解析における逆算法の検討が可能
- 間隙水圧値・倍率変更: 臨界面に対して間隙水圧値を変更し安全率の計算可能
- 格子範囲変更: 検討格子範囲を変更した場合での臨界面再計算が可能

- 極限平衡法による静的安全率照査、ニューマーク法による動的残留変位量（滑動変位量）の照査が可能
- 飽和/不飽和浸透流FEM解析結果を反映させた斜面安定解析が可能
- 斜面安定計算（極限平衡法）を行った地形条件に、対策斜面工区、対策条件を定義し、対策工の設計計算までを検討可能
- 日本道路協会、鉄道総合技術研究所発行地震波、独立行政法人防災科学技術研究所K-NETの地震波に対応

【対応湛水状態】

- 過剰間隙水圧、浸透流、残留間隙水の有無等により湛水状態での計算可能
- 空虚時、施工直後、部分水中時、定常浸透時（2次元浸透流解析 (VGFlow®2D) (別製品も可)との浸透流解析連携可能)、水位急低下時、圧力作用時

【浸透流FEM解析】

- 地盤中の浸透流を考慮した斜面安定解析が可能
- 鉛直二次元定常・非定常浸透問題
- 境界条件: 水頭既知境界、浸出面境界、降雨境界、流量境界、水位変動境界（非定常）、浸出禁止境界（非定常）
- 斜面安定から浸透流解析: 検討モデルの自動生成
- 浸透流解析から斜面安定: 斜面安定解析用の水位線、等ポテンシャル線データ出力

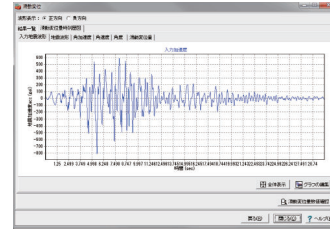
【対策工の設計計算】

- のり面に対策工区を設定し、対策工の設計計算、対策工施工後の計算が可能
- 対策工としてジオテキスタイル補強盛土工法、グラウンドアンカー工（のり砕併用可）、切土補強土工法（のり砕併用可）、杭工（くさび杭、せん断杭、抑え杭）、のり砕工（保護工、表層崩壊）、アンカー付き抑え杭工、混合法（グラウンドアンカー工・切土補強土工法）をサポート
- 各種対策工法での数量計算、補強材設置後の斜面の安定計算が可能

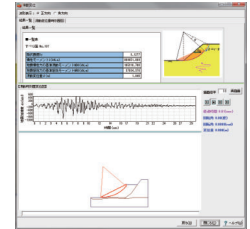
【ニューマーク法】

- レベルⅠ地震動を想定した照査、レベルⅡ地震動を想定したニューマーク法による性能照査との同時出力が可能
- 過圧密粘土や密な砂に対するひずみ軟化に伴う盛土材の強度劣化を考慮可能
- 各種時刻歴図、入力地震波形に連動する滑動変位量のアニメーション機能

加速度波形時刻歴図出力



滑動変位アニメーション出力

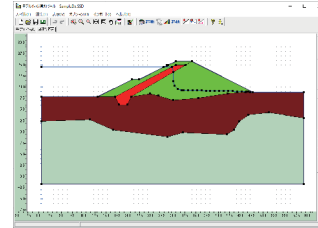


Ver.15 改訂内容

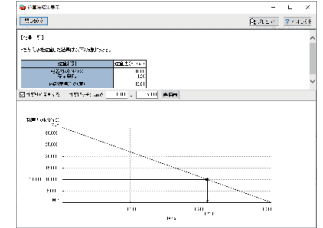
2026年3月リリース

1. 宅地防災および盛土等防災マニュアルの解説「谷埋め型大規模盛土造成地の安定性検討」に対応
2. 土地改良事業計画設計基準 計画「農地地すべり防止対策」令和4年5月P.279に対応
3. 計算書記載内容の拡張
4. ・F8-AI™ UCサポートの導入

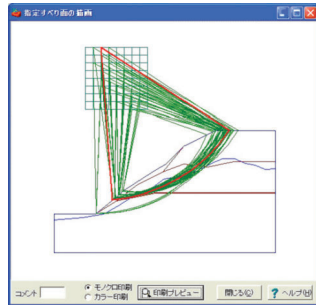
モデル作成補助ツール



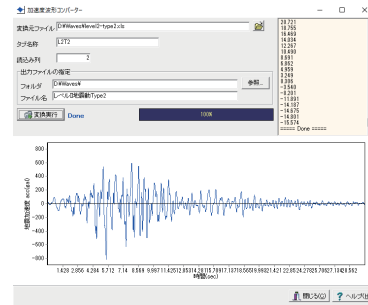
C-φ 逆解析



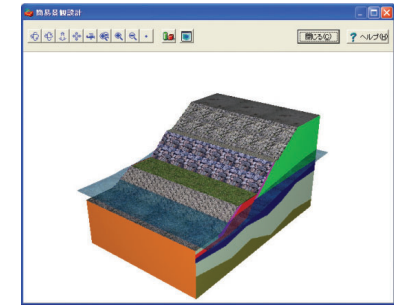
複数すべり面の同時描画



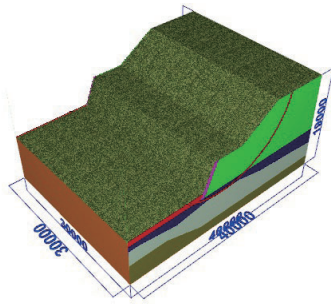
加速度波形コンバータ



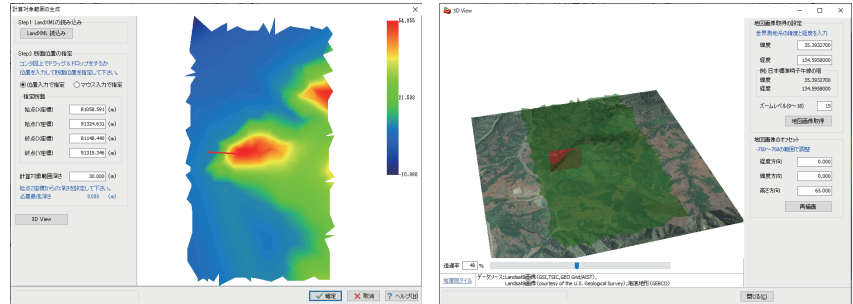
簡易景観設計のテクスチャ設定



3Dアニメーション機能



LandXMLによる計算対象範囲生成



参考文献

(公社)日本道路協会	道路土工要綱 平成21年6月 道路土工 切土工・斜面安定工指針 平成21年6月 道路土工 のり面工・斜面安定工指針 平成11年9月 道路土工 軟弱地盤対策工指針 平成24年8月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領第一集 土工 令和2年7月
(公財)鉄道総合研究所	鉄道構造物等設計標準・同解説 土構造物 平成19年1月 鉄道構造物等設計標準・同解説 耐震設計 平成24年9月
住宅・都市整備公団 都市開発事業部	宅地耐震設計指針(案) 昭和59年3月
(公社)日本港湾協会	港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成11年4月 港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成19年9月 港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成30年5月
(公社)日本河川協会	建設省河川砂防技術基準(案) 設計編【Ⅰ】 平成9年10月 建設省河川砂防技術基準(案) 設計編【Ⅱ】 平成9年10月 防災調節池等技術基準(案) 平成19年9月
(一財)ダム技術センター	多目的ダムの建設 設計編 昭和62年 多目的ダムの建設 調査編 昭和62年
農林水産省	土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」技術書(フィルダム編) 平成15年4月 土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」基準書 技術書(共通編) 平成15年4月 土地改良事業計画設計基準 計画「農地地すべり防止対策」平成16年3月 土地改良事業設計指針「ため池整備」平成18年2月 土地改良施設 耐震設計の手引き 平成16年3月

(一社)日本ダム会議	第二次改訂ダム設計基準 1978年8月
(一財)国土技術 研究センター	河川堤防堤防の構造検討の手引き 平成24年2月 中小河川における堤防点検・対策の手引き(案) 平成16年11月 貯水池周辺の地すべり調査と対策 2010年12月
(財)リバーフロント 整備センター	高規格堤防盛土設計・施工マニュアル 平成12年3月
(一社)地すべり対策 技術協会	新版 地すべり鋼管杭設計要領 2003年6月
(社)土質工学会	土質工学ハンドブック 第7章(斜面安定) 昭和61年10月
(公社)地盤工学会	斜面安定解析入門 平成13年4月
(一財)沿岸技術 研究センター	港湾構造物設計事例集 平成19年3月
(公社)全国漁港漁場協会	漁港・漁場の施設の設計の手引き 2003年版 漁港・漁場構造物設計計算例 平成16年
(公社)日本道路協会	道路標示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年7月版
(国研)土木研究所	河川堤防の液状化対策工法設計施工マニュアル(案) 平成9年10月
(公社)土木学会	屋外タンク貯蔵所 基礎の規制基準(杭基礎及びリング基礎について)解説 昭和58年1月
(株)ぎょうせい	盛土等防災マニュアルの開設 令和5年11月 宅地防災マニュアルの解説(第二次改訂版) 令和4年2月

防潮堤・護岸の設計計算 Ver.4

重力式、扶壁式、突形式に対応した防潮堤の設計計算プログラム

プログラム価格
¥385,000
(税抜 ¥350,000)

Windows 11 対応

電子納品 3D PDF
体験セミナー

「海岸保全施設の技術上の規準・同解説」に準拠した防潮堤の設計計算プログラム。対象構造形式は、直立壁タイプの重力式、扶壁式、突形式 (L形式含む) などです。

- 構造形式: 堤防・護岸工、胸壁工
- 型式: 重力式、扶壁式、突形式 (L型式を含む)
- 設計計算: 壁体の滑動、転倒、基礎地盤の支持力の照査、波返し工の断面照査
- 検討ケース・陸→海: 永続状態 (常時)、変動状態 (地震時、波の谷作用時)
- 検討ケース・海→陸: 変動状態 (波の峰作用時)、偶発状態 (津波作用時)

Ver.4 改訂内容

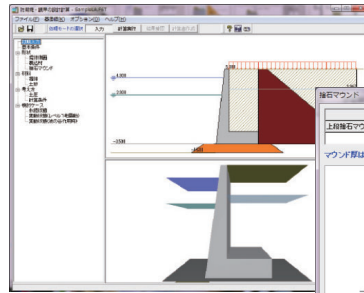
2025年12月24日リリース

1. 「漁港・漁場の施設の設計参考図書 2023年版」対応
2. F8-AI™UCサポート機能に対応

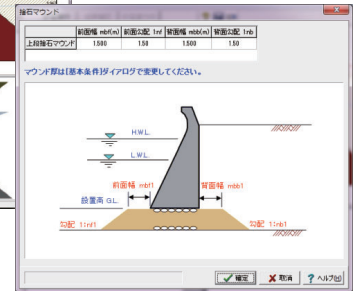
適用基準

(社)日本港湾協会	港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成30年5月 港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成19年9月
(社)全国漁港漁場協会	漁港・漁場の施設の設計の手引 2003年度版 漁港・漁場の施設の設計参考図書 2023年版

メインウィンドウ



捨石マウンド



参考文献

(社)全国漁港漁場協会	漁港・漁場構造物設計計算例 平成17年6月
海岸保全施設技術研究会 編	海岸保全施設の技術上の規準・同解説 平成16年6月
土木学会	海岸施設設計便覧 (2000年度)
沿岸技術研究センター	港湾構造物設計事例集 (平成19年改訂版) 平成19年3月
国土交通省 港湾局	防波堤の耐津波設計ガイドライン (平成25年9月)

柔構造樋門の設計・3D配筋 Ver.18 Upgrade

柔構造樋門の本体 (本体縦方向、本体横方向) と付属構造物 (門柱、胸壁、翼壁、しゃ水工) の設計計算、図面作成プログラム

プログラム価格
¥462,000
(税抜 ¥420,000)
函体縦方向レベル2
断面照査オプション
¥88,000
(税抜 ¥80,000)
杭支持オプション
¥190,300
(税抜 ¥173,000)

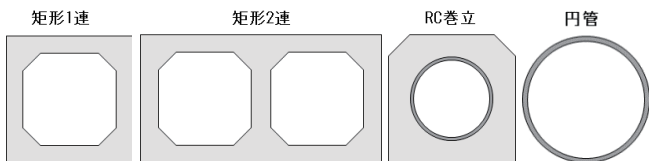
Windows 11 対応

UC-1サポートAI
計算・CAD統合
3D配筋対応
電子納品 3D PDF
IFC
有償セミナー

柔構造樋門本体の縦方向・横方向、門柱、胸壁、翼壁、しゃ水工の設計計算、図面作成プログラムです。門柱における河川構造物の耐震性能照査指針・解説 (R2.2) での静的照査法にも対応しています。樋門本体と付属構造物 (門柱、胸壁、翼壁) の配筋図、構造一般図、数量計算書を作成可能です。

【主な機能】

- 本体縦方向、本体横方向、門柱、胸壁、翼壁、しゃ水工の設計計算が可能
- 本体縦方向と門柱、胸壁、翼壁堤防保護部の荷重連動 (連動荷重の設定) が可能
- 本体縦方向は「函体縦方向レベル2断面照査オプション」にて耐震性能照査 (レベル2地震動照査) が可能
- 門柱は「河川構造物の耐震性能照査指針・解説 - IV. 水門・樋門及び堰編 -」令和2年2月および平成24年2月の耐震性能照査 (レベル2地震動照査) が可能
- 函体は以下の構造、形状に対応



- 本体縦方向: 矩形RC (鉄筋コンクリート) 函体 (1連、2連)、矩形PC (プレストレストコンクリート) 函体 (1連、2連)、円管 (鋼管、コンクリート管、ダクタイル鋳鉄管、ヒューム管、高耐圧ポリエチレン管)、RC巻立
- 本体横方向: 矩形RC函体 (1連、2連)、RC巻立 (RC矩形換算)、円管 (ダクタイル鋳鉄管)

- 図面作成: 矩形RC函体 (1連、2連)
- 即時沈下量、側方変位量、圧密沈下量の計算、および残留変位量の照査に対応。即時沈下量、側方変位量、圧密沈下量は直接入力も可能
- 図面作成は標準部函体・門柱部・川裏側函体端部・胸壁・翼壁の配筋図、構造一般図、数量計算書、3D配筋を作成可能

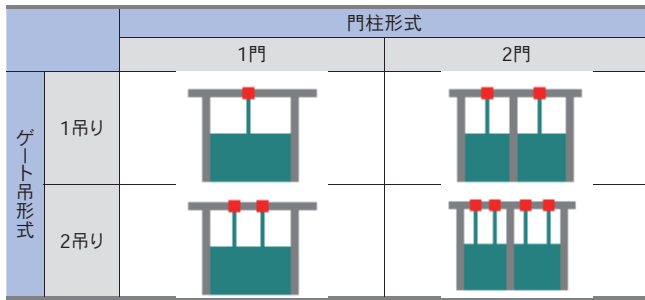
【本体縦方向の設計】

- 構造形式は柔支持、剛支持に対応
- 継手は可とう性継手、カラー継手、弾性継手 (バネ値入力) に対応
- 常時・L1は以下の照査が可能
相対変位量照査、地盤反力度照査、継手の照査 (開口、目違い)
RC函体: 許容応力度照査 (曲げ応力度照査、せん断応力度照査、最小鉄筋量照査)
PC函体: 単スパン緊張、全スパン緊張 (パッシブテンション) に対応した応力度照査
円管 (鋼管): 鋼管応力度照査

【本体横方向の設計】

- 本体縦方向から函体断面形状を連動可能
- 以下の荷重を考慮可能
・死荷重、活荷重、活荷重 (側圧)、温度荷重

【門柱の設計】



● 操作台は以下の6タイプに対応



- 管理橋の設置は正面、側面、設置無しから選択可能
- 縦方向、横方向について断面力の計算、応力度照査が可能
- 連動荷重を計算し、本体縦方向へ連動可能

【胸壁の設計】

- 形状は逆T型、L型に対応
- 川表／川裏ごとに個別設計可能
- 背面土砂形状は水平、一定勾配、段差（最大3段）に対応
- 連動荷重を本体縦方向へ連動、地盤反力度を本体縦方向計算結果から連動可能

【翼壁の設計】

- 樋門本体と分離した自立構造物として設計
- 川表／川裏ごとに個別設計可能
- 以下の形状と計算に対応

形状	部材設計	安定計算	浮上りの検討	
			断面	全体
逆T型	○	○	○	○
L型	○	○	○	○
U型	○	-	○	○
U型張り出し	○	-	○	○
U型底版傾斜	○	-	-	○
堤防保護部	○	○	○	-

- 逆T型、L型翼壁、堤防保護部：背面土砂形状は水平、一定勾配、段差（最大3段）に対応
- 堤防保護部は連動荷重を計算し、本体縦方向へ連動可能

【しゃ水工の設計】

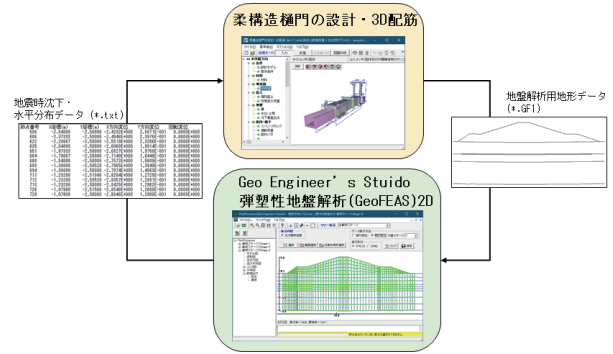
- 鉛直、水平毎に浸透流による影響に対する検討が可能
- 経路長を本体縦方向、および翼壁データから連動可能

【図面作成】

- 一般図には、しゃ水壁・胸壁・翼壁部に設置するしゃ水工（鋼矢板）も作図
- 各部のコンクリート体積、型枠面積、鉄筋質量、鋼材質量を算出
- 数量計算書には総括表、躯体寸法及び数量算出過程を記述
- SXFVer.3.1、DXF・DWG、JWW・JWC、ソリッドモデルの3DS出力に対応
- 3D配筋では自動生成と表示機能に対応、IFC形式、Allplan形式のファイル出力対応
- 積算連携機能に対応

【函体縦方向レベル2断面照査オプション】

- 矩形RC函体（1連、2連）の本体縦方向レベル2照査に対応
曲げ耐力、せん断耐力、継手（開口、目違い）を照査
- Geo Engineer's Studio、および弾塑性地盤解析（GeoFEAS®）2D用の地盤解析用地形データファイルの保存と、これらの製品の計算結果（変位量）の読み込みに対応



- Engineer's Studio®形式の入力データファイルの保存に対応

【杭支持オプション】

- 矩形RC函体（1連、2連）の杭支持モデルの設計（L1許容応力度法、L2）に対応
- 以下の杭種に対応
鋼管杭、RC杭、PHC杭、PC杭、場所打ち杭、SC杭、SCPHC杭、鋼管ソイルセメント杭、回転杭
- 常時・L1は以下の照査に対応
函体：応力度照査、継手の照査（開口、目違い）
杭体：応力度照査、支持力照査、負の周面摩擦力照査、杭頭接合照査
- レベル2地震時は以下の照査に対応
函体：曲げ耐力照査、せん断耐力照査、継手の照査（開口、目違い）
杭体：曲げ耐力照査、せん断耐力照査
- 「河川構造物の耐震性能照査指針」の発行年月の選択に応じて、杭の設計計算は以下の「道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編」に準拠
河川構造物の耐震性能照査指針令和2年2月の場合：道示IV平成24年2月
河川構造物の耐震性能照査指針平成24年2月の場合：道示IV平成14年2月
- 各スパン、ブロックの縦方向座標ごとに杭種、杭長、杭本数等を指定可能
- 函体縦方向レベル2断面照査オプションと同様に、Geo Engineer's Studio、および弾塑性地盤解析（GeoFEAS®）2D用の地盤解析用地形データファイルの保存と、これらの製品の計算結果（変位量）の読み込みに対応
- Engineer's Studio®形式の入力データファイルの保存に対応

Ver.18 改訂内容

2025年10月31日リリース

1. 層厚0のモデル化への対応
2. Eom算出時の影響する深さの取り扱いの指定への対応
3. F8-AI UCサポート機能への対応
4. 杭基礎設計便覧H27への対応

適用基準

(一財)国土開発技術 研究センター	柔構造樋門設計の手引き 平成10年11月
国土交通省	河川構造物の耐震性能照査指針・解説 令和2年2月 河川砂防技術基準 設計編 技術資料 第1章第8節 樋門 令和3年3月 土木構造物設計マニュアル(案)-樋門編- 平成13年12月 土木構造物設計マニュアル(案)に係わる設計・施工の手引き(案) [樋門編] 平成13年12月

参考文献

(公社)日本道路協会	道路土工カルバート工指針 平成11年3月 道路土工カルバート工指針 平成21年度 平成22年3月 樋門標準設計 取扱い説明書 平成15年4月 道路橋示方書・同解説 II 鋼橋編 平成14年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成14年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成14年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月 杭基礎設計便覧 平成4年10月 杭基礎設計便覧 昭和61年1月
その他	地震時保有水平耐力法に基づく水門・堰の耐震性能照査に関する計算例 平成20年3月(独)土木研究所 建設省河川砂防技術基準(案)同解説 設計編 [I] 平成9年9月(社)日本河川協会

マンホールの設計・3D配筋 Ver.12 UpGrade

現場打ち、組立て式マンホール／集水柵の設計計算、
図面作成プログラム

下水道施設の耐震対策
指針と解説-2025年度版-
対応

プログラム価格
¥286,000
(税抜 ¥260,000)
開口部照査拡張
オプション
¥44,000
(税抜 ¥40,000)

- Windows 11 対応
- UC-1サポートAI
- 計算・CAD統合
- 3D配筋対応
- 電子納品 3D PDF
- IFC
- 体験セミナー

マンホールの常時、レベル1、レベル2地震時の設計、集水柵の常時、レベル1地震時の設計および図面作成を行うプログラム。常時の検討では平板解析、ラーメン解析等により断面力を算出し、マンホールの地震時の照査では応答変位法、集水柵の地震時の照査では震度法により断面力を算出します。断面計算は、常時、レベル1地震時は許容応力度法、レベル2地震時は限界状態設計法による照査を行います。

【主な特徴】

検討対象：マンホール

- 矩形および円形部材の検討が可能。混在も可
- 現場打ちおよび組立式部材の検討が可能。混在も可
- 埋め戻し土を考慮した検討が可能
- 常時、レベル1地震時、レベル2地震時を同時に計算
- ポーリング交換用データ (XMLファイル) の読み込みに対応
- 液状化の判定が可能

検討対象：集水柵

- 矩形集水柵の検討が可能
- 頂版またはグレーチングの有無を指定可能
- 常時、レベル1地震時の計算が可能

共通事項

- 開口部照査用に開口計算モデルを任意に追加し、検討が可能
- 開口計算モデルは、平板解析、梁モデル、平板要素FEM解析 (オプション) が可能

【マンホール (常時)】

- 平板解析、水平ラーメン、鉛直ラーメン、鉛直方向連続梁による部材照査
- 矩形平板解析は建築学会、土木学会の選択が可能
- 円形側壁はリング構造解析、円筒シェル解析に対応
- 浮き上がりの検討は周面摩擦抵抗力を考慮可能
- 支持力検討：許容支持力による照査、築造前後の重量比による照査から選択
- 活荷重、内水位、任意荷重による荷重の組み合わせを作成可能

【マンホール (地震時)】

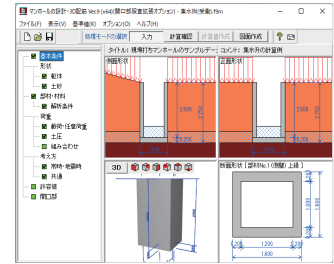
- 埋戻し土の土質定数考慮、地盤の変位振幅は任意指定可能
- 設計応答速度Sv、地盤の特性値TGの直接指定可能
- 基盤層に深に躯体があるときに地盤変位の重ね合わせが可能
- 液状化の判定、液状化の影響を考慮した浮き上がりの検討
- マンホールと本管の接合部照査が可能
- 下水道基準の年度選択 (2006年／2014年) が可能
- 変位振幅の算出基準として、下水道基準と水道基準が選択可能

【集水柵】

- 土圧：試行かさび法、クーロン、土圧係数、静止土圧の算出式で検討
- 内部水位による重量、水圧、慣性力を考慮
- 載荷荷重、外水位、内水位、土圧、任意荷重による荷重の組み合わせが可能

- 安定照査：浮き上がり、支持力の照査が可能
- 側壁の解析方法：平板解析、水平ラーメン、3辺固定版＋両端固定梁、2辺固定版＋片持梁による照査
- 土砂形状の設定が可能。一方方向のみ違う土砂形状を設定可能
- 受動土圧を考慮した検討が可能

集水柵



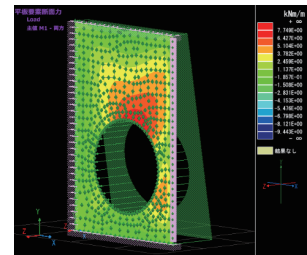
【図面作成】

- 「マンホール」 (現場打ち、組立式、組立式＋現場打ち)、「集水柵」を作成
- CADデータ交換標準SXF Ver3.1形式のファイル (レベル2) 出力対応
- 3D配筋シミュレーション機能 (3D配筋自動生成、表示機能)

【開口部照査拡張オプション】

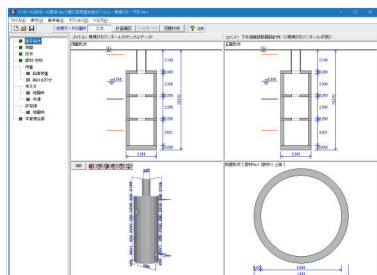
- 開口部を有する矩形/円形平板モデルをFEM解析により照査
- 支点条件直接指定、最大曲げモーメント自動算出
- 平板モデルは「Engineer's Studio®」にエクスポート可能

Engineer's Studio®結果画面
(開口部FEMモデルのエクスポート)

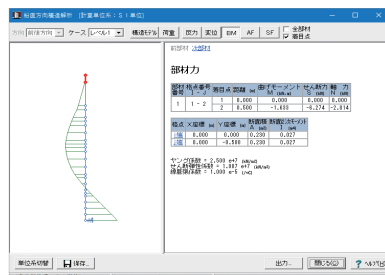


	マンホール	集水柵
形状	円形、矩形 (混在可)	矩形
部材	頂版、中床板 (複数) 底版、側壁 (複数可)	頂版 (またはグレーチング) 側壁、底版
検討ケース	常時、Lv1地震時、Lv2地震時	常時、Lv1地震時
断面照査	常時、Lv1地震時：許容応力度法 Lv2地震時：限界状態設計法	許容応力度法
部材種類	RC／無筋	RC／無筋
地震時の計算方法	応答変位法	震度法
図面作成	○	○

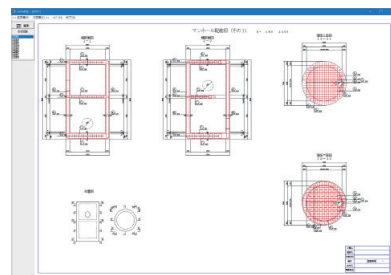
結果確認 (構造解析)



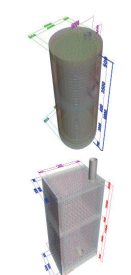
結果確認 (構造解析)



図面作成

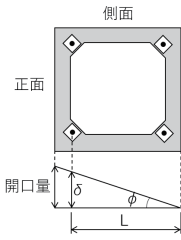


3D配筋ビューワ

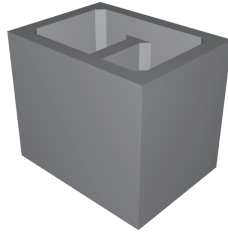


1. 下水道施設の耐震対策指針と解説-2025年版- に対応
2. F8-AI™UCサポート機能に対応

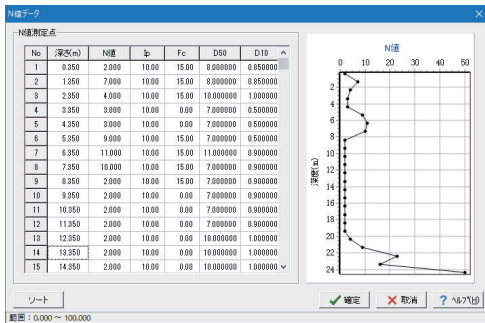
組立人孔のCタイプ継手



中壁あり集水槽



N値測定点入力画面



適用基準

(公社)日本下水道協会	下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年版- 令和7年8月 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2014年版- 平成26年5月 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2006年版- 平成18年8月
東京都下水道サービス(株)	特殊人孔構造計算の手引き 令和5年4月 特殊人孔構造計算の手引き 平成16年6月

参考文献

(公社)日本下水道協会	下水道施設耐震設計例-管路施設編-2015年版 平成27年6月 下水道施設耐震設計例-管路施設編-2001年版 平成13年4月 下水道施設耐震設計例-処理場・ポンプ場編-2002年版 平成14年8月
(社)日本水道協会	水道施設耐震工法指針・解説 2009年版 平成21年7月
(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 I 共通編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成14年3月 道路土工 カルバート工指針 平成11年3月 道路土工 擁壁工指針 (平成24年度版) 平成24年7月 道路土工 擁壁工指針 平成11年3月 駐車場設計・施工指針 同解説 平成4年11月
東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第二集-カルバート編- 平成26年7月
東京都下水道サービス(株)	下水道施設耐震構造指針(管路施設編) 平成14年4月
(社)日本建築学会	鉄筋コンクリート構造計算用資料集 平成14年2月
(社)土木学会	構造力学公式集 昭和61年版 平成15年3月 2006年制定 トンネル標準示方書 開削工法・同解説 平成18年7月
(公社)農業土木学会	土地改良事業計画設計基準 設計「農道」基準書・技術書 平成17年3月 土地改良事業計画設計基準 設計「ポンプ場」基準書・技術書 平成18年3月 土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」基準書・技術書 平成26年3月

BOXカルバートの設計・3D配筋 (下水道耐震) Ver.15

下水道施設の耐震対策指針と解説-2025年度版-対応

プログラム価格
¥330,000
 (税抜 ¥300,000)
 L2非線形解析オプション
¥77,000
 (税抜 ¥70,000)

Windows 11 対応

- UC-1サポートAI
- 計算・CAD統合
- 3D配筋対応
- 電子納品 3D PDF
- IFC
- 体験セミナー

「下水道基準」に準拠したBOXカルバートの耐震設計プログラム

「下水道施設」「土地改良施設」「水道施設」に応じた鉄筋コンクリート式1連、2連、3連BOXカルバートおよび開きよの応答変位法による耐震設計計算を支援するプログラム。基礎形式は直接基礎、杭基礎に対応しており、応答変位法による杭基礎設計を行います。

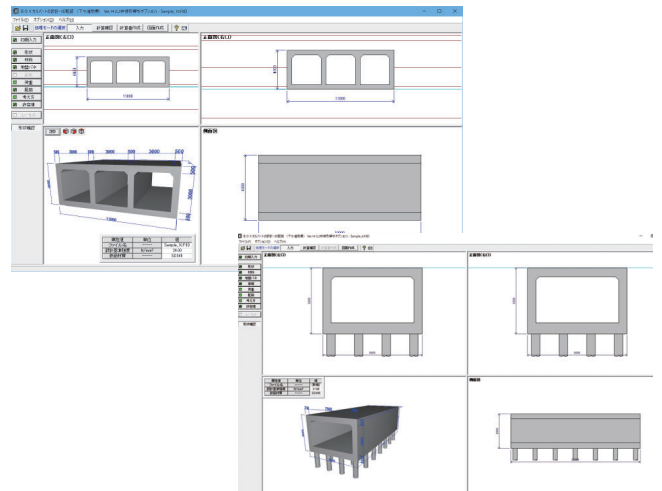
- 1連、2連、3連BOXカルバート本体・開きよの断面方向、縦方向の計算
- マンホールと矩形きよ本体の接続部、矩形きよと矩形きよの継手部検討
- PCボックスカルバート横方向、プレキャストボックスカルバート縦方向耐震設計
- 地盤の液状化の判定、液状化による浮上りに対する検討
- インバート形状(底版内側が逆アーチ型)に対応
- 縦断方向検討ケース:レベル1地震時、レベル2地震時で水平・鉛直面内照査
- 縦方向の計算:継手の管軸直角方向相対変位量・相対回転角の計算
- 隅角部の剛域考慮、埋戻し土の土質定数考慮
- 内空荷重などを任意に設定できる任意死荷重(断面方向)対応
- 任意活荷重に定型1活荷重相当データの自動作成に対応
- 断面力の計算:微小変形理論に基づく変位法、必要なデータは全て自動生成
- PHC杭の杭頭カットオフ区間の杭本体照査
- 断面方向検討において地震の向き設定対応
- 開きよ(震度法)において限界状態設計法によるレベル2地震時検討対応
- 杭基礎時の杭種として鋼管ソイルセメント杭に対応
- 3Dアトリビュート(属性表示)対応

[L2非線形解析オプション]

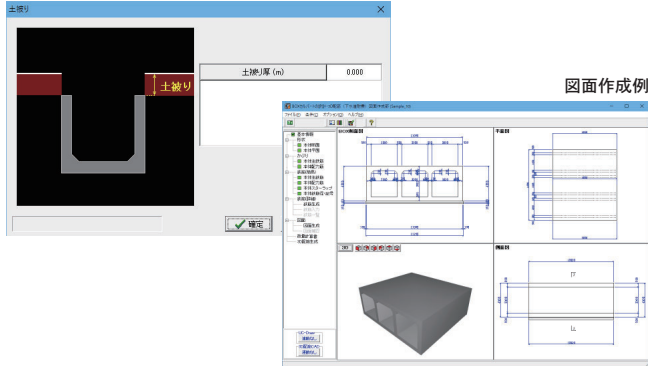
- 部材非線形解析によるL2断面力算出対応

1. 「下水道施設の耐震対策指針と解説-2025年版-」に対応
2. F8-AI™UCサポート機能に対応

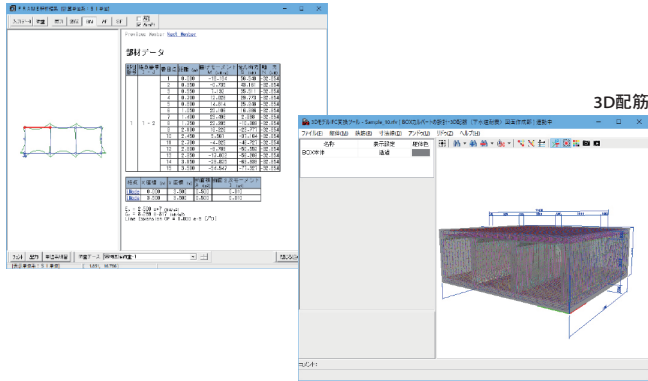
メイン画面



土被り入力画面 (開きよ)



フレーム解析結果



適用基準

(公社)日本下水道協会	下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年版- 令和7年8月 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2014年版- 平成26年5月 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2006年版- 平成18年8月
(社)日本水道協会	水道施設耐震工法指針 2009年版 総論 平成21年12月 水道施設耐震工法指針 1997年版 平成9年3月
(社)全日本建設技術協会	土木構造物設計ガイドライン 平成11年11月 土木構造物標準設計第1巻 (暗きよ類) 平成12年9月
農林水産省	土地改良事業計画設計基準・設計「水路工」の基準及び運用の解説、技術書 平成26年3月 土地改良施設 耐震設計の手引き 平成16年3月
国土交通省	3次元モデル表記標準 (案) 令和2年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	共同溝設計指針 昭和61年3月 道路土工カルバート工指針 (平成21年度版) 平成22年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成14年3月 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 平成8年12月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成14年3月 杭基礎設計便覧 (平成18年度改訂版) 平成19年1月
(公社)日本下水道協会	下水道施設耐震計算例 -管路施設編- 前編 2015年版 平成27年6月 下水道施設耐震計算例 -管路施設編- 後編 2001年版 平成13年4月 下水道施設耐震計算例 -処理場・ポンプ場編- 前編 2015年版 平成27年6月 下水道施設耐震計算例 -処理場・ポンプ場編- 後編 2002年版 平成14年8月
(公社)日本水道協会	水道施設の耐震設計入門 平成26年12月
(公社)土木学会	[2012年制定] コンクリート標準示方書 設計編 平成25年3月

下水道管の耐震計算 Ver.4

プログラム価格
¥253,000
(税抜 ¥230,000)

Windows 11 対応
UC-1サポートAI
電子納品 3D PDF

下水道管本体鉛直断面、軸方向、管きよの接合部の耐震計算プログラム

下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年度版- 対応

「下水道施設の耐震対策指針と解説」「下水道施設耐震計算例 -管路施設編- 前編」に準じ、下水道管の鉛直断面・下水道管の軸方向・マンホールと管きよの継手部・管きよと管きよの継手部についての耐震計算および液状化の判定・浮き上がりの検討を行います。

【鉛直断面の計算 (RC管、陶管)】

- 管の鉛直断面: 鉄筋コンクリート管、陶管の安全性を判定
- 常時支点条件: 「左 (ピン)、右 (水平ローラー)」、「左右 (水平ローラー)」、管底 (鉛直ローラー)」
- 鉛直土圧、鉛直水圧、水平土圧、水平水圧、底面地盤反力を考慮
- 鉛直土圧の算出方法: 「直土圧」、「テルツァーのゆるみ土圧」から指定可能

【鉛直断面の計算 (強プラ管、ダクタイル鋳鉄管)】

- 管の鉛直断面: 強化プラスチック複合管、ダクタイル鋳鉄管の安全性を判定
- 鉛直土圧の算出方法: 「直土圧」、「テルツァーのゆるみ土圧」から指定可能

【継手の計算】

- 地震動、地盤沈下による屈曲角、拔出量の照査
- 液状化に伴う永久ひずみ、傾斜地の永久ひずみによる拔出量の照査
- 地盤の硬軟急変化部を通過する場合の拔出量の照査
- 浅層不整形地盤でのひずみによる拔出量の照査
- 拔出量の検討における急曲線の影響の考慮

【軸方向の計算】

- 躯体自重、上載荷重、外圧、内圧、地震時の慣性力、土圧、水圧などに対応
- 荷重を組合せて載荷し、断面照査 (許容応力度法、限界状態設計法) 対応
- ポリエチレン管の地盤の液状化に伴う軸方向ひずみの検討への対応

Ver.4 改訂内容

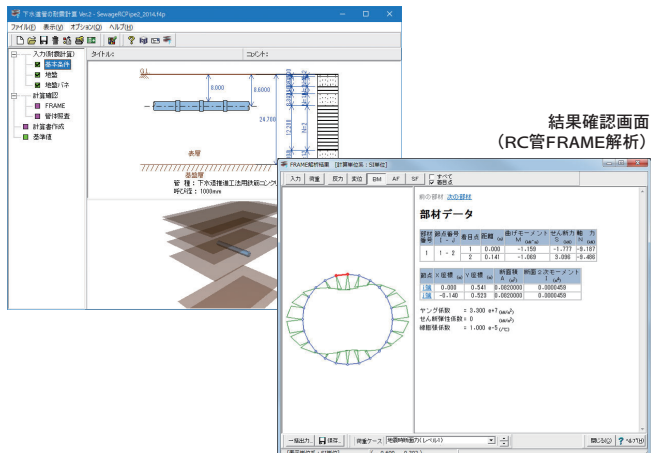
2025年12月17日リリース

1. 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年版- に対応
2. 地盤変位の直接指定に対応
3. F8-AI™ UCサポート機能に対応

【液状化の判定】

- 平成14年3月道路橋示方書V (耐震設計編) に基づいた、レベル1、レベル2地震時に対する液状化の判定が可能
- 土質定数の低減係数DEを算出する事が可能
- 液状化による浮き上がりの検討が可能

メイン画面



対象管きよ	管種	地震動による				鉛直断面の強度		管軸方向の強度		傾斜地		液状化の判定 (FL値)	液状化		
		マンホールと管きよの接続部		管きよと管きよの継手部		耐力力	応力度	管体ひずみ	応力度	永久ひずみ	硬軟急変化		永久ひずみ	地盤沈下	
		屈曲角	抜き出し量	屈曲角	抜き出し量									抜き出し量	屈曲角
継手管きよ	遠心力鉄筋コンクリート管 (開削工法用)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	-	-	-	Lv2	Lv1・2 (*)	Lv2	Lv2	Lv2	Lv2
	遠心力鉄筋コンクリート管 (推進工法用)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	-	-	-	Lv2	Lv1・2 (*)	Lv2	Lv2	Lv2	Lv2
	陶管 (開削工法用)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	-	-	-	Lv2	Lv1・2 (*)	Lv2	Lv2	Lv2	Lv2
	硬質塩化ビニル管 (ゴム輪接合)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	-	-	-	Lv1・2 (+)	Lv2	Lv1・2 (*)	Lv2	Lv2	Lv2	Lv2
	強化プラスチック複合管	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	-	Lv1・2 (+) (近似式)	-	-	Lv2	Lv1・2 (*)	Lv2	Lv2	Lv2	Lv2
	ダクタイル鋳鉄管 (自然流下管)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	Lv1・2 (+)	-	Lv1・2 (+) (近似式)	-	-	Lv2	Lv1・2 (*)	Lv2	Lv2	Lv2	Lv2
一体構造	硬質塩化ビニル管 (接着接合)	Lv1・2	Lv1・2	-	-	-	-	-	Lv1・2	-	-	Lv2	Lv2	-	Lv2
	ダクタイル鋳鉄管 (圧送管)	-	-	Lv1・2	Lv1・2	-	-	-	Lv1・2	-	-	Lv2	-	-	
	鋼管	-	-	Lv1・2	Lv1・2	-	-	Lv1・2	Lv1・2	-	-	Lv2	-	-	
	ポリエチレン管	-	-	-	-	-	-	Lv1・2	Lv1・2	-	-	Lv2	-	-	

Lv1・2: レベル1地震動、レベル2地震動で検討する項目、Lv2: レベル2地震動で検討する項目、-: 耐震検討を必要としない項目

適用基準

(公社)日本下水道協会	下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年版- 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2014年版- 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2006年版- 下水道施設耐震計算例・管路施設編-前編 2015年版 下水道施設耐震計算例・管路施設編-前編 2001年版
(公社)日本水道協会	水道施設耐震工法指針・解説 2009年版 I 総論 水道施設耐震工法指針・解説 2009年版 設計事例集 水道施設耐震工法指針・解説 1997年版
(公社)日本道路協会	道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 平成14年3月
(公社)土木学会	平成8年制定 コンクリート標準示方書 設計編

参考文献

(公社)日本下水道協会	JSWAS A-1 (下水道用鉄筋コンクリート管) JSWAS A-2 (下水道推進工法用鉄筋コンクリート管) JSWAS A-6 (下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管) JSWAS G-1 (下水道用ダクタイル鋳鉄管) JSWAS G-2 (下水道推進工法用ダクタイル鋳鉄管) JSWAS K-1 (下水道用硬質塩化ビニル管) JSWAS K-2 (下水道用強化プラスチック複合管) JSWAS K-6 (下水道推進工法用硬質塩化ビニル管) JSWAS K-14 (下水道用ポリエチレン管) JSWAS R-2 (下水道用陶管) JSWAS R-3 (下水道推進工法用陶管)
-------------	--

更生管の計算 Ver.4

管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン(案)に基づいた更生自立管、線形解析による更生複合管の計算プログラム

下水道施設の耐震対策指針と解説-2025年度版-対応

プログラム価格

¥190,300

(税抜 ¥173,000)

Windows 11 対応

電子納品

3D PDF

更生自立管の常時・地震時の計算、更生複合管の計算に対応したプログラムです。液状化の判定にも対応しています。

■更生管の計算 Ver.4では、2025年に発行された下水道施設の耐震対策指針と解説-2025年度版-への対応を行っています。

主な対応項目は以下の通りとなります

1. 下水道施設の耐震対策指針と解説2025年版対応
2. 液状化の判定におけるレベル2 タイプIの計算およびH29 告示への対応
3. 改訂内容に対応したF8-AI UCサポート

【自立管の計算】

- 常時: 曲げ強度による管厚と、たわみ率による管厚の算定
- 地震時の照査: 管体応力、マンホール接続部の屈曲角、抜き出し量の照査
- 常時: 曲げ強度による管厚とたわみ率による管厚の算定、外水圧による管厚の算定
- 地震時の照査: 管体応力、マンホール接続部の屈曲角、抜き出し量の照査

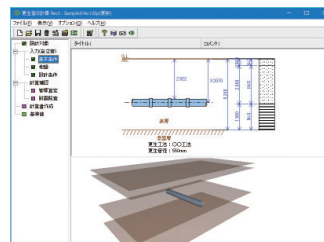
【複合管の計算】

- 線形解析による複合管の計算、常時、レベル1、レベル2地震時照査
- 下水道基準による継手の照査 (レベル1、レベル2地震時)
- レベル2地震時照査で、構造物のじん性を考慮した補正係数Csの適用が可能)

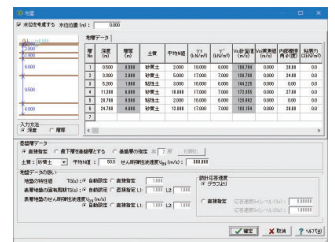
適用基準

(公社)日本下水道協会	管きよ更生工法における設計・施工管理 ガイドライン-2017年版- 管きよ更生工法における設計・施工管理 ガイドライン(案) 更生管の手引き(案) 下水道推進工法の指針と解説-2010年版- 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2025年版- 下水道施設の耐震対策指針と解説 -2014年版- -2006年版- 下水道施設耐震計算例・管路施設編-前編 2001年版
-------------	---

メイン画面



地盤条件入力



参考文献

(公社)日本下水道協会	JSWAS A-1 (下水道用鉄筋コンクリート管) JSWAS A-2 (下水道推進工法用鉄筋コンクリート管) JSWAS A-6 (下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管) JSWAS K-1 (下水道用硬質塩化ビニル管) JSWAS K-2 (下水道用強化プラスチック複合管)
-------------	--

橋梁点検支援システム Ver.4 Upgrade

損傷状況の記録、各種点検調書、部材図・損傷図を作画するシステム

プログラム価格
¥427,900
(税抜 ¥389,000)

UC-1サポートAI
計算・CAD統合
電子納品
体験セミナー

Windows 11 対応

「橋梁定期点検要領（平成31年3月）」に準じ、定期点検業務での損傷状況の把握、対策区分の判定、結果の記録までの作業を、効率よく行うことができます。汎用CAD機能を持ち、調査図面、損傷図を作画し、各種点検調書を作成するシステムです。

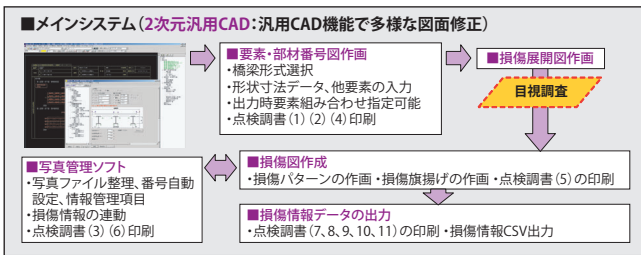
【適用構造】

上部構造	コンクリート橋	床版橋、T桁橋、I桁橋、箱桁橋
	鋼橋	鉸桁橋、箱桁橋、トラス橋、アーチ橋、ラーメン橋
下部構造	橋台	重力式、逆T式、ラーメン式
	橋脚	壁式、張出式、柱式、ラーメン式

- ひびわれ・剥離・鉄筋露出・遊離石灰・腐食・漏水に対応、パターンの追加も可能
- パターン形状：任意、定型形状（円、楕円、小判形）
- 旗揚げに記述する、要素の種類・要素番号、損傷の評価区分等の記述仕様は、要領（案）4.2点検の項目及び方法で示された損傷一覧に対応
- 損傷一覧、損傷写真ファイル一覧などの点検情報をCSV形式に出力可能

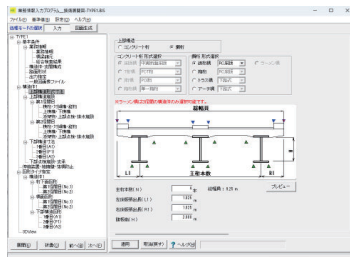
【写真管理ソフト】

- 撮影写真や損傷写真をインポートし、属性情報を編集して点検調書へ出力



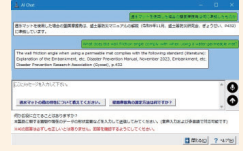
【図面の自動作画生成機能】

- パラメトリックな入力により「要素・部材番号図」および「損傷展開図」を自動作画



F8-AI UCサポート

- 設計支援を目的としたAI機能を搭載
- 入力操作や計算理論の解説など、サポート窓口へお問合せいただくことなく製品内で解決可能な手段をご提供します
- 多言語、音声入力に対応しており、外国人技術者でも母国語での入力が可能です

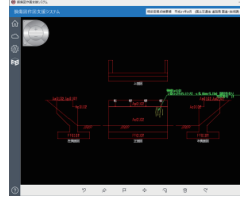


Ver.4 改訂内容

2025年12月リリース

1. タブレットPCへの対応
損傷図の作画に特化した『損傷図作画支援システム』をネイティブアプリケーションとして提供
点検現場での利用を想定し、操作性を重視したデザインを採用

タブレットPC版メイン画面

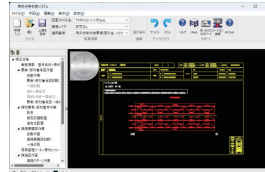


タブレットPC版損傷旗揚げ設定イメージ

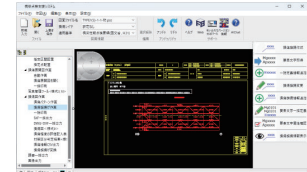


2. デスクトップ版の改善
点検業務における機能に特化した操作性に優れたインターフェイスデザインを採用

デスクトップ版メインウィンドウ



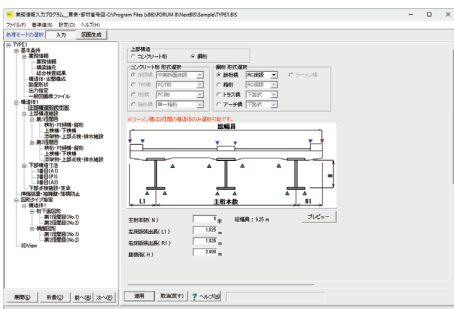
デスクトップ版損傷旗揚げ画面



参考文献

国土交通省	橋梁定期点検要領 平成31年3月 橋梁定期点検要領 平成26年6月 橋梁定期点検要領（案）平成16年3月
（一財）海洋架橋・橋梁調査会	道路橋マネジメントの手引き 平成16年8月

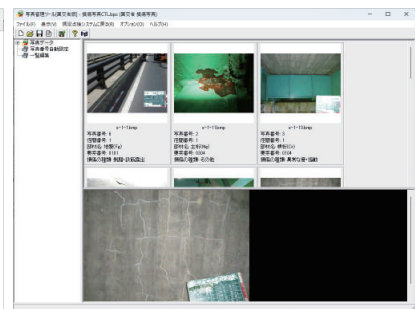
対話型による構造データの選択・入力



3D形状ビューア



写真管理ツール



コンクリート打設管理システム

モバイルアプリで打設管理を効率化、現場負担軽減と残コン・戻りコン抑制に貢献

スイートERP・
ベースシステム標準価格
10ユーザー ¥198,000
(税抜 ¥180,000)

コンクリート打設
管理オプション
¥220,000
(税抜 ¥200,000)

西松建設株式会社と株式会社フォーラムエイトが共同開発した、コンクリート打設作業の計画から環境負荷低減までを支援する画期的なシステムです。本システムは、未打設部分の領域を正確に把握し、必要なコンクリート量を自動で計算・調整することで、現場の効率と持続可能性を両立させます。

【主な機能】

コンクリート量の自動計算・調整

未打設領域をもとに、必要なコンクリート量を高精度に自動で算出・調整

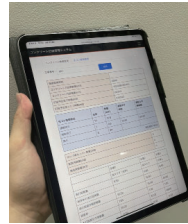
スムーズな打設数量管理

打設現場での数量管理を最適化し、作業効率を飛躍的に向上

モバイルアプリによる効率的な管理

スマホ・タブレットでリアルタイムに情報共有し、現場に最適な管理を実現

タブレット端末での操作



現場技術者の負担軽減

業務効率化を促進し、現場技術者の長時間労働軽減に貢献

残コン・戻りコンの抑制

不要なコンクリートの発生を最小限に抑え、環境負荷の軽減に貢献

(2) 数量データ入力

- WebアプリケーションGSSにアクセスして「コンクリート打設管理システム」を開き、連携情報と図面画像を取得
- コンクリート数量の確認に対応
- 生コンの配送管理や、打設済み数量のリアルタイム入力も可能

配送管理画面

コンクリート打設管理システム Ver.1.1

コンクリート数量管理 | 生コン配送管理 | 簡易表示

工事番号: 24

台数: 24

台数	品名	数量	単位	備考
1	生コン	425	m ³	
2	生コン	85	m ³	
3	生コン	9	m ³	
4	生コン	9	m ³	
5	生コン	9	m ³	

数量管理画面

コンクリート打設管理システム Ver.1.1

コンクリート数量管理 | 生コン配送管理 | 簡易表示

工事番号: 24

項目	数量	単位
コンクリート打設残量	223,839	(100.0%)
打設予定総躯体	80,033	
打設予定総スラブ躯体	223,843	
ポンプ車台数	0	
配管内数量	0	
発注済数量	0	

生コン発注状況	日付	数量	発注済日	現在までの時間差
前日	24	102	-	-
前日	2	8.5	11:30	22:34
残り	22	93.5	-	-

(3) コンクリート未打設領域の指定

- タップやタッチペン操作でコンクリートが打設されていない範囲を赤線で囲むと、範囲内の体積を自動計算

未打設領域のエリア指定 (赤線内が未打設領域)

図面取得 | 取得

※エリアは図面の枠外を指定する。端点に隣接している戸内内蔵に点を指定すると閉じ

エリア面積: 71,968.82 (m²)

発注済数量: 87,254.82 (m³)

【システム概要】

- Web業務システムGSS (グループウェア・サポートシステム) 経由で動作
- タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末で使用可能
- 現場技術者が施工図をモバイル・アプリ上で表示し、タッチペン等を使用してコンクリートが打設されていない範囲を赤線で囲むと、その囲まれた範囲の体積を自動的に算出

システム操作の流れ

【事前準備】

(1) アプリケーション (windows) の起動・図面の読み込み



(2) webシステムの起動・windowsアプリとの接続

【コンクリート体積の算出】

(3) webシステムでの未打設領域の指定



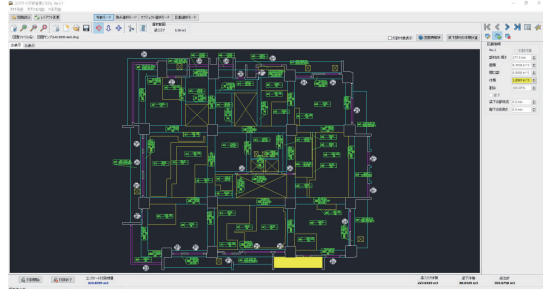
(4) コンクリート発注数量の算出

【作業手順】

(1) 図面作成

- 専用のWindowsアプリケーションを起動し、図面 (dwg形式) を読み込む
- レイヤー設定、工区分け、図面番号等の設定を行う (※図面は指定の作図ルールに従って作成する必要があります)

作図画面イメージ



レイヤー設定

レイヤー名	目録	スラブ	柱	梁	壁	天井	床	床下	基礎	その他
スラブ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
柱	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
梁	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
壁	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
天井	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
床	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
床下	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
基礎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
その他	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

システム連携情報設定

(4) コンクリート発注数量の算出

- 打設済み数量、未打設数量をふまえた追加発注数量を確認可能
- 残コン・戻りコンの抑制に貢献

追加発注数量の確認

コンクリート打設管理システム Ver.1.1

コンクリート数量管理 | 生コン配送管理 | 簡易表示

工事番号: 201

項目	数量	単位
コンクリート打設残量	223,839	(100.0%)
打設予定総躯体	80,033	
打設予定総スラブ躯体	223,843	
ポンプ車台数	0	
配管内数量	0	
発注済数量	0	

生コン発注状況	日付	数量	発注済日	現在までの時間差
前日	24	102	-	-
前日	2	8.5	11:30	22:34
残り	22	93.5	-	-

項目	数量	単位
未打設数量	8.50	
現在中の未打設数量	88.71	
未打設数量合計	77.45	
打設済み数量	-8.50	
追加発注数量	85.95	

DesignBuilder Ver.2025

建物エネルギーシミュレーション
プログラム

Architectural Essentials
¥301,400
(税抜 ¥274,000)

Architectural Plus
¥412,500
(税抜 ¥375,000)

Engineering Fundamentals
¥380,600
(税抜 ¥346,000)

Engineering Essentials
¥475,200
(税抜 ¥432,000)

Engineering Plus
¥650,100
(税抜 ¥591,000)

Engineering Pro
¥982,300
(税抜 ¥893,000)

開発: DesignBuilder Software Ltd <http://www.designbuilder.co.uk/>

Windows 11 対応

体験セミナー

イギリスDesignBuilder社により開発された建築シミュレーションソフト。米国エネルギー省開発の建物エネルギーシミュレーションプログラムであるEnergyPlusと連動することによって、作成したモデルに対して光、温度、CO2などの環境シミュレーション、計画段階から環境に配慮した省エネルギー型の建物の設計ができるソフトウェアです。建築家、建設事業エンジニア、エネルギーコンサルタント、学生の使用に適しています。

【直感的なモデリング】

- OpenGL採用、ブロック作成、押出し・カット編集など直感的に建物モデルを作成
- 傾斜屋根を自動作成ツール、間仕切り作成ツールなどサポート
- データテンプレートを使用し、一般的な建築構造、建物内部での人間活動、HVAC(熱、換気、空調)、照明装置の読み込みが可能
- Site(敷地)、Building(建物)、Block、Zone、Surface(表面、壁や床)、Openings(開口部)などの階層構造に対応、ツール類の利用で、自動的に階層を作成
- モデルデータが編集可能。独自のビューを定義可能。全ての部材と窓がグラフィック表示され視覚的に確認可能

【環境性能データの利用】

- 自然換気のモデル化、外気温による窓の開度調節、日光量による照明制御システムをモデル化し、電気照明の節約量を計算
- 1年・1月・1日・1時間・任意の間隔で包括的なシミュレーションデータを表示
- エネルギー消費量、屋内温度、気象データ、熱伝達、冷暖房負荷、CO2発生量のシミュレーションを行い、気象データを参考に冷暖房設備のサイズを計算・表示
- 最新のASHRAE(アメリカ暖房冷凍空調学会)世界気象データと観測地点データ(4429データセット)が含まれ、975のEnergyPlus毎時気象ファイルが利用可能
- 計算自然換気気流のグラフィック表示。窓、通気孔、ドアなどを通る気流を視覚的に確認可能

【Daylighting】

- 各ゾーンの平均的な昼光率と均一性の計算、各ゾーン、各ブロック内、建物全体を通じて、スライスを生出し高品質な照度のコンター(等高線)をプロット
- 広く使用され信頼性のあるRadiance(採光シミュレーションエンジン)使用、CIE曇天空を含む、さまざまなタイプの空を指定してシミュレーション可能

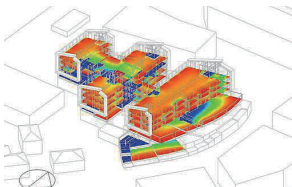
【HVAC】

- EnergyPlusの広い範囲のHVACタイプをサポート
- ASHRAE 90.1基準を含むコンポーネントをサポート、空気・水両方をモデル化
- コンポーネント、混合器、分配器の配置によるプラント、凝縮器、空気循環のグラフィカルな定義可能
- ボイラー、冷却機、加熱コイル、ヒートポンプ、冷却コイル、ポンプ、ファン、加湿器などを含む拡張可能なEnergyPlusのライブラリを使用可能

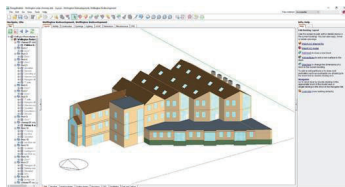
【CFD】

- 建物モデルにCFD(コンピュータを用いた数値流体力学)の概念を統合し、建物内外の空気フローと温度環境をシミュレーション
- 冷暖房機の設置位置、建物の形状、窓、換気・吸気口の配置と屋内温度環境、屋内外の空気の流れなどの解析が可能

採光分布マップの表示(3D)



UIカスタマイズ



【製品構成】

価格はすべて「税込」表記

製品名	モジュール	1年有効ライセンス	2年有効ライセンス
Architectural Essentials	Simulation (EnergyPlus)、Visualization、Daylighting	¥301,400	¥544,500
Architectural Plus	Architectural Essentials + Cost、Optimisation	¥412,500	¥744,700
Engineering Fundamentals	Architectural Essentials + HVAC	¥380,600	¥686,400
Engineering Essentials	Architectural Essentials + HVAC、Cost、LEED	¥475,200	¥855,800
Engineering Plus	Engineering Essentials + Optimisation、Scripting	¥650,100	¥1,172,600
Engineering Pro	Engineering Essentials + Optimisation、CFD、Scripting	¥982,300	¥1,768,800

追加モジュール	1年有効ライセンス	2年有効ライセンス	追加モジュール	1年有効ライセンス	2年有効ライセンス
EnergyPlusシート	¥206,800	¥375,100	Costシート	¥169,400	¥306,900
Visualizationシート	¥95,700	¥174,900	Optimisationシート	¥216,700	¥391,600
Daylightingシート	¥169,400	¥306,900	LEEDシート	¥169,400	¥306,900
CFDシート	¥629,200	¥1,135,200	Scriptingシート	¥169,400	¥306,900
HVACシート	¥169,400	¥306,900	Certificationシート	¥206,800	¥375,100

サイトライセンス: サイトライセンスとシート(モジュール)を購入することにより同じネットワーク内で、購入した数のシートを利用可能。ライセンスサーバとなるPC1台にサイトライセンスをインストールすることにより、同ネットワーク内のその他のPCにて購入したシートを利用可能

建物エネルギーシミュレーション支援サービス >> 詳細:p.147

DesignBuilder 活用例

フォーラムエイト高輪社員寮建築計画
(フォーラムエイトTAKANAWAハウス)



第13回 3D・VRシミュレーションコンテスト
審査員特別賞 デザイン賞
N邸住宅設計検討VRシミュレーション
アトリエ・ドゥン



Ver.2025 改訂内容

2026年1月5日リリース

1. EnergyPlus v23.1に対応
2. 新しいオープンなXMLモデルファイル形式により前方互換性が提供され、他のツールとの容易なデータ交換に対応
3. ブーリアン和(Union)操作で複数ブロックへの適用に対応
4. 最新のデータ交換フォーマットによるOne Click LCAとの連携強化
5. 新しいパラメトリック可視化ツールにより、オンライン分析プラットフォームを通じて、高品質なバブルプロット・パラレルコーディネート・パラメトリック解析のグラフィカル出力に対応Pythonスクリプティングに対応
6. Pythonスクリプティングにおいて最新のIronPython v3.4に対応
7. ASHRAE 90.1 2019 Appendix Gに対応
8. 新しいHVAC負荷レポートが追加され、業界標準の表形式レイアウト出力・PDFファイル保存に対応

スイートデータ消去® Ver.3

ADEC(データ適正消去実行証明協議会)の認証に適合した
データ消去ツール

サブスクリプション
¥198,000
(税抜 ¥180,000)

OS消去対応 (USBOP)
¥33,000
(税抜 ¥30,000)

ワンタイムライセンス
¥880 (税抜 ¥800)

OS消去対応(USBOP)
¥1,320 (税抜 ¥1,200)

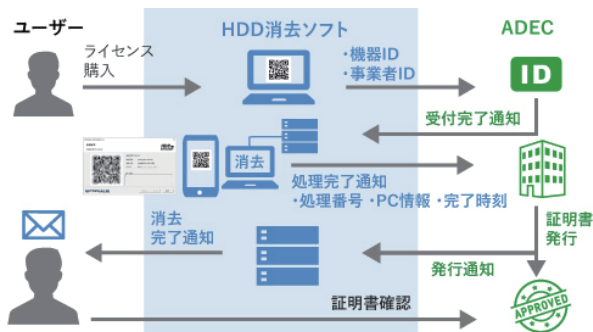
Windows 11 対応

スイートデータ消去®はパソコン内のHDDデータを利用者自身が消去できるツールです。消去の際には国際規格に準拠した証明書が発行され、消去サービス業者に依頼せずとも安心して確実にデータを削除することが可能です。

【利用のメリット】

- 第三者の消去証明で適切な消去を行ったことが証明できる
- 事業者任せではなく、自分で消去実行するのでデータが消去されたことが明確化
- さまざまなパソコンのデータ消去に対応
- パソコンの安全な廃棄、リサイクルの促進
- データ適正消去実行証明協議会 (ADEC)より「データ適正消去実行証明書」が発行

スイートデータ消去®利用の流れ



【データ消去履歴の管理機能】

- 機器ごとの消去履歴の管理が可能
消去漏れによるデータ流出等の事故を未然に防ぐ
- 消去履歴は弊社のクラウドサーバ上に保存
主要なWebブラウザから閲覧・操作が可能のため、インターネット環境があればPC、スマートフォン、タブレット等、デバイスを選ばず利用可能
- まじもんF8NFTS (Web3システム・NFTサービス)と連携
消去履歴のHTMLファイルにNFTを付与

消去業務の作成画面および消去履歴の一覧画面



Ver.3 改訂内容

2025年4月30日リリース

1. まじもんF8NFTSとの連携
消去履歴のHTMLファイルにNFTを付与する機能を追加

技術サービス・サポート

ファイル転送サービス Ver.3

大容量のファイルを簡単に送受信できるファイル共有サービス

F8製品ユーザは無料で使用可能

Advanced
¥330,000
(税抜 ¥300,000)

大容量ファイルや機密情報を“安全・簡単・確実”に届けるためのクラウド型ファイル転送サービスです。従来広く利用されてきたPPAP方式(パスワード付きZIP+別送メール)から脱却し、セキュリティリスクや運用の煩雑さ等の課題が解決できます。FORUM8ユーザは基本機能版を無償で利用可能です。より大容量・多人数での運用をご検討の方には、有償版「ファイル転送サービス Advanced」をご用意しております。

機能	基本機能版	Advanced
1ファイルのサイズ上限	10GB	100GB
ファイル総容量	100GB	500GB
アカウント数	100	1,000

Ver.3改訂内容

2025年12月23日リリース

1. ユーザの管理者様にて担当者ごとのアカウントを追加、削除できる機能を追加
2. アドレス帳機能を追加
3. Advanced版の提供を開始



FORUM8 ユーザ情報ページ 大規模リニューアル

デジタル版Up&Comingも刷新
より探しやすく、より使いやすく



見やすく

表紙を並べて一覧で表示
順次アーカイブも追加予定



探しやすく

横スクロールで記事を探せる。
動画コンテンツにもアクセスしやすく。



使いやすく

レスポンス対応や
お知らせ機能を追加。

FORUM8ユーザーサービス



ファイル転送サービス (基本機能版)

安全・簡単・確実に送信できるクラウド型ファイル
転送サービス

ファイル転送サービス Ver.3 Advanced
¥330,000(税抜 ¥300,000)

- ・1ファイルあたりのサイズ:最大100GB
- ・サーバー全体の容量:合計500GB
- ・利用できる人数:最大1000ユーザー



VRサポートAIサービス

過去20年以上にわたり蓄積されたVR作
成のサポート情報をAIチャットとして公開



まじもんF8NFTS (Web3システム・NFTサービス)

NFTサービスの安全なプラットフォーム
を提供。メタバースとも連携



モバイルUC-1 土木電卓

土木電卓機能を
提供するサービス



緊急地震速報

地震発生情報をリアルタイ
ムで通知するサービス



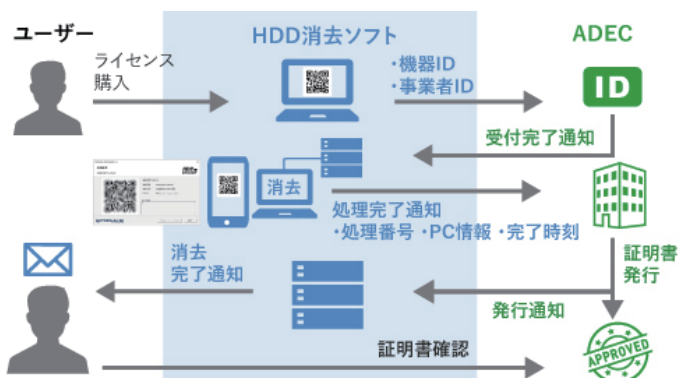
ゲーム体験サービス

フォーラムエイトの各種ゲー
ムをインストールし体験可能

スイートデータ消去®

UADEC(データ適正消去実行証明協議会)の認証に適合したデータ消去ツール
フォーラムエイトではパソコン内のHDDデータを利用者自身で消去できるツールスイートデータ消去を提供しています。
消去の際には国際規格に準拠した証明書が発行され、消去サービス業者に依頼せずとも安心して確実にデータを削除することが可能です。

スイートデータ消去®ご利用の流れ



消去可能なドライブ



HDD または SSD
対応インターフェース:IDE、SATA、NVMe



株式会社フォーラムエイト



ISO27001/27017 ISMS ISO22301 BCMS ISO9001 QMS ISO14001 EMS



東京本社 〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F Tel 03-6894-1888 Fax 03-6894-3888

大阪支社 Tel 06-6882-2888
 宮崎支社 Tel 0985-58-1888
 札幌事務所 Tel 011-806-1888
 仙台事務所 Tel 022-208-5588
 岩手事務所 Tel 019-694-1888
 名古屋ショールーム Tel 052-688-6888
 金沢事務所 Tel 076-254-1888

福岡営業所 Tel 092-289-1880
 沖縄事務所 Tel 098-951-1888
 ドローンスクール大阪なんば Tel 0120-963-572
 スパコンクラウド神戸研究室 Tel 078-304-4885
 虎ノ門研究室
 群馬デスク (NETSUGEN)

〈海外拠点〉
 中国 上海 / 青島 / 蘇州 | 台湾 台北 | ベトナム ハノイ | アメリカ ボストン | オーストラリア シドニー | 韓国 | イタリア ローマ | アイルランド

※表示価格はすべて税込です。製品名、社名は一般に各社の商標または登録商標です。仕様・価格などカタログ記載事項を予告なく変更する場合があります。 Copy Right by FORUM8 Co.,Ltd.